

みやこ町
地域福祉に関する
アンケート調査
結果報告書

令和5年11月
みやこ町

目次

I アンケート調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査概要.....	1
3 報告書の見方.....	1
II 地域福祉に関するアンケート調査結果.....	2
1 回答者について.....	2
2 日常生活の悩みについて.....	9
3 地域での生活について.....	19
4 福祉に関する意識について.....	32
5 ボランティア活動等について.....	35
6 福祉サービスについて.....	40
7 防災（災害）について.....	49
8 福祉全般について.....	53

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、町民の皆様の声をお聴きし、「みやこ町地域福祉総合計画」策定に反映させるだけでなく、今後のみやこ町の福祉行政を推進するための貴重な資料とすることを目的として実施しました。

2 調査概要

項目	調査概要
調査対象者	町内在住の18歳以上の方（無作為抽出）
調査期間	令和5年9月4日（月）～9月20日（水）
調査方法	郵送配布・郵送回収による本人記入方式、WEB回答方式
配布数	2,500件
有効回収数	854件
有効回収率	34.2%

3 報告書の見方

- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- ◇集計対象者数（n値）が少ない（10件未満）クロス集計について、コメント対象外としています。

Ⅱ 地域福祉に関するアンケート調査結果

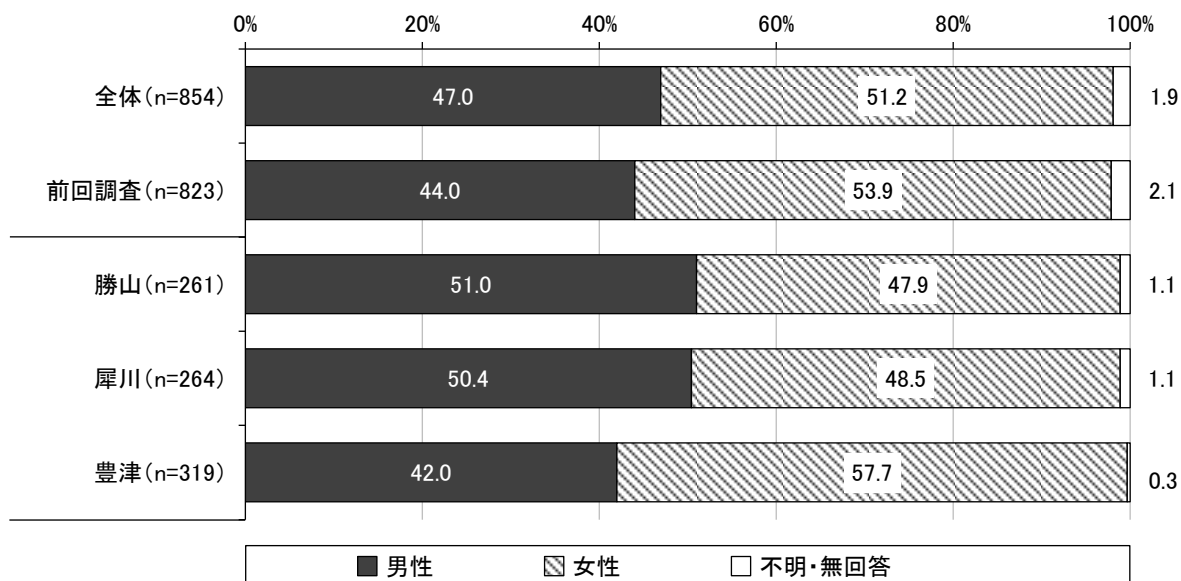
Ⅰ 回答者について

問1 あなたの性別を教えてください。【〇は1つだけ】

性別についてみると、「男性」が47.0%、「女性」が51.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、〔豊津〕では「男性」、その他の区分では「女性」が上回っています。

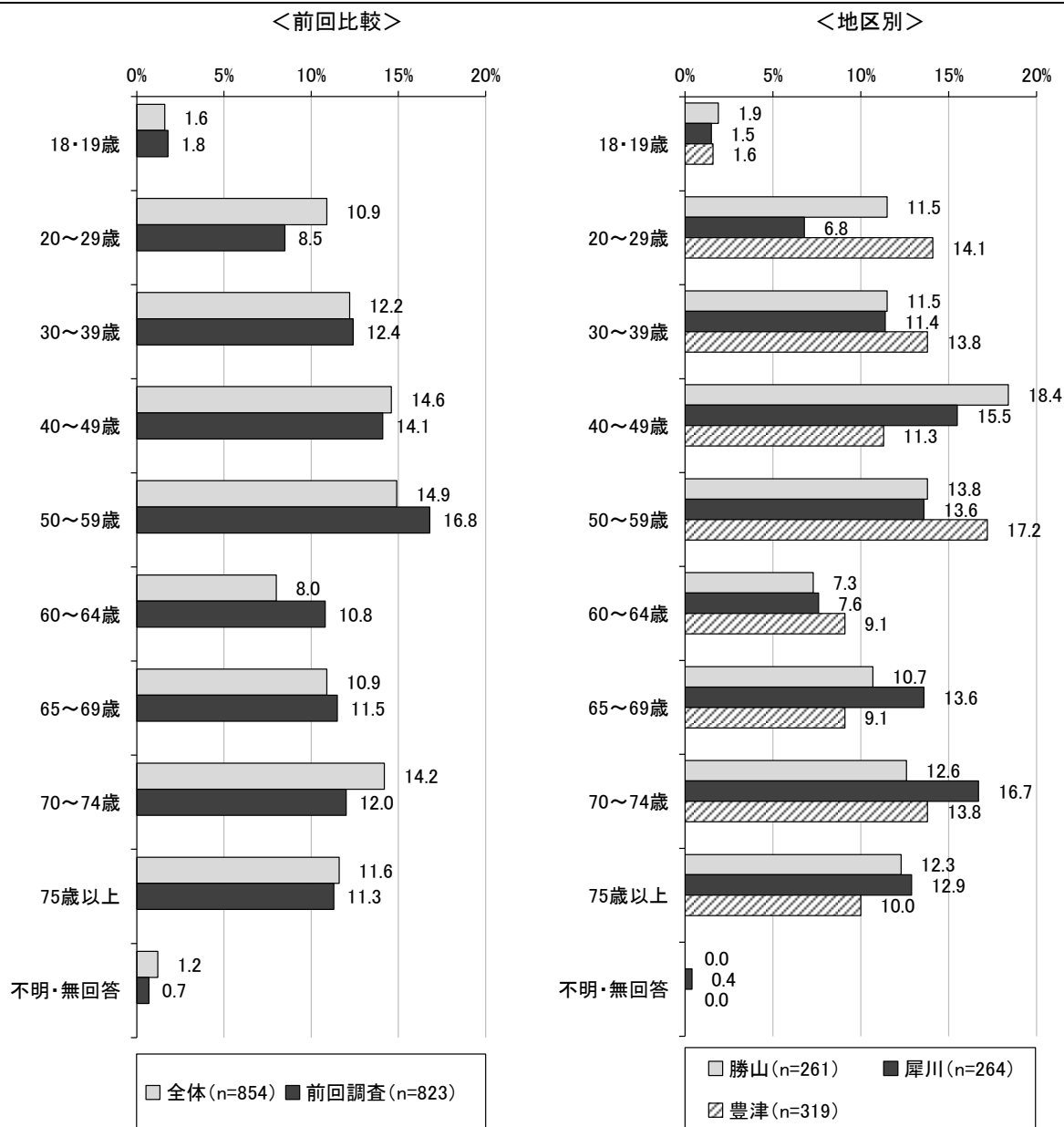


問2 あなたの年齢を教えてください。【〇は1つだけ】

年齢についてみると、「50～59歳」が14.9%と最も高く、次いで「40～49歳」が14.6%、「70～74歳」が14.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、〔勝山〕では「40～49歳」、〔犀川〕では「70～74歳」、〔豊津〕では「50～59歳」が最も高くなっています。

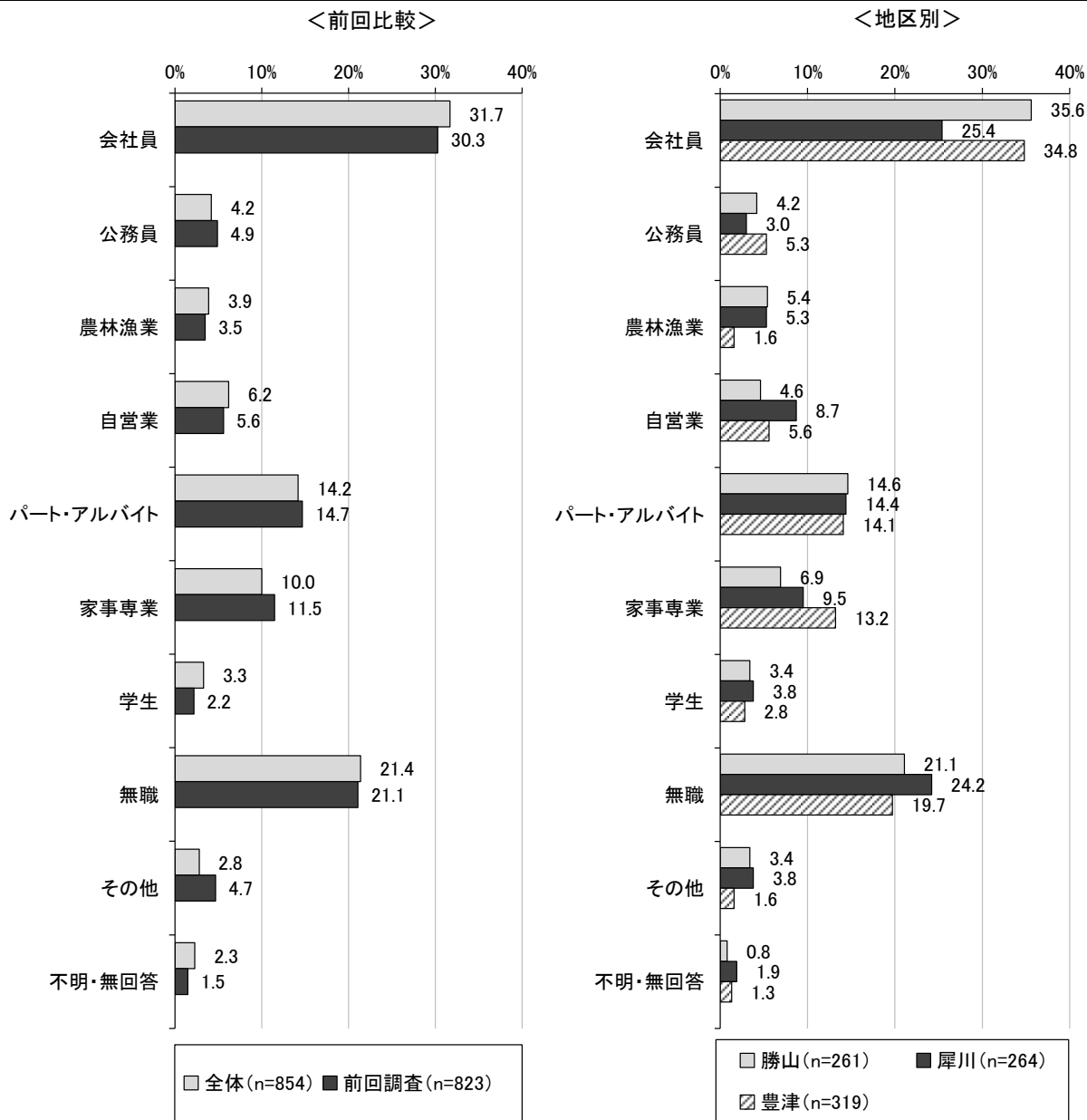


問3 あなたの職業を教えてください。【〇は1つだけ】

職業についてみると、「会社員」が31.7%と最も高く、次いで「無職」が21.4%、「パート・アルバイト」が14.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

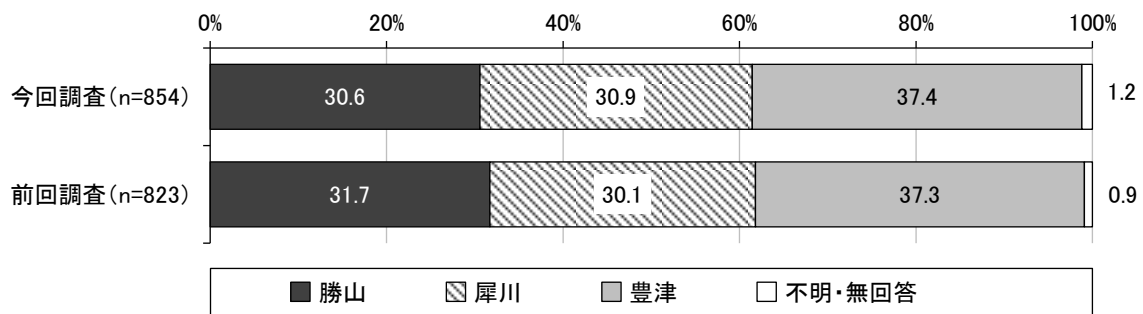
地区別にみると、すべての区分で「会社員」が最も高くなっています。



問4 あなたの住んでいる地域を教えてください。【〇は1つだけ】

居住地域についてみると、「豊津」が37.4%と最も高く、次いで「犀川」が30.9%、「勝山」が30.6%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

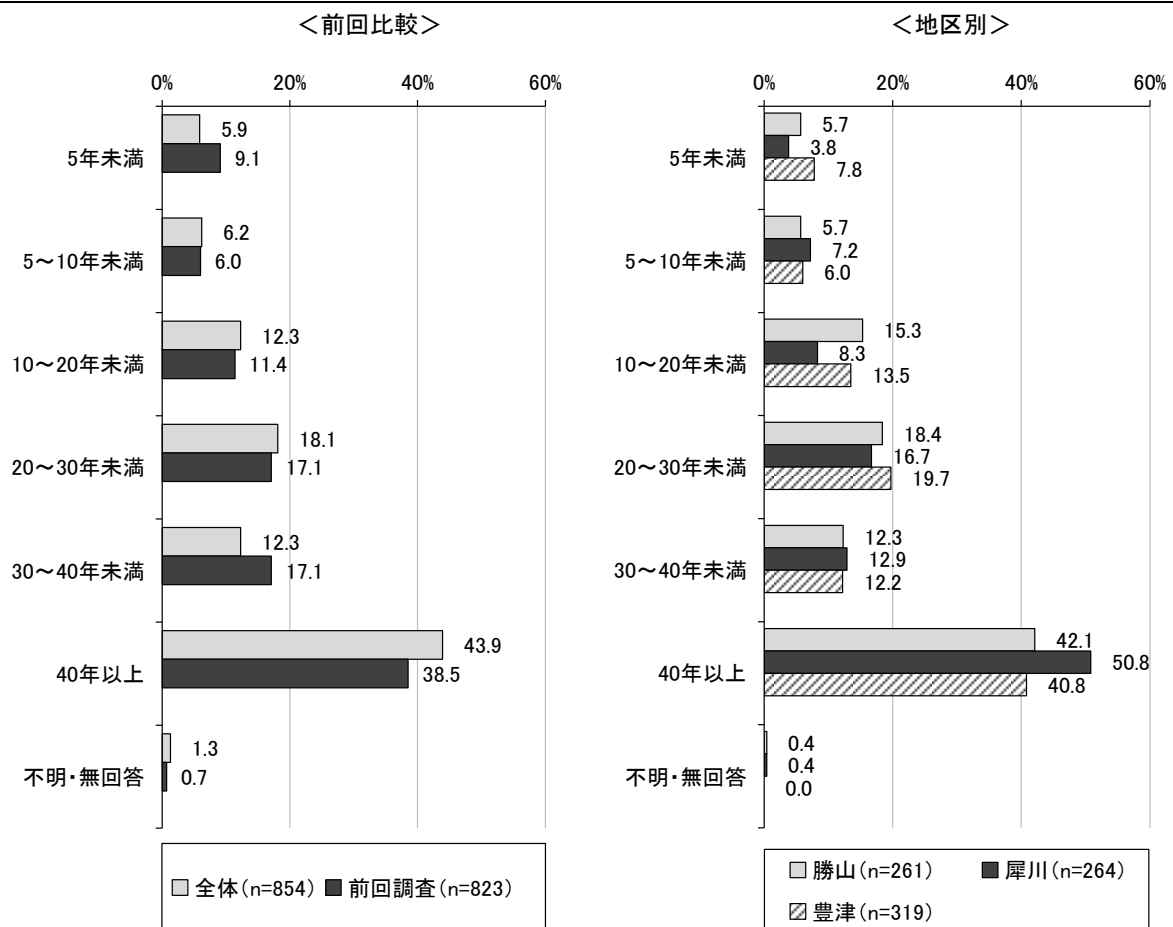


問5 みやこ町に住んで通算何年になりますか。【〇は1つだけ】

居住年数についてみると、「40年以上」が43.9%と最も高く、次いで「20～30年未満」が18.1%、「10～20年未満」「30～40年未満」が12.3%となっています。

前回と比較すると、「40年以上」が5.4ポイント増加しています。

地区別にみると、すべての区分で「40年以上」が最も高くなっています。

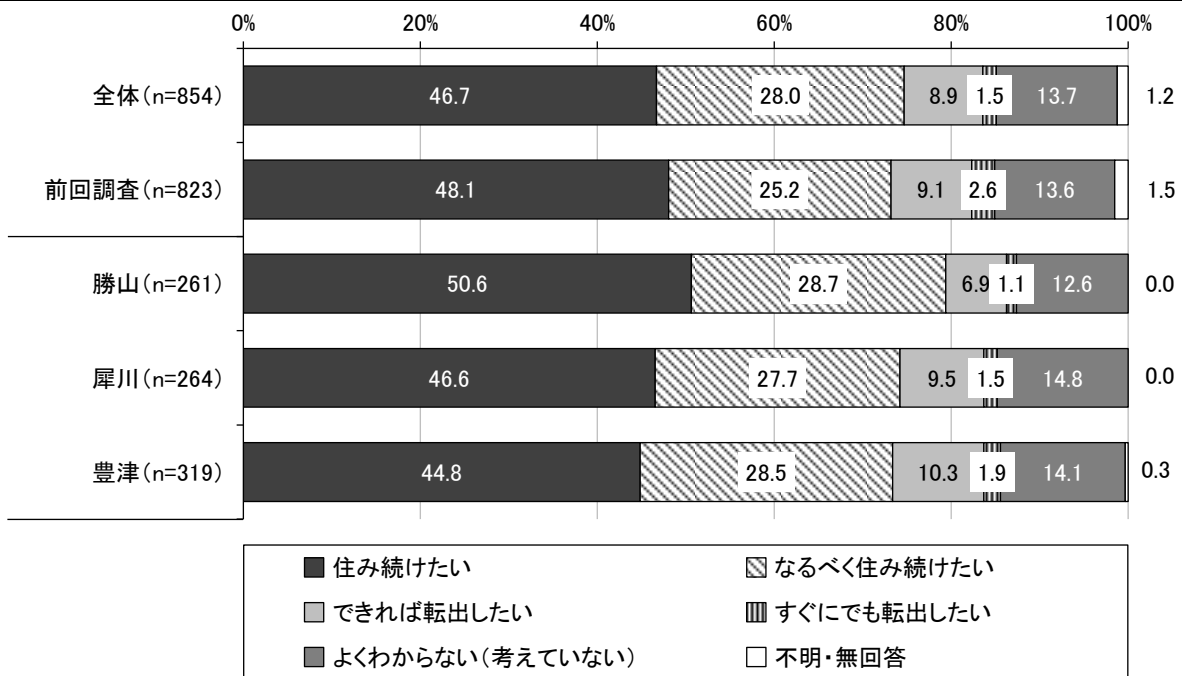


問6 今後もみやこ町に住み続けたいと思いますか。【〇は1つだけ】

今後の定住意向についてみると、「住み続けたい」が46.7%と最も高く、次いで「なるべく住み続けたい」が28.0%、「よくわからない(考えていない)」が13.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「住み続けたい」が最も高くなっています。

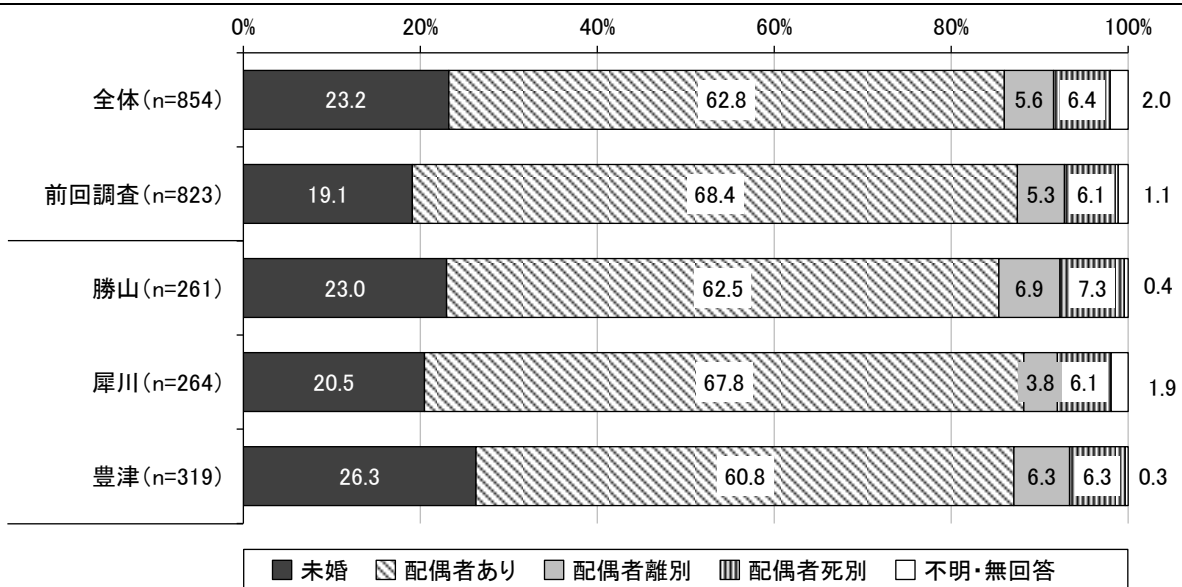


問7 あなたは結婚していらっしゃいますか (事実婚を含む)。【〇は1つだけ】

婚姻状況についてみると、「配偶者あり」が62.8%と最も高く、次いで「未婚」が23.2%、「配偶者死別」が6.4%となっています。

前回と比較すると、「配偶者あり」が5.6ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「配偶者あり」が最も高くなっています。



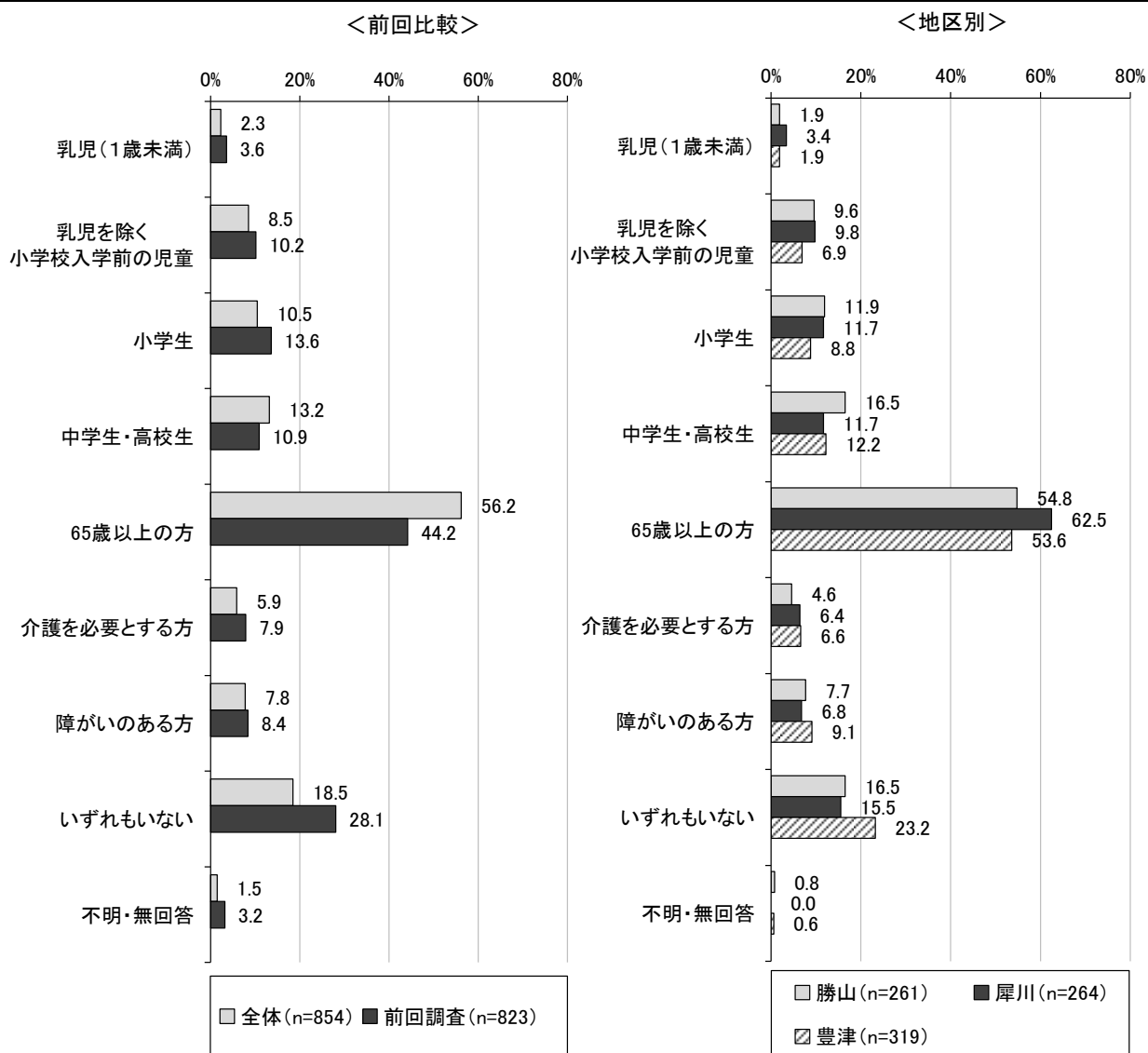
問8 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか。

【〇はいくつでも】

同居状況についてみると、「65歳以上の方」が56.2%と最も高く、次いで「いずれもない」が18.5%、「中学生・高校生」が13.2%となっています。

前回と比較すると、「65歳以上の方」が12.0ポイント増加しています。

地区別にみると、すべての区分で「65歳以上の方」が最も高くなっています。

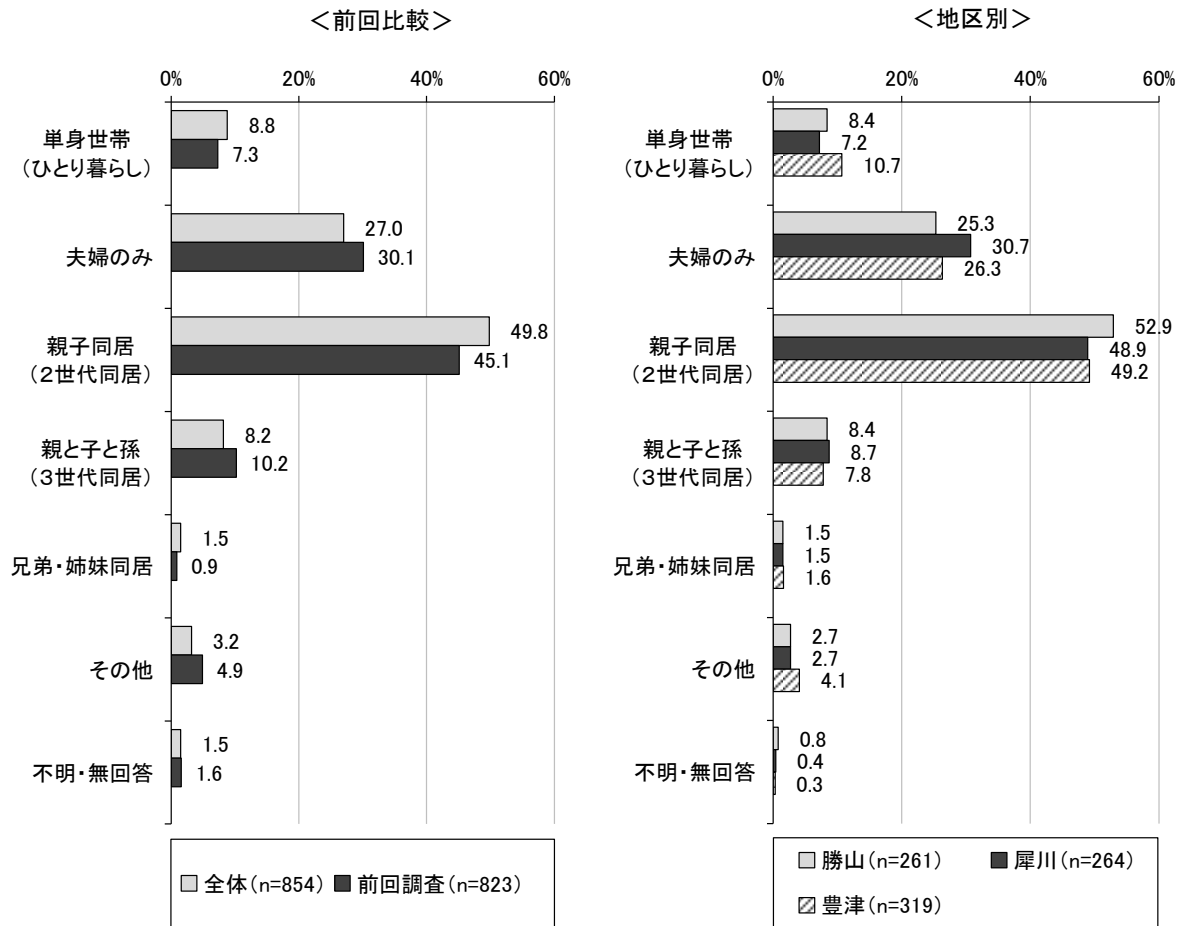


問9 現在のあなたの世帯構成は次のうちどれに当てはまりますか。【○は1つだけ】

世帯構成についてみると、「親子同居(2世代同居)」が49.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が27.0%、「単身世帯(ひとり暮らし)」が8.8%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「親子同居(2世代同居)」が最も高くなっています。



※前回調査：「親子同居（2世代世帯）」「親と子と孫（3世代世帯）」

2 日常生活の悩みについて

問10 あなたは、日頃、どのような問題に関して、悩みや苦勞、ストレス、不満を感じることがありますか。【○は主なものを3つまで】

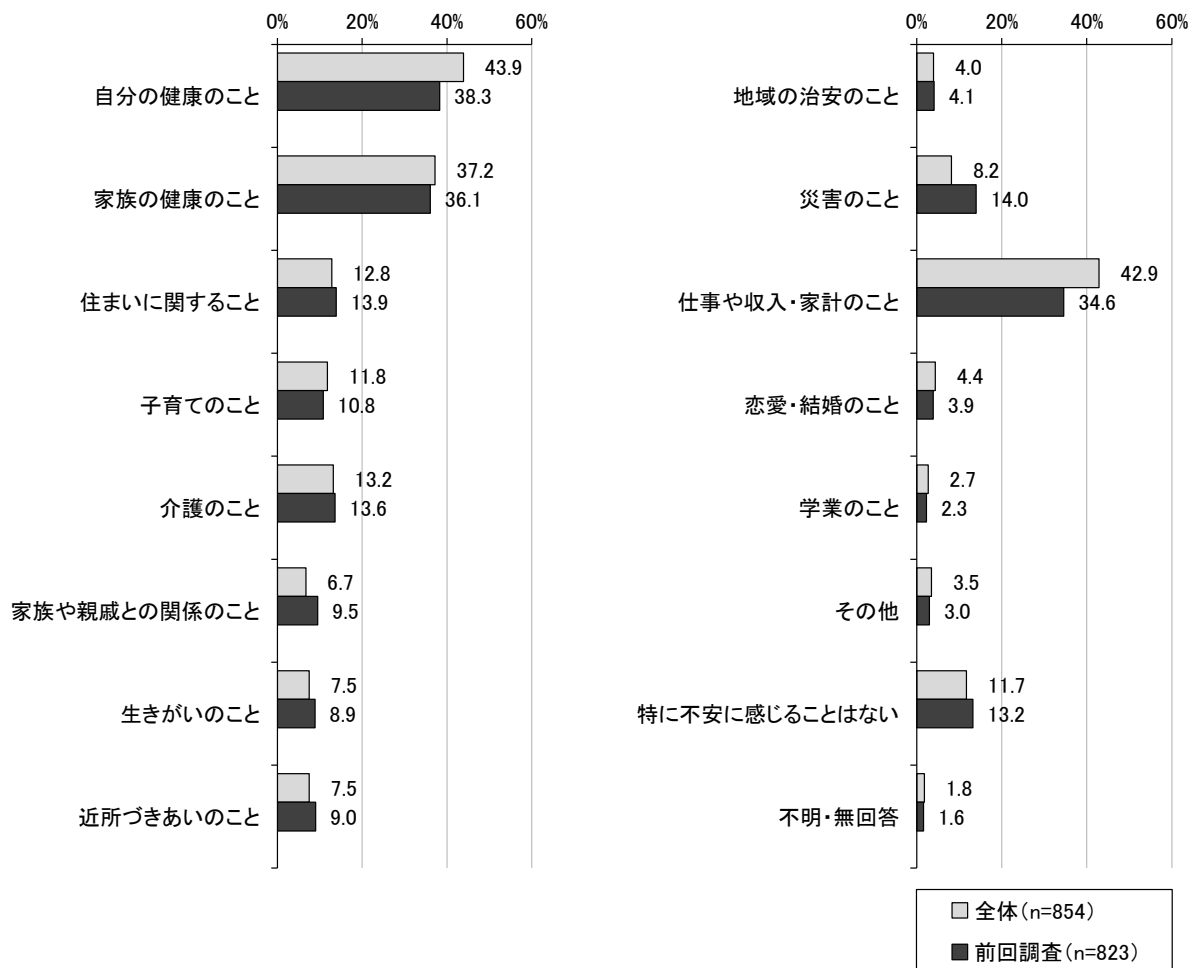
日頃、悩みや苦勞、ストレス、不満を感じる問題についてみると、「自分の健康のこと」が43.9%と最も高く、次いで「仕事や収入・家計のこと」が42.9%、「家族の健康のこと」が37.2%となっています。

前回と比較すると、「仕事や収入・家計のこと」が8.3ポイント増加しています。

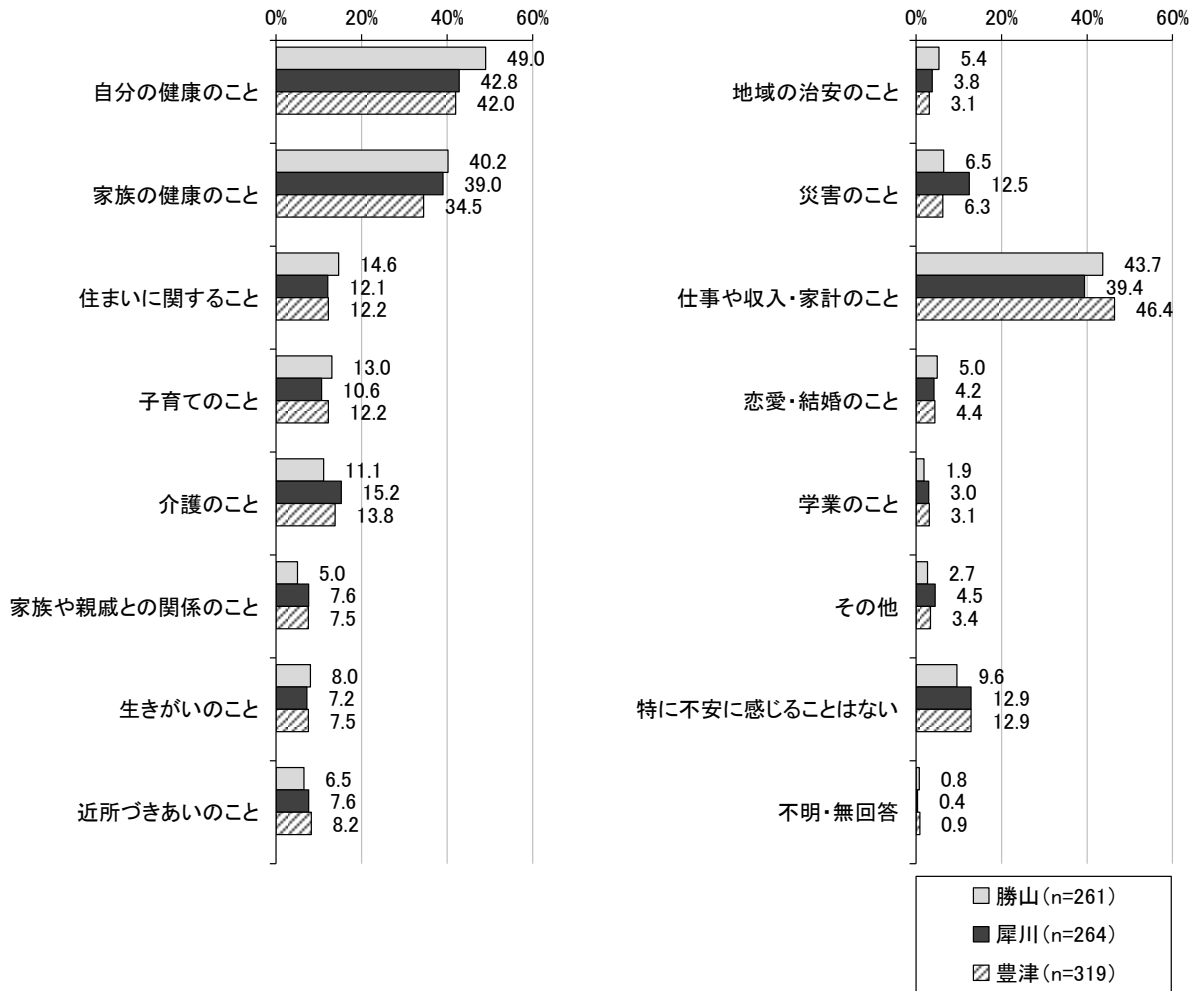
地区別にみると、〔豊津〕では「仕事や収入・家計のこと」、その他の区分では「自分の健康のこと」が最も高くなっています。

年齢別にみると、〔18・19歳〕では「学業のこと」「特に不安に感じることはない」、〔20歳～59歳〕では「仕事や収入・家計のこと」、〔60歳以上〕では「自分の健康のこと」が最も高くなっています。

<前回比較>



<地区別>



<年齢別>

単位:%	自分の健康のこと	家族の健康のこと	住まいに関すること	子育てのこと	介護のこと	家族や親戚との関係のこと	生きがいのこと	近所づきあいのこと
18・19歳 (n=14)	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳 (n=93)	20.4	29.0	11.8	19.4	4.3	5.4	12.9	7.5
30～39歳 (n=104)	21.2	31.7	11.5	28.8	2.9	7.7	7.7	5.8
40～49歳 (n=125)	31.2	32.0	15.2	29.6	9.6	15.2	4.8	11.2
50～59歳 (n=127)	43.3	36.2	17.3	11.0	13.4	8.7	8.7	8.7
60～64歳 (n=68)	52.9	42.6	14.7	1.5	25.0	5.9	2.9	5.9
65～69歳 (n=93)	61.3	44.1	16.1	1.1	20.4	4.3	7.5	10.8
70～74歳 (n=121)	61.2	41.3	8.3	0.0	16.5	3.3	11.6	5.0
75歳以上 (n=99)	70.7	51.5	10.1	0.0	21.2	2.0	4.0	6.1

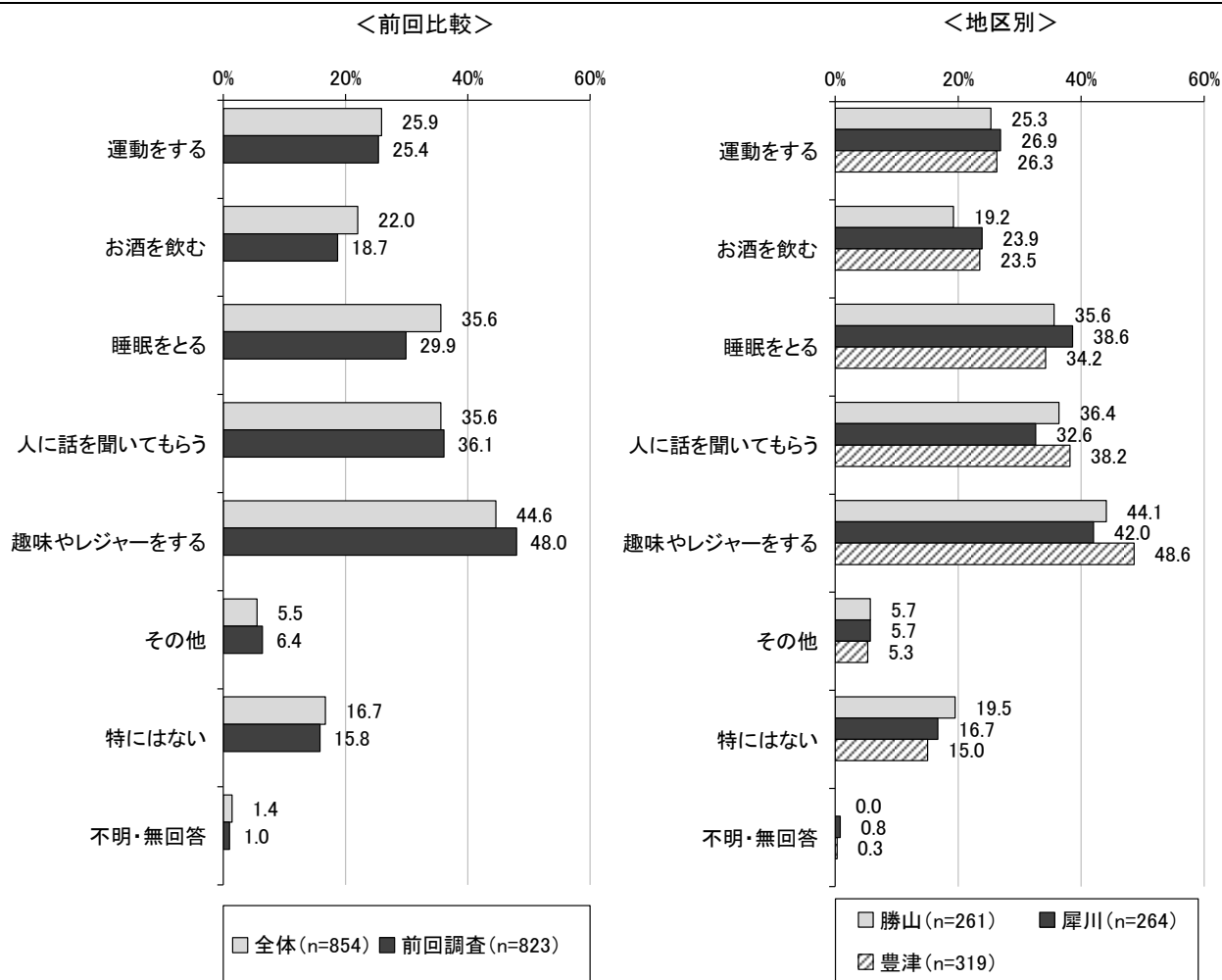
単位:%	地域の治安のこと	災害のこと	仕事や収入・家計のこと	恋愛・結婚のこと	学業のこと	その他	特に不安に感じることはない	不明・無回答
18・19歳 (n=14)	0.0	0.0	21.4	7.1	42.9	0.0	42.9	0.0
20～29歳 (n=93)	4.3	3.2	64.5	19.4	9.7	1.1	12.9	0.0
30～39歳 (n=104)	3.8	4.8	55.8	8.7	3.8	3.8	10.6	1.9
40～49歳 (n=125)	4.8	8.0	61.6	5.6	1.6	1.6	4.8	0.8
50～59歳 (n=127)	2.4	10.2	52.0	0.8	1.6	6.3	11.0	0.0
60～64歳 (n=68)	5.9	7.4	42.6	0.0	0.0	5.9	7.4	0.0
65～69歳 (n=93)	4.3	9.7	34.4	0.0	0.0	7.5	12.9	1.1
70～74歳 (n=121)	5.0	11.6	19.0	1.7	0.0	2.5	17.4	0.8
75歳以上 (n=99)	3.0	11.1	18.2	0.0	0.0	1.0	12.1	1.0

問 11 あなたは日常生活の不満、悩み、苦勞、ストレスを解消するために、どのようなことをしますか。【〇は主なものを3つまで】

日常生活の不満、悩み、苦勞、ストレスの解消法についてみると、「趣味やレジャーをする」が 44.6%と最も高く、次いで「睡眠をとる」「人に話を聞いてもらう」が 35.6%、「運動をする」が 25.9%となっています。

前回と比較すると、「睡眠をとる」が 5.7 ポイント増加しています。

地区別にみると、すべての区分で「趣味やレジャーをする」が最も高くなっています。



問 12 あなたは日々の生活の中で、次のようなことを感じることはありますか。

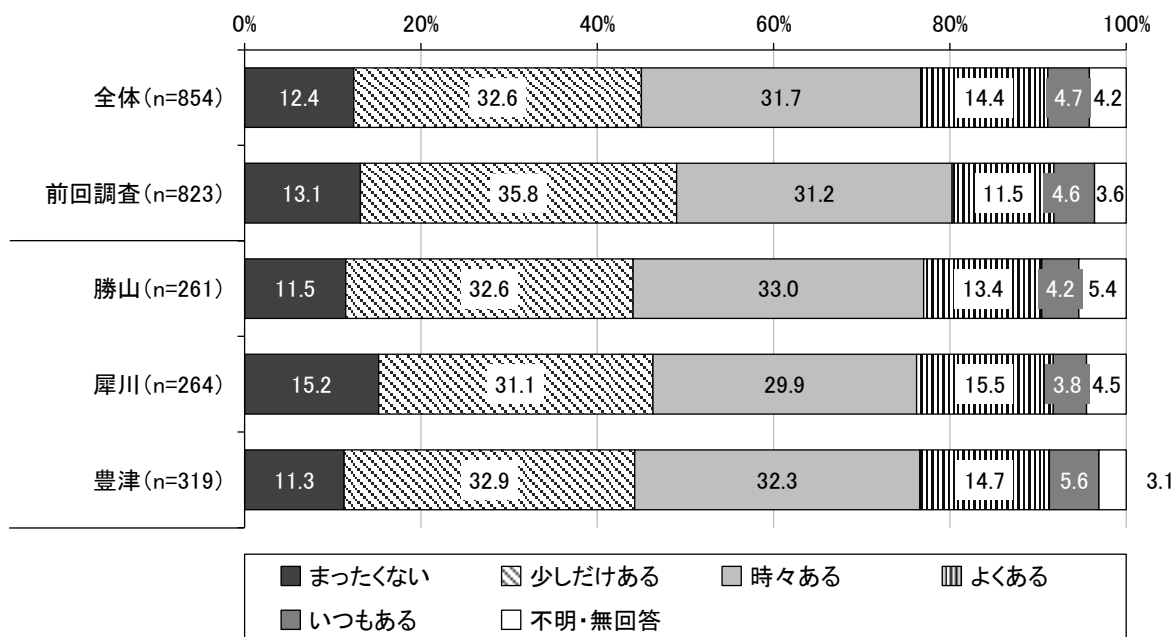
【〇はそれぞれ1つずつ】

①ちょっとしたことでイライラしたり不安に感じることもある

ちょっとしたことでイライラしたり不安に感じることもあるかについてみると、「少しだけある」が 32.6%と最も高く、次いで「時々ある」が 31.7%、「よくある」が 14.4%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、〔勝山〕では「時々ある」、その他の区分では「少しだけある」が最も高くなっています。

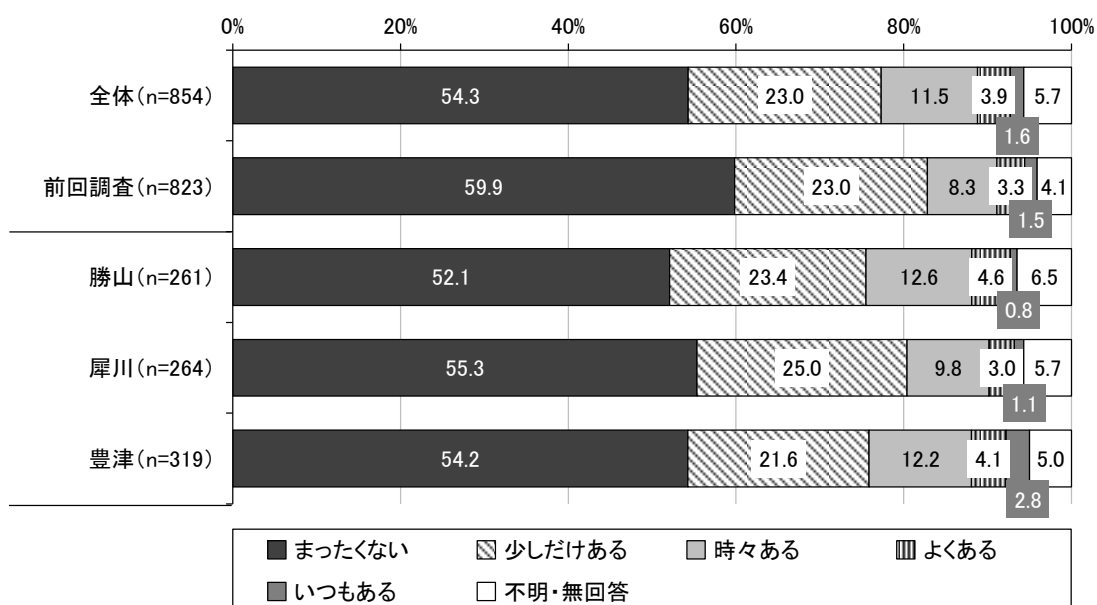


②絶望的だと感じることもある

絶望的だと感じることもあるかについてみると、「まったくない」が 54.3%と最も高く、次いで「少しだけある」が 23.0%、「時々ある」が 11.5%となっています。

前回と比較すると、「まったくない」が 5.6 ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「まったくない」が最も高くなっています。

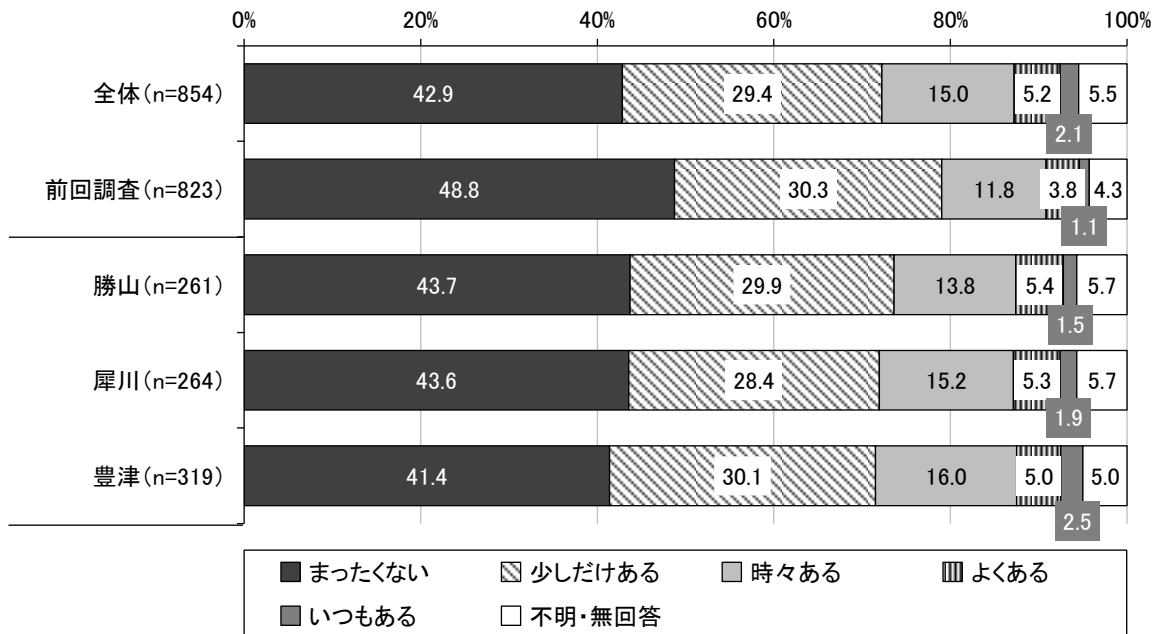


③そわそわ落ち着かなく感じることがある

そわそわ落ち着かなく感じることがあるかについてみると、「まったくない」が 42.9%と最も高く、次いで「少しだけある」が 29.4%、「時々ある」が 15.0%となっています。

前回と比較すると、「まったくない」が 5.9 ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「まったくない」が最も高くなっています。

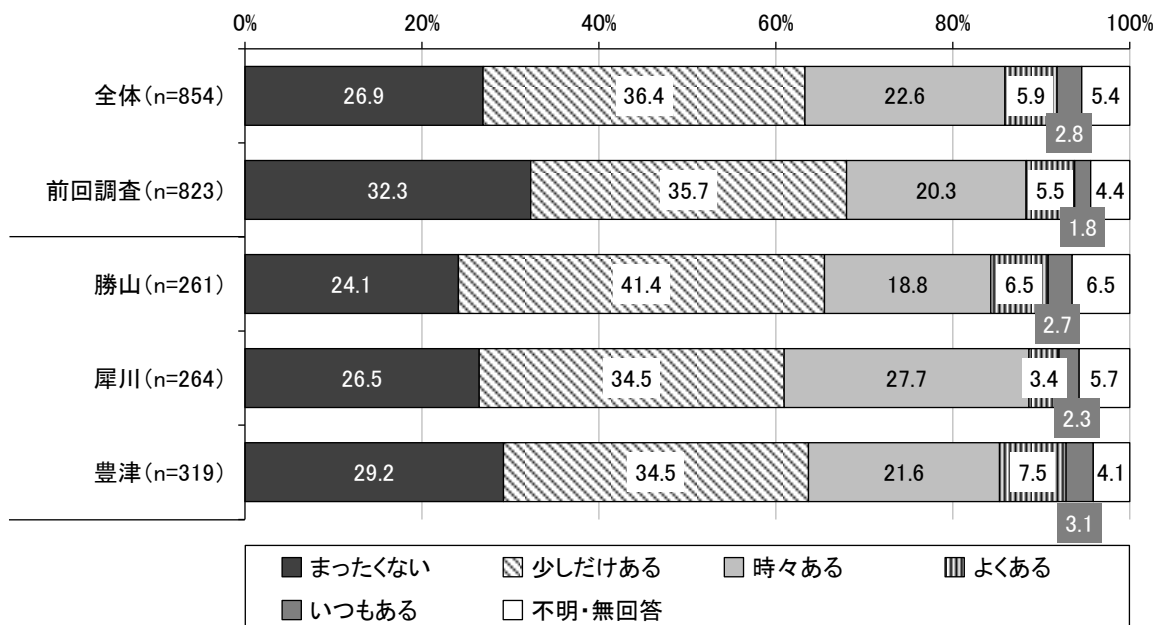


④気分が沈み、気が晴れないように感じることがある

気分が沈み、気が晴れないように感じることがあるかについてみると、「少しだけある」が 36.4%と最も高く、次いで「まったくない」が 26.9%、「時々ある」が 22.6%となっています。

前回と比較すると、「まったくない」が 5.4 ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「少しだけある」が最も高くなっています。

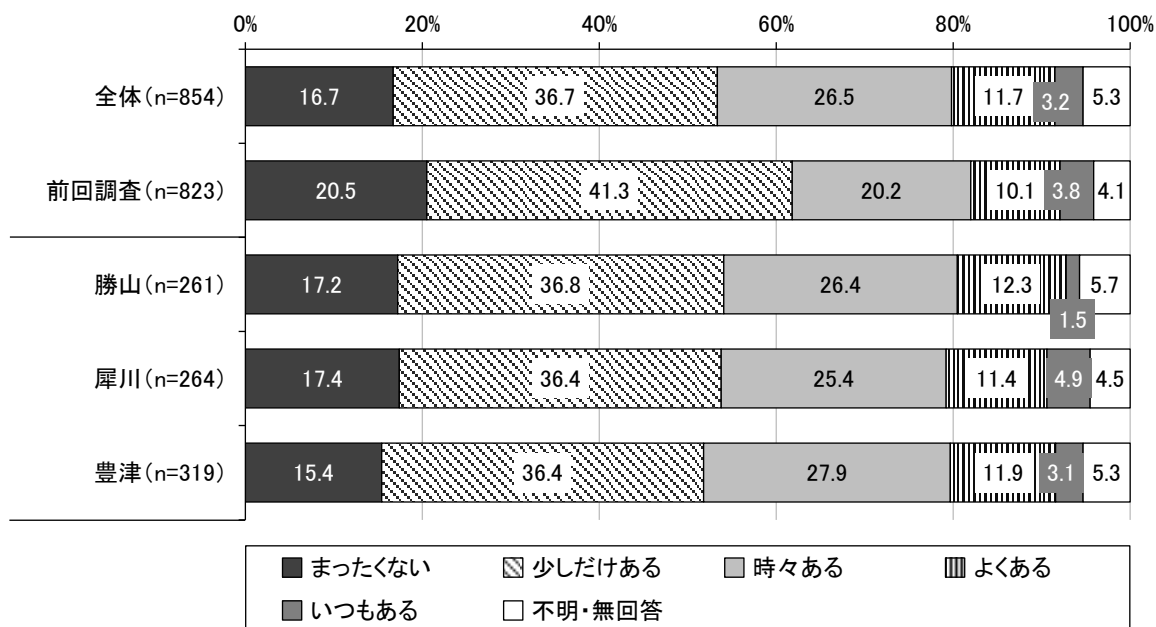


⑤何をするにも面倒だと感じることがある

何をするにも面倒だと感じることがあるかについてみると、「少しだけある」が 36.7%と最も高く、次いで「時々ある」が 26.5%、「まったくない」が 16.7%となっています。

前回と比較すると、「時々ある」が 6.3 ポイント増加しています。

地区別にみると、すべての区分で「少しだけある」が最も高くなっています。

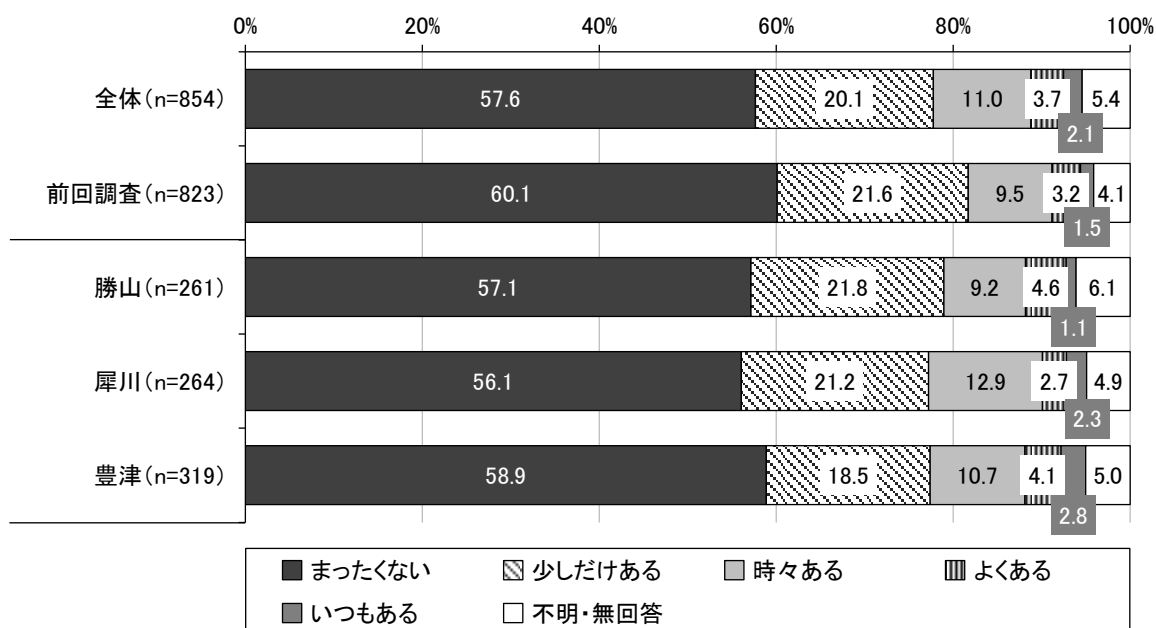


⑥自分は価値のない人間だと感じることがある

自分は価値のない人間だと感じることがあるかについてみると、「まったくない」が 57.6%と最も高く、次いで「少しだけある」が 20.1%、「時々ある」が 11.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「まったくない」が最も高くなっています。

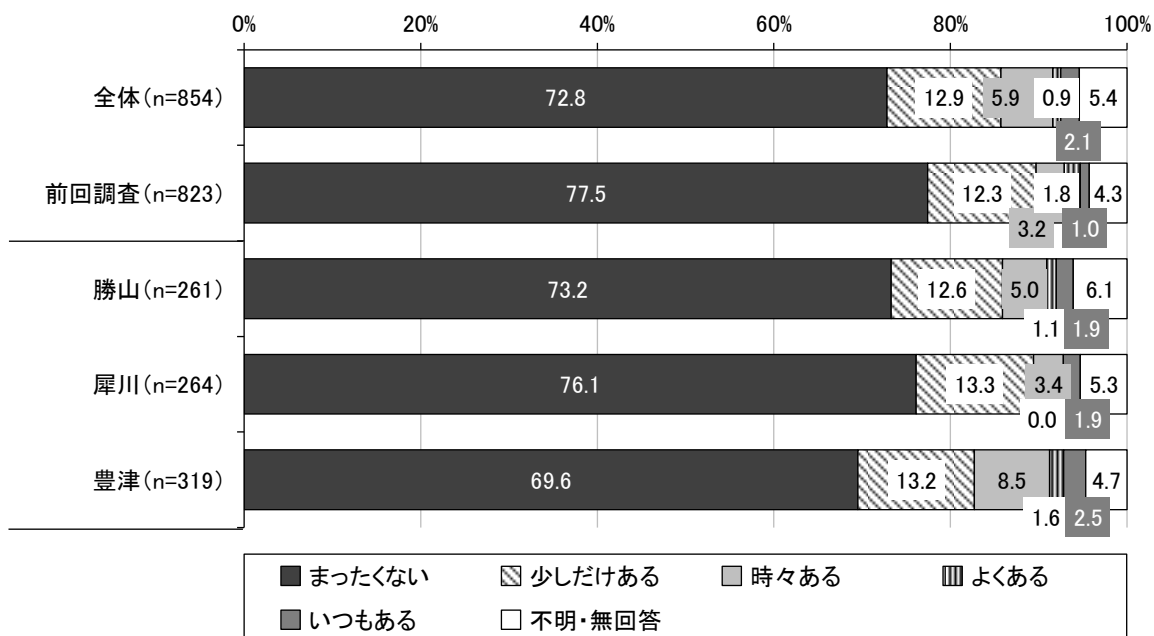


⑦死にたいと思うほど、悩むことがある

死にたいと思うほど、悩むことがあるかについてみると、「まったくない」が72.8%と最も高く、次いで「少しだけある」が12.9%、「時々ある」が5.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「まったくない」が最も高くなっています。



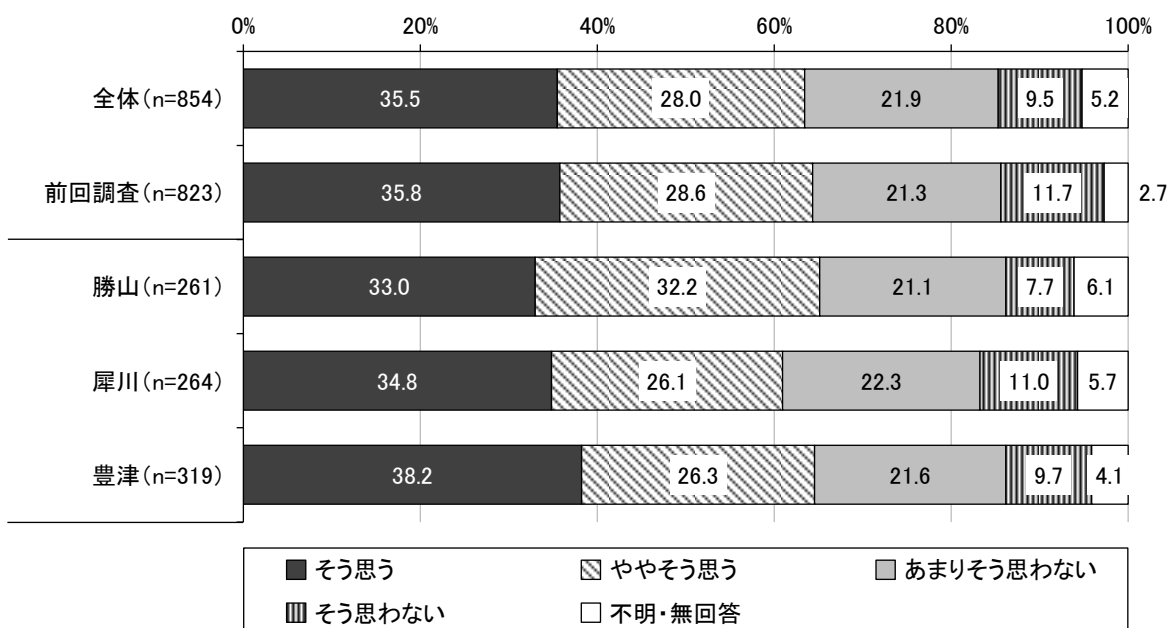
問 13 あなたは悩みやストレスを感じた時に、助けを求めたり、誰かに相談したいと思いませんか。

【〇は1つだけ】

悩みやストレスを感じた時に、助けを求めたり、誰かに相談したいと思うかについてみると、「そう思う」が35.5%と最も高く、次いで「ややそう思う」が28.0%、「あまりそう思わない」が21.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「そう思う」が最も高くなっています。



問 13 で「そう思う」「ややそう思う」を選んだ方

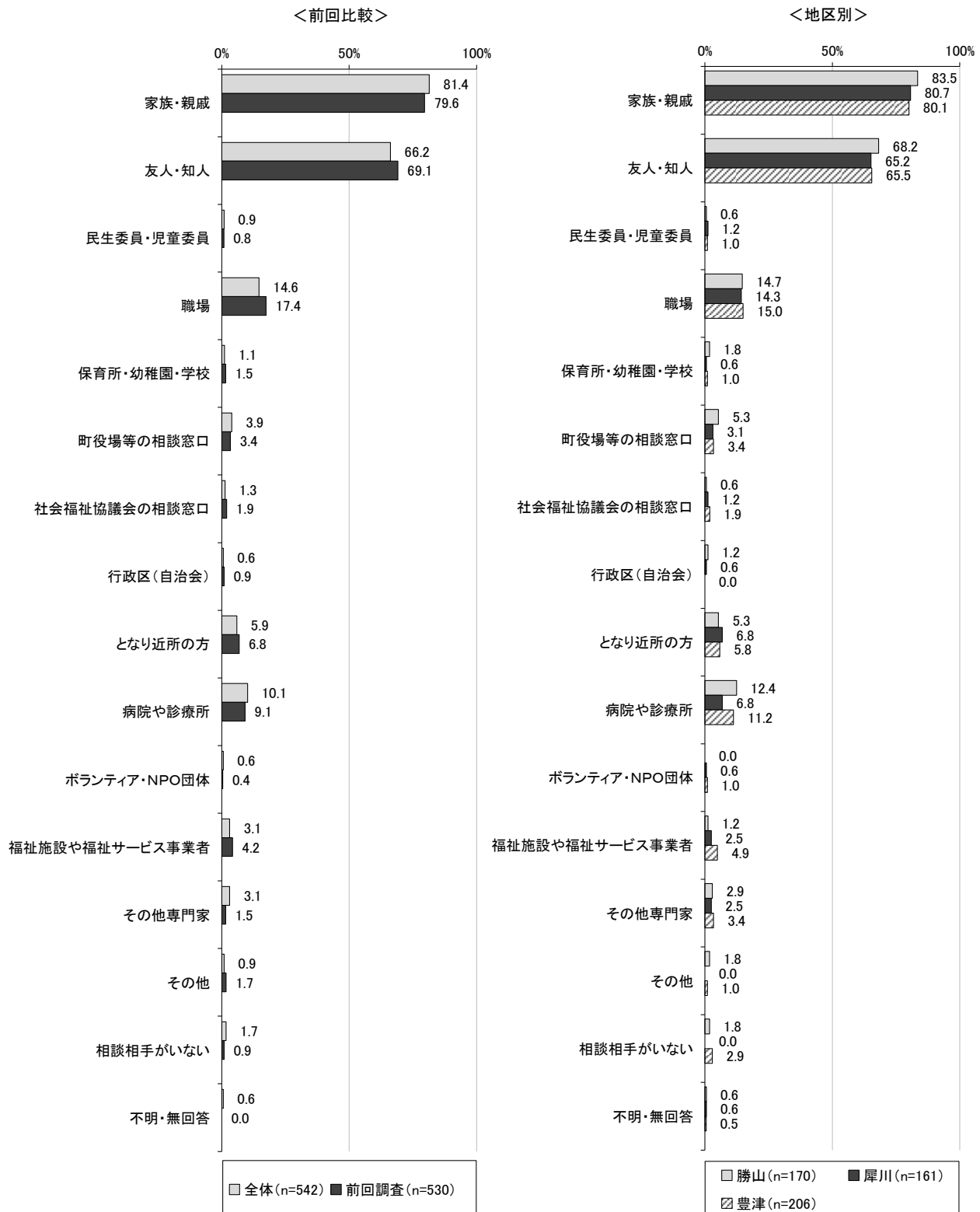
問 13-1 あなたは悩みやストレスを感じた時に、誰に、またはどこに相談すると思いますか。

【〇はあてはまるものすべて】

悩みやストレスを感じた時に、誰に、またはどこに相談すると思うかについてみると、「家族・親戚」が 81.4%と最も高く、次いで「友人・知人」が66.2%、「職場」が 14.6%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「家族・親戚」が最も高くなっています。



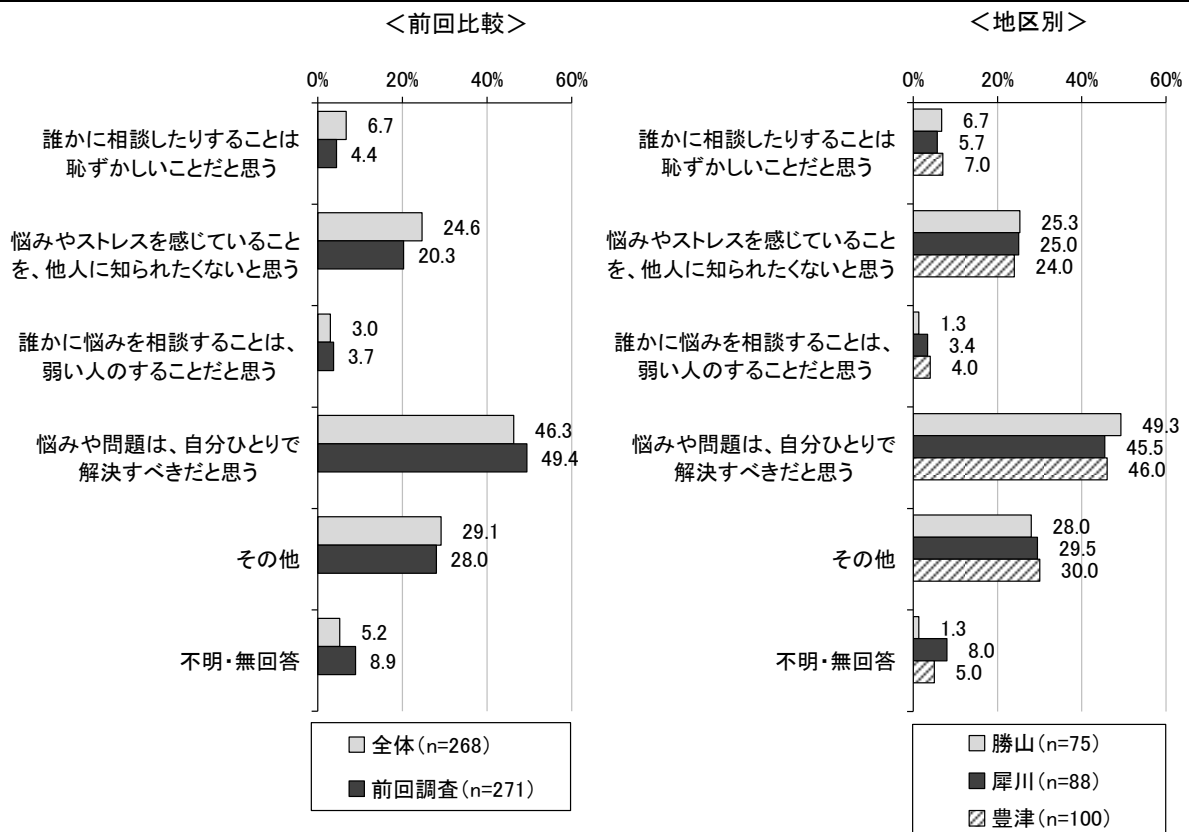
問 13 で「あまりそう思わない」「そう思わない」を選んだ方

問 13-2 助けを求めたり、相談したいと思わないのはなぜですか。【〇はあてはまるものすべて】

助けを求めたり、相談したいと思わない理由についてみると、「悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだと思う」が 46.3%と最も高く、次いで「悩みやストレスを感じていることを、他人に知られたくないと思う」が 24.6%、「誰かに相談したりすることは恥ずかしいことだと思う」が 6.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだと思う」が最も高くなっています。



※前回調査：「誰かに相談したりすることは恥ずかしいことだ」「悩みやストレスを感じていることを、他人に知られたくない」「誰かに悩みを相談することは、弱い人のすることだ」「悩みや問題は、自分ひとりで解決すべきだ」

3 地域での生活について

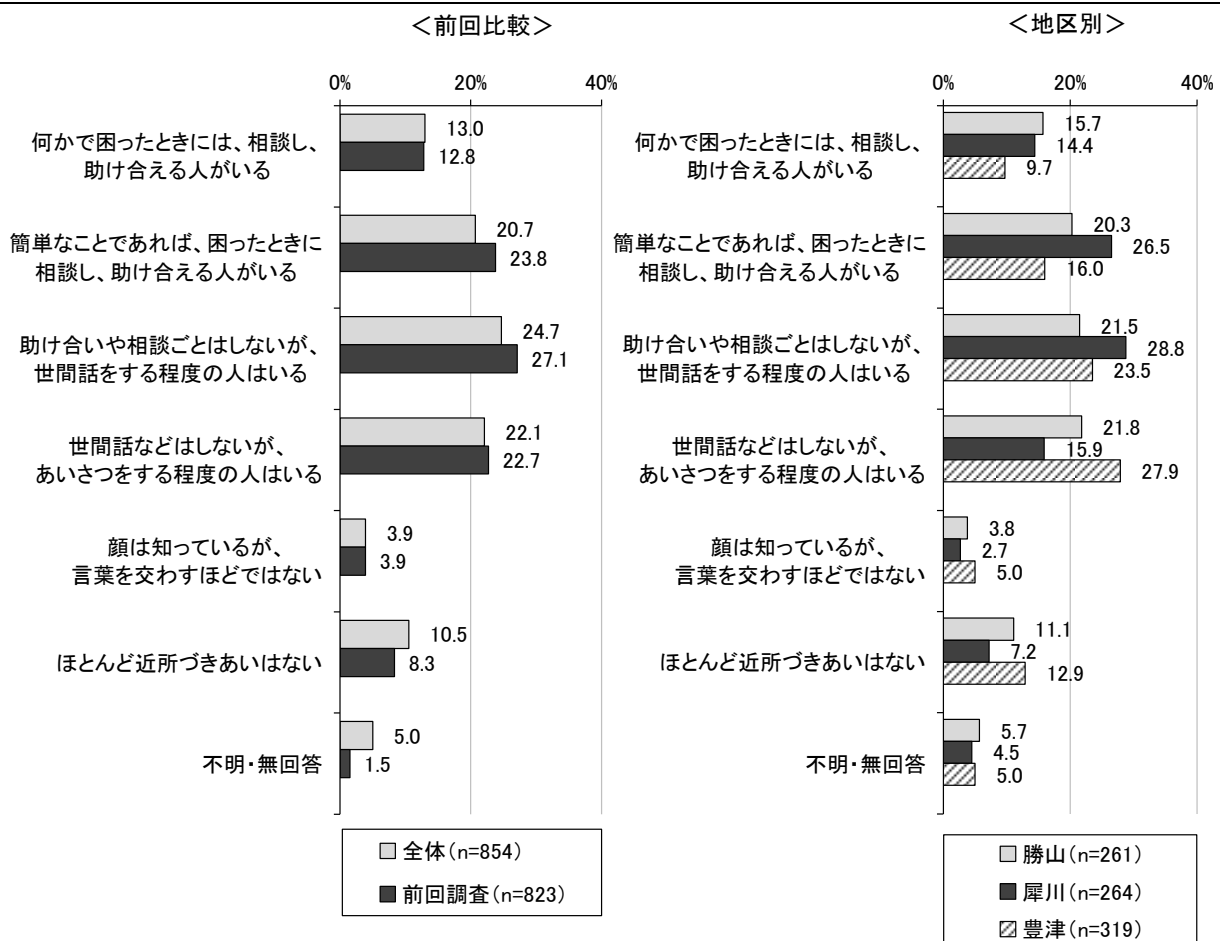
問 14 あなたは、現在、どの程度「ご近所づきあい」をしていますか。【〇は1つだけ】

現在の「ご近所づきあい」の程度についてみると、「助け合いや相談ごとはしないが、世間話をする程度の人はいる」が24.7%と最も高く、次いで「世間話などはしないが、あいさつをする程度の人はいる」が22.1%、「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える人がある」が20.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、〔犀川〕では「助け合いや相談ごとはしないが、世間話をする程度の人はいる」、その他の区分では「世間話などはしないが、あいさつをする程度の人はいる」が最も高くなっています。

年齢別にみると、〔49 歳以下〕では「世間話などはしないが、あいさつをする程度の人はいる」、〔65～69 歳〕では「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える人がある」、その他の区分では「助け合いや相談ごとはしないが、世間話をする程度の人はいる」が最も高くなっています。



<年齢別>

単位：%	何かで困ったときには、相談	が、助け合える人がいる	簡単なことであれば、困った	が、世間話をするとはい	助け合いや相談の人は	世間話などはないが、あ	さをする程度の人はいる	わすほどではないが、言葉を交	顔は知っているが、言葉を交	ほとんど近所づきあいはない	不明・無回答
18・19歳 (n=14)	7.1	7.1	21.4	35.7	0.0	21.4	7.1				
20～29歳 (n=93)	8.6	5.4	16.1	40.9	6.5	20.4	2.2				
30～39歳 (n=104)	9.6	10.6	18.3	36.5	6.7	15.4	2.9				
40～49歳 (n=125)	5.6	19.2	24.8	30.4	4.8	12.8	2.4				
50～59歳 (n=127)	11.0	22.8	24.4	20.5	5.5	11.8	3.9				
60～64歳 (n=68)	10.3	26.5	32.4	13.2	2.9	10.3	4.4				
65～69歳 (n=93)	15.1	28.0	23.7	19.4	2.2	4.3	7.5				
70～74歳 (n=121)	19.8	27.3	28.1	8.3	0.8	5.8	9.9				
75歳以上 (n=99)	25.3	27.3	30.3	6.1	2.0	2.0	7.1				

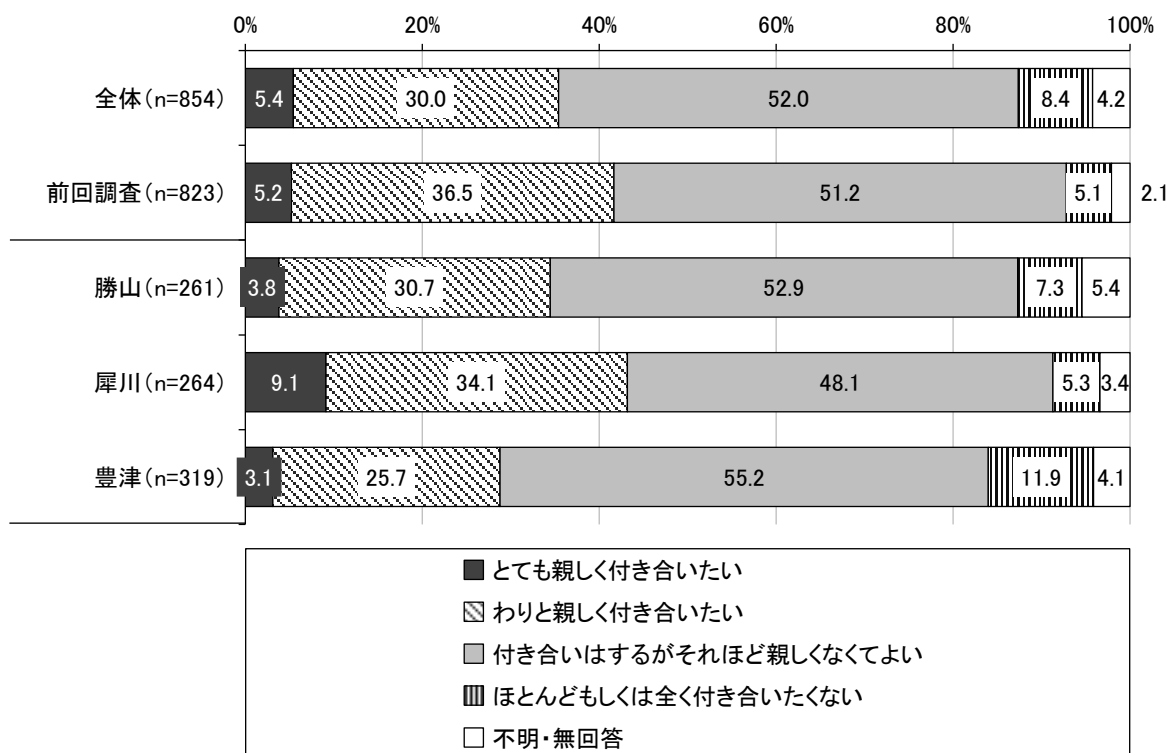
問 15 あなたは、今後どの程度近所付き合いをしたいと思いますか。【〇は1つだけ】

今後どの程度近所付き合いをしたいと思うかについてみると、「付き合いはするがそれほど親しくなくてよい」が 52.0%と最も高く、次いで「わりと親しく付き合いたい」が 30.0%、「ほとんどもしくは全く付き合いたくない」が 8.4%となっています。

前回と比較すると、「わりと親しく付き合いたい」が 6.5 ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「付き合いはするがそれほど親しくなくてよい」が最も高くなっています。

年齢別にみると、〔74 歳以下〕では「付き合いはするがそれほど親しくなくてよい」、〔75 歳以上〕では「わりと親しく付き合いたい」が最も高くなっています。



<年齢別>

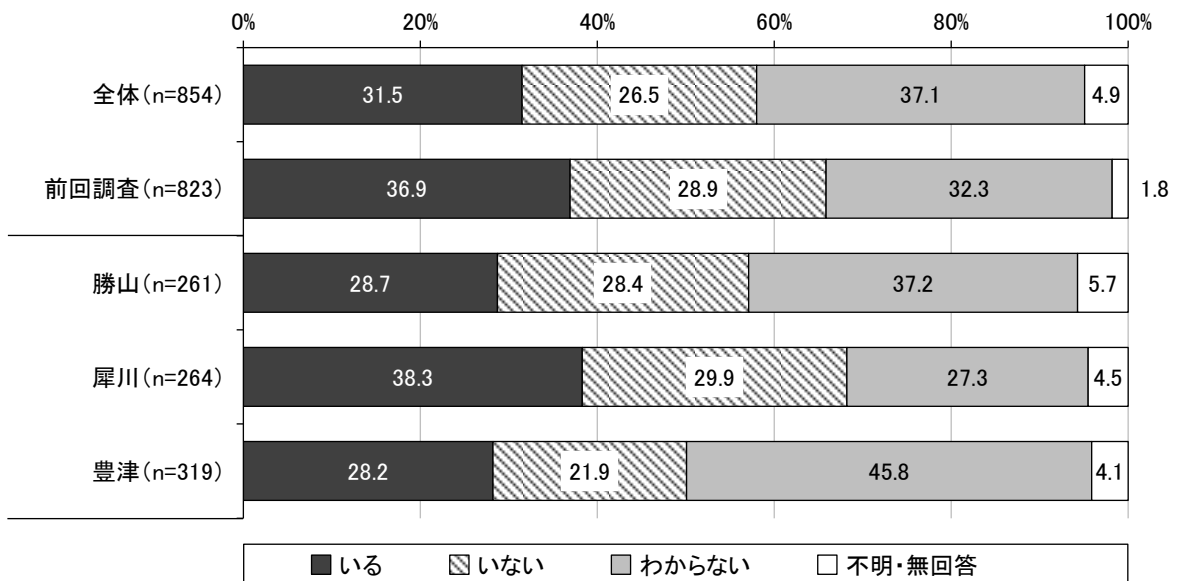
単位：%	とても親しく付き合いたい	わりと親しく付き合いたい	付き合いたくはないがそれほど親しくない	ほとんどもしくは全く付き合いたくない	不明・無回答
18・19歳 (n=14)	7.1	14.3	64.3	7.1	7.1
20～29歳 (n=93)	4.3	26.9	50.5	16.1	2.2
30～39歳 (n=104)	5.8	18.3	55.8	18.3	1.9
40～49歳 (n=125)	1.6	21.6	63.2	11.2	2.4
50～59歳 (n=127)	4.7	29.1	55.1	7.9	3.1
60～64歳 (n=68)	2.9	35.3	51.5	5.9	4.4
65～69歳 (n=93)	3.2	30.1	57.0	1.1	8.6
70～74歳 (n=121)	7.4	38.8	41.3	5.0	7.4
75歳以上 (n=99)	12.1	43.4	39.4	1.0	4.0

問 16 近所の方で支援が必要と思われる人（ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、子育てをしている家族など）がいますか。【〇は1つだけ】

近所の方で支援が必要と思われる人がいるかについてみると、「わからない」が 37.1%と最も高く、次いで「いる」が 31.5%、「いない」が 26.5%となっています。

前回と比較すると、「いる」が 5.4 ポイント減少しています。

地区別にみると、〔犀川〕では「いる」、その他の区分では「わからない」が最も高くなっています。



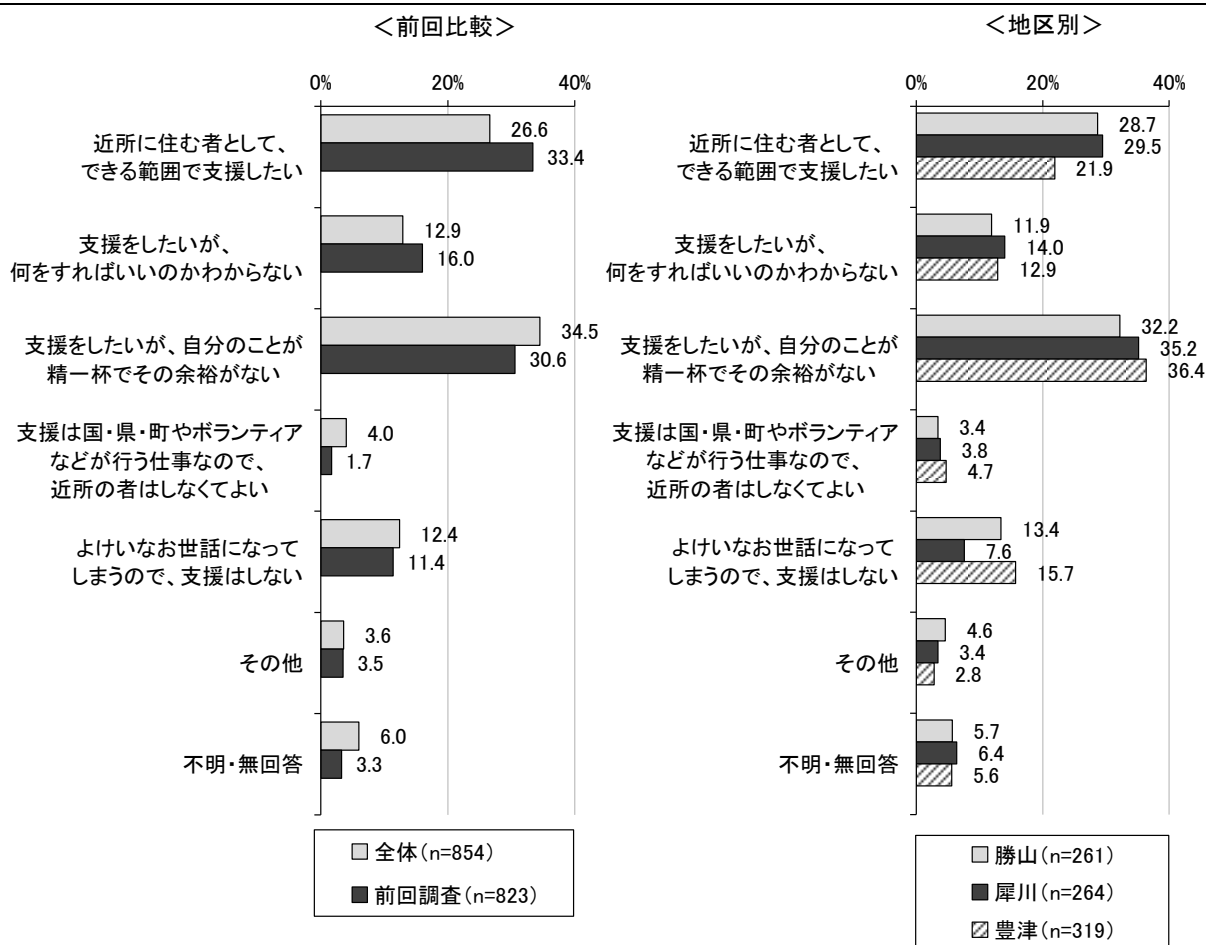
問 17 近所の方で支援が必要と思われる人（ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、子育てをしている家族など）に対する支援について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

【○は1つだけ】

近所の方で支援が必要と思われる人に対する支援への考え方についてみると、「支援をしたいが、自分のことが精一杯でその余裕がない」が 34.5%と最も高く、次いで「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」が 26.6%、「支援をしたいが、何をすればいいのかわからない」が 12.9%となっています。

前回と比較すると、「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」が 6.8 ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「支援をしたいが、自分のことが精一杯でその余裕がない」が最も高くなっています。



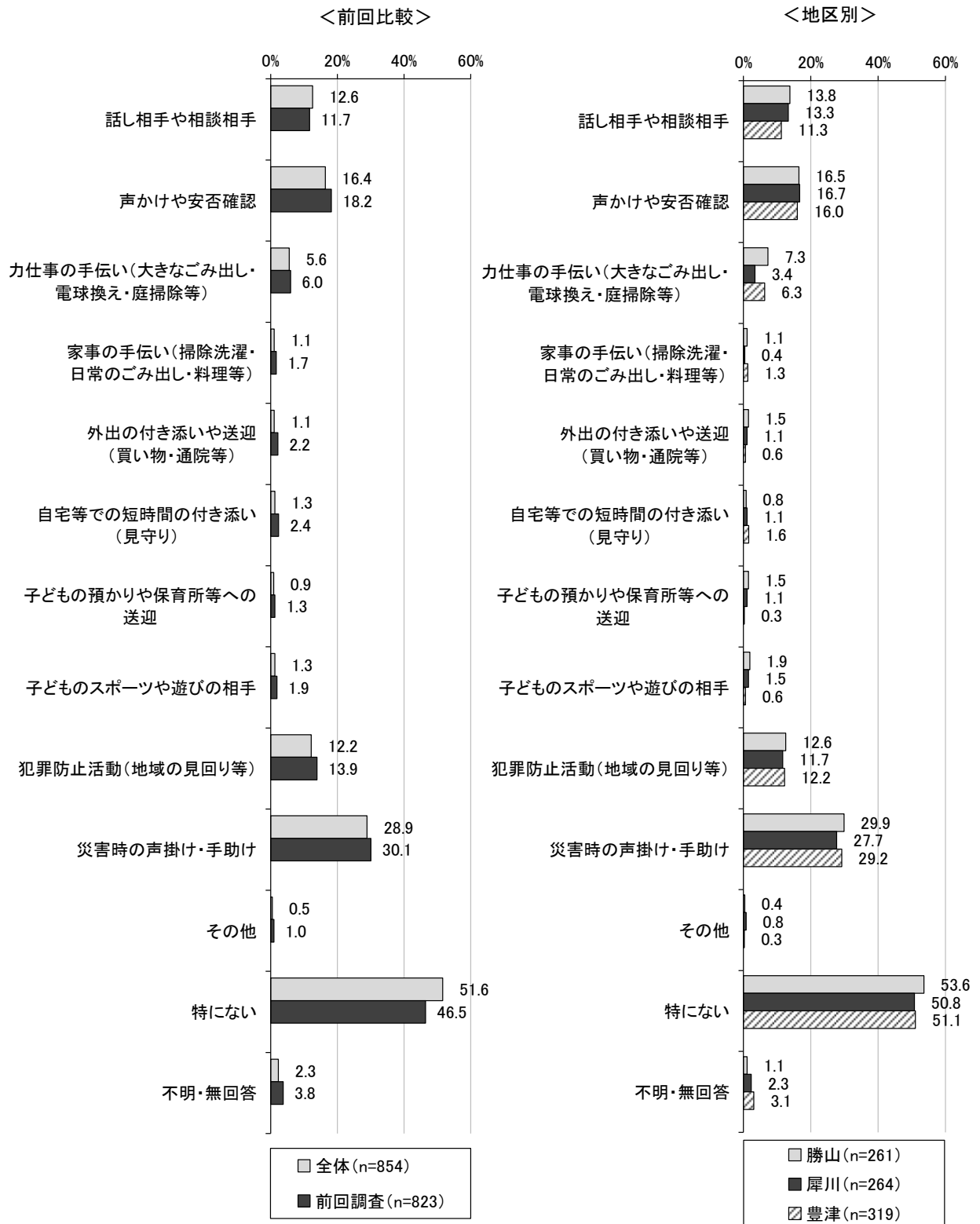
※前回調査：「支援は国・県・町などが行う仕事なので、近所の者はしなくてよい」

問 18 あなたは、生活の中で、となり近所の人に手助けや協力をしてほしいと思うことはありますか。【〇はいくつでも】

生活の中で、となり近所の人に手助けや協力をしてほしいと思うことについてみると、「特にない」が 51.6%と最も高く、次いで「災害時の声掛け・手助け」が 28.9%、「声かけや安否確認」が 16.4%となっています。

前回と比較すると、「特にない」が 5.1 ポイント増加しています。

地区別にみると、すべての区分で「特にない」が最も高くなっています。



※前回調査：「災害時の手助け」

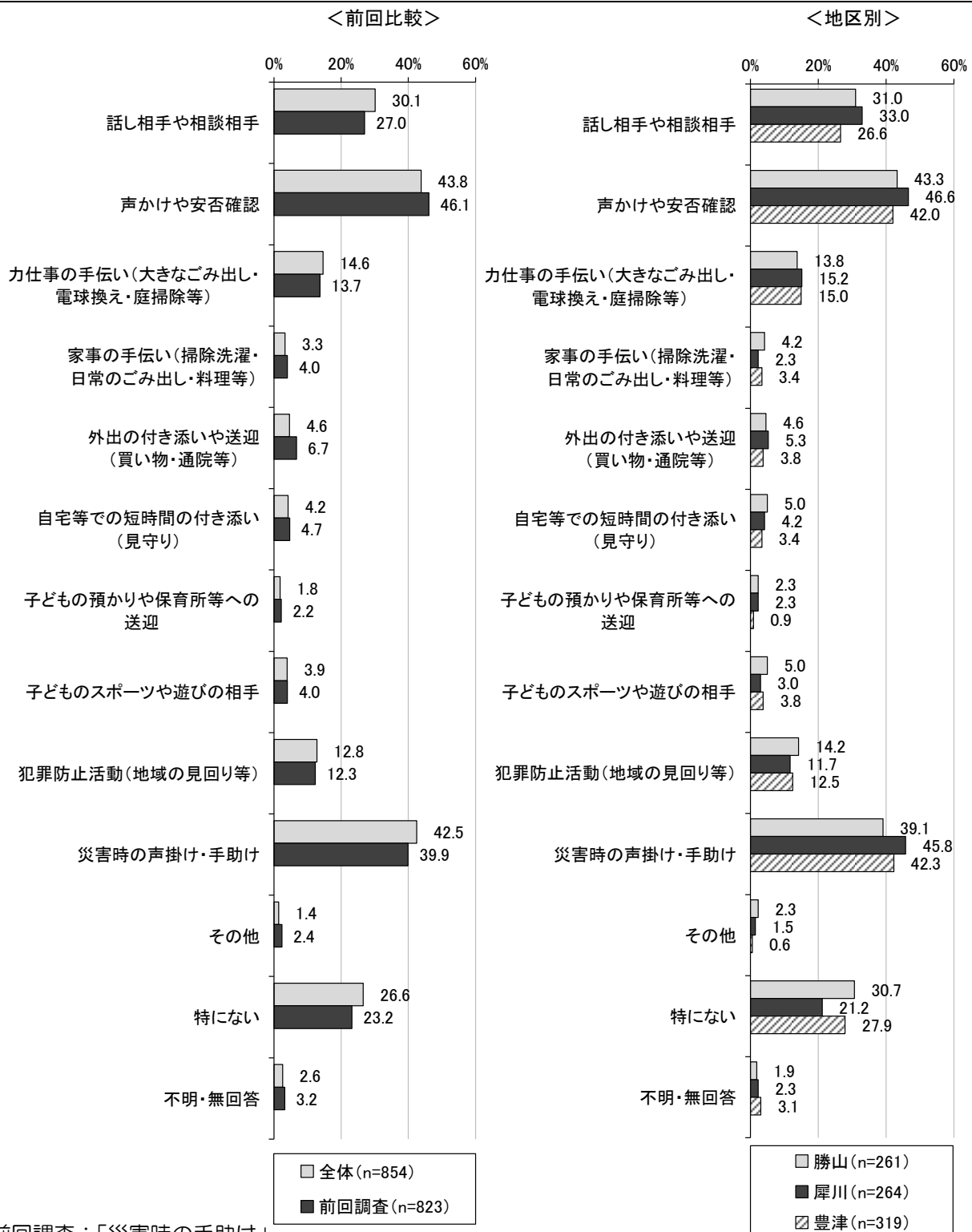
問 19 あなた自身が、となり近所の人に対して手助けしたり、協力できることはありますか。

【〇はいくつでも】

となり近所の人に対して手助けしたり、協力できることについてみると、「声かけや安否確認」が43.8%と最も高く、次いで「災害時の声掛け・手助け」が42.5%、「話し相手や相談相手」が30.1%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、〔豊津〕では「災害時の声掛け・手助け」、その他の区分では「声かけや安否確認」が最も高くなっています。



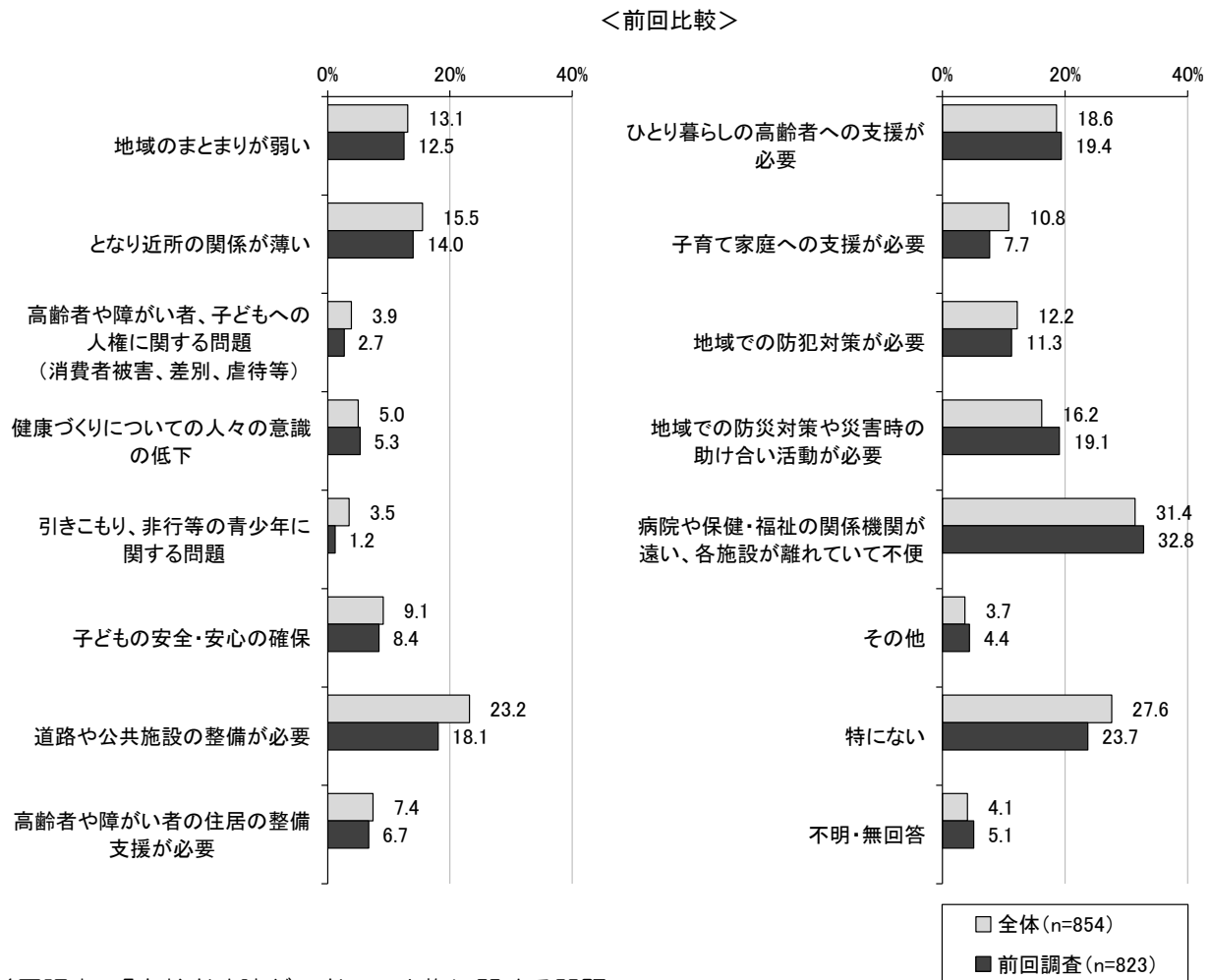
※前回調査：「災害時の手助け」

問 20 あなたが住んでいる地域には、福祉に関する課題や問題点がありますか。【〇はいくつでも】

居住地域の福祉に関する課題や問題点についてみると、「病院や保健・福祉の関係機関が遠い、各施設が離れていて不便」が 31.4%と最も高く、次いで「特にない」が 27.6%、「道路や公共施設の整備が必要」が 23.2%となっています。

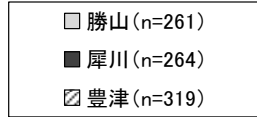
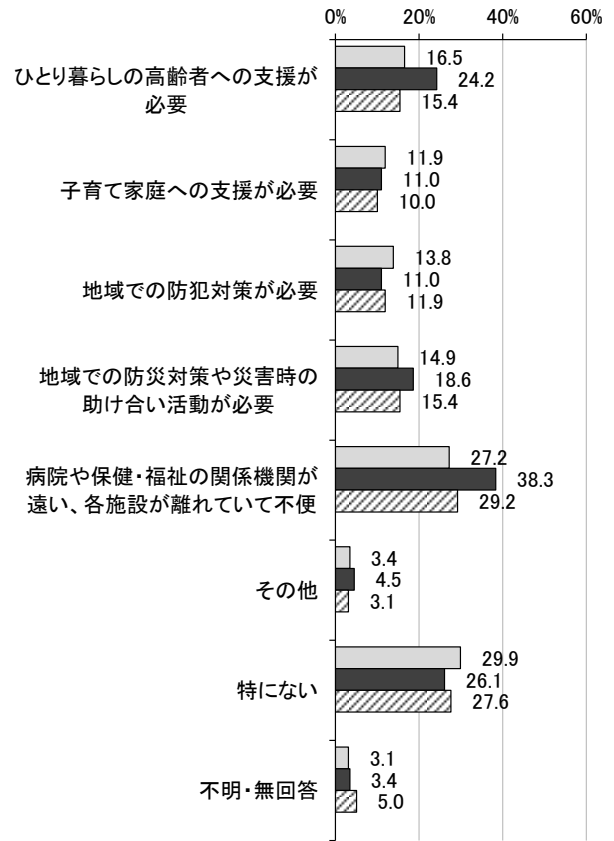
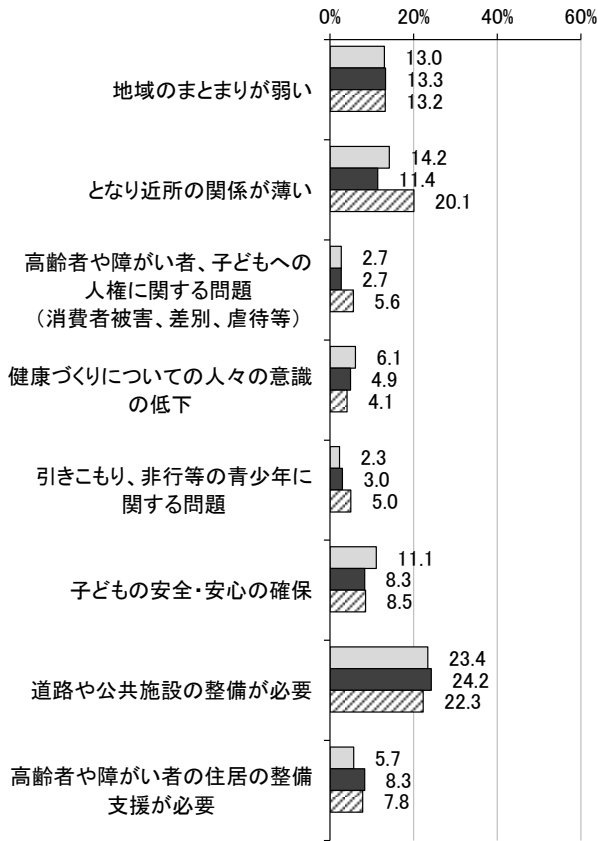
前回と比較すると、「道路や公共施設の整備が必要」が 5.1 ポイント増加しています。

地区別にみると、〔勝山〕では「特にない」、その他の区分では「病院や保健・福祉の関係機関が遠い、各施設が離れていて不便」が最も高くなっています。



※前回調査：「高齢者や障がい者への人権に関する問題」

<地区別>



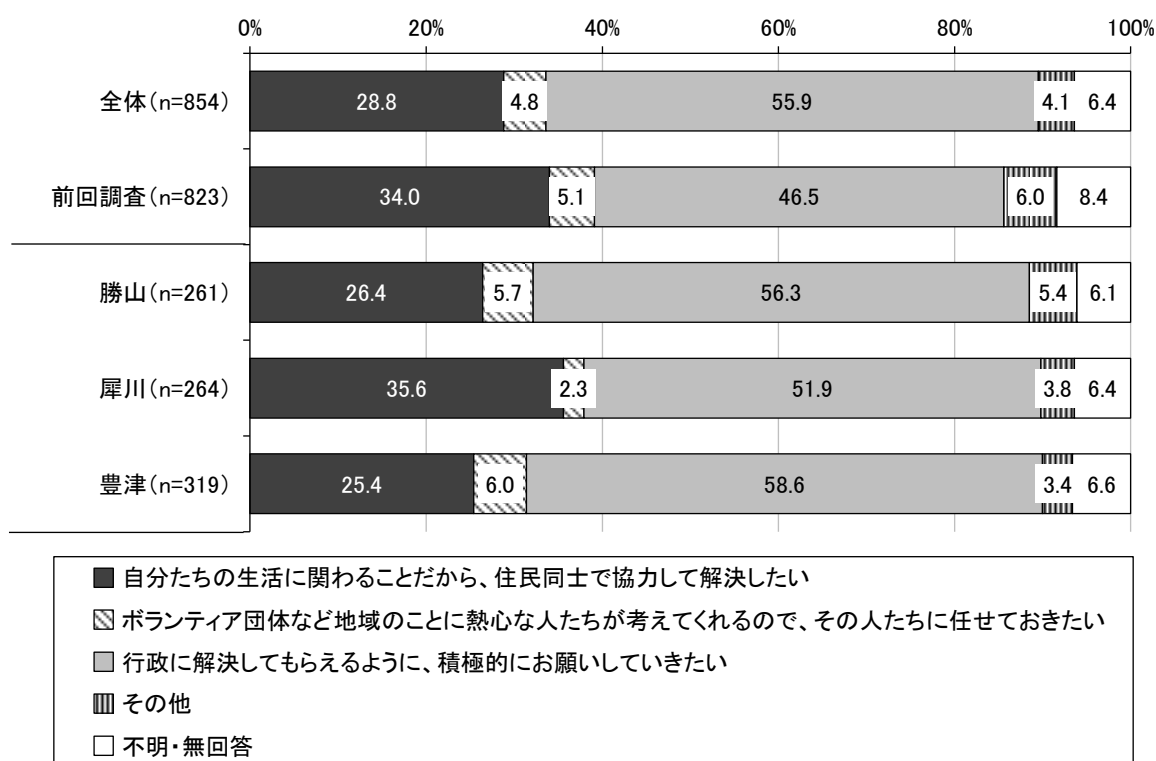
問 21 あなたは、住んでいる地域で困っていることや問題になっていることを解決する一番よい方法は何かと思いますか。【〇は1つだけ】

居住地域で困っていることや問題になっていることの解決方法についてみると、「行政に解決してもらえるように、積極的にお願いしていきたい」が 55.9%と最も高く、次いで「自分たちの生活に関わることだから、住民同士で協力して解決したい」が 28.8%、「ボランティア団体など地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい」が 4.8%となっています。

前回と比較すると、「行政に解決してもらえるように、積極的にお願いしていきたい」が 9.4 ポイント増加しています。

地区別にみると、すべての区分で「行政に解決してもらえるように、積極的にお願いしていきたい」が最も高くなっています。

年齢別にみると、[18・19 歳][75 歳以上]では「自分たちの生活に関わることだから、住民同士で協力して解決したい」、その他の区分では「行政に解決してもらえるように、積極的にお願いしていきたい」が最も高くなっています。



※前回調査：「ボランティア団体など熱心な人たちに任せておきたい」

<年齢別>

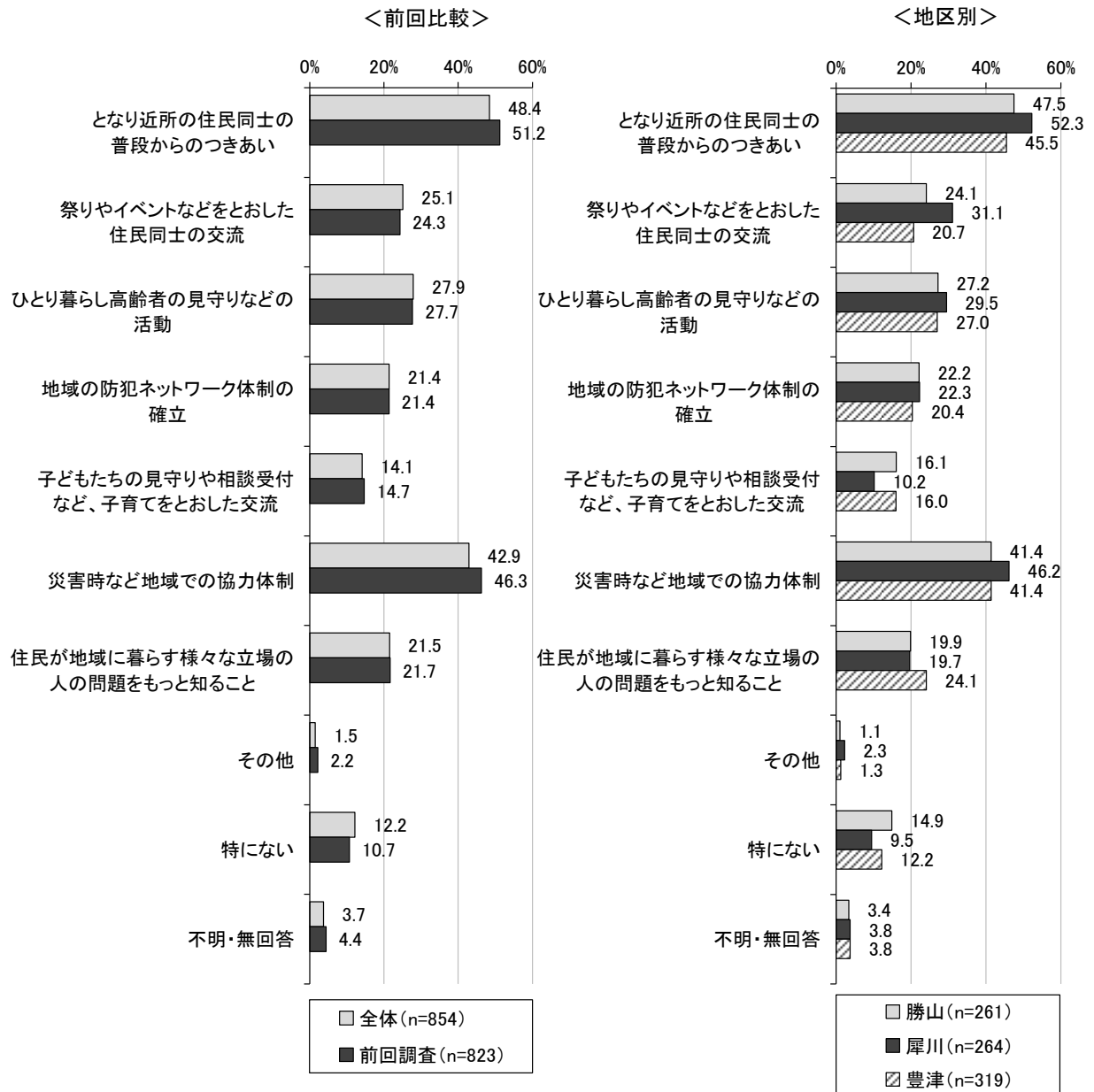
単位：%	自分たちの生活に関わることを解決したい	自分たちの生活に関わることを解決したい	ボランティア活動など地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちが任せておきたい	行政に積極的にお願いしていき	その他	不明・無回答
18・19歳 (n=14)	50.0	14.3	35.7	0.0	0.0	
20～29歳 (n=93)	17.2	11.8	66.7	1.1	3.2	
30～39歳 (n=104)	18.3	9.6	61.5	6.7	3.8	
40～49歳 (n=125)	24.0	2.4	64.8	4.8	4.0	
50～59歳 (n=127)	24.4	3.1	63.8	3.9	4.7	
60～64歳 (n=68)	33.8	1.5	54.4	7.4	2.9	
65～69歳 (n=93)	33.3	3.2	53.8	3.2	6.5	
70～74歳 (n=121)	37.2	2.5	43.0	5.0	12.4	
75歳以上 (n=99)	43.4	3.0	38.4	2.0	13.1	

問 22 地域に住む人同士が、生活上の問題をわかちあい、解決に向けて考え、行動できるような「支え合う地域づくり」のために、地域としてどのようなことに取り組む必要があると思いますか。【〇はいくつでも】

「支え合う地域づくり」のために、地域として取り組む必要があると思うことについてみると、「となり近所の住民同士の普段からのつきあい」が48.4%と最も高く、次いで「災害時など地域での協力体制」が42.9%、「ひとり暮らし高齢者の見守りなどの活動」が27.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「となり近所の住民同士の普段からのつきあい」が最も高くなっています。

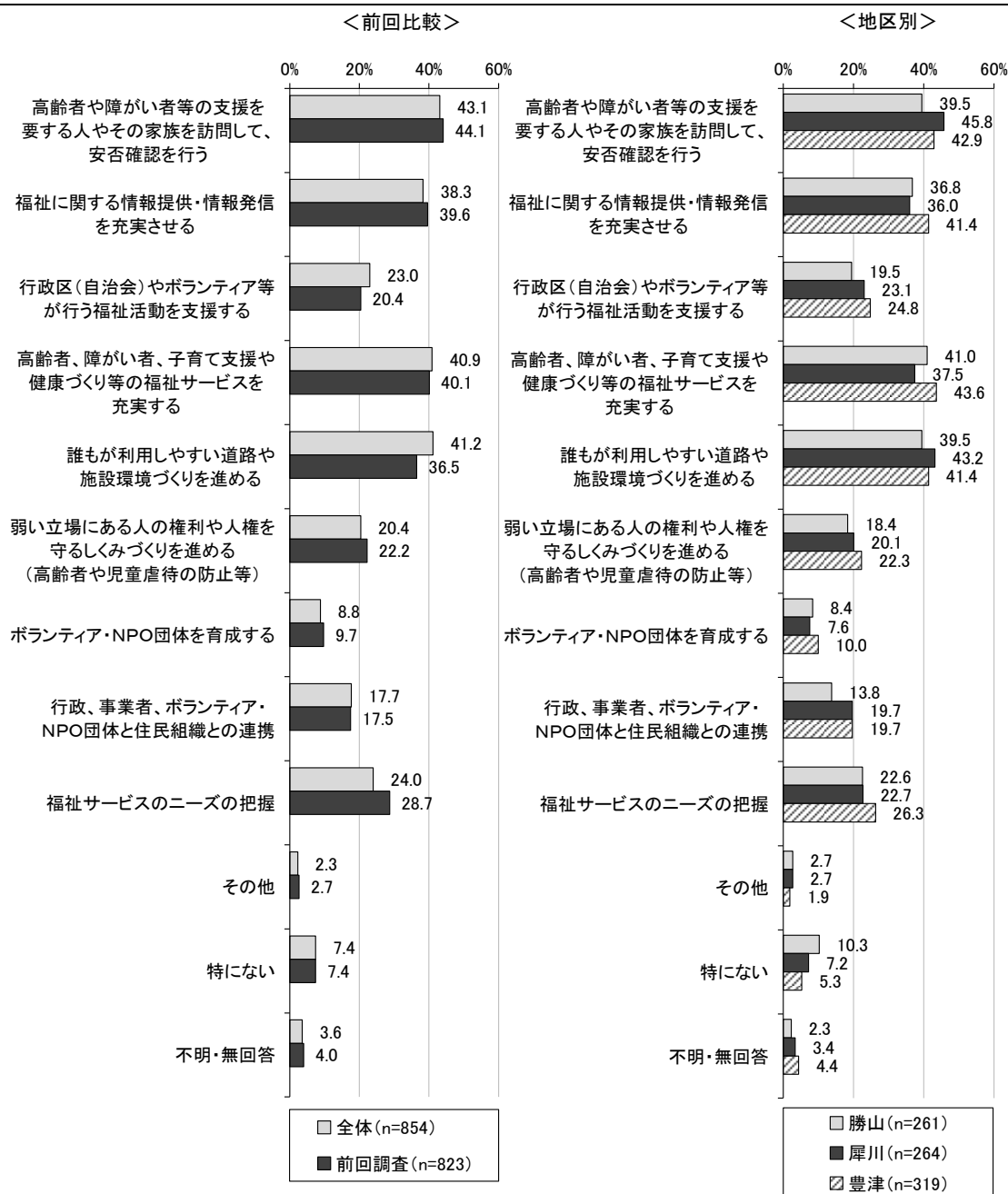


問 23 「支え合う地域づくり」や「福祉のまちづくり」を進めるために、行政（町）はどのようなことを行う必要があると思いますか。【〇はいくつでも】

「支え合う地域づくり」や「福祉のまちづくり」を進めるために、行政（町）が行う必要があると思うことについてみると、「高齢者や障がい者等の支援を要する人やその家族を訪問して、安否確認を行う」が 43.1%と最も高く、次いで「誰もが利用しやすい道路や施設環境づくりを進める」が 41.2%、「高齢者、障がい者、子育て支援や健康づくり等の福祉サービスを充実する」が 40.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、〔犀川〕では「高齢者や障がい者等の支援を要する人やその家族を訪問して、安否確認を行う」、その他の区分では「高齢者、障がい者、子育て支援や健康づくり等の福祉サービスを充実する」が最も高くなっています。



※前回調査：「高齢者や障がい者等の要支援者やその家族を訪問し安否確認を行う」「高齢者、障がい者、健康づくり等の福祉サービスを充実する」「弱い立場にある人の権利や人権を守るしくみづくりを進める」

4 福祉に関する意識について

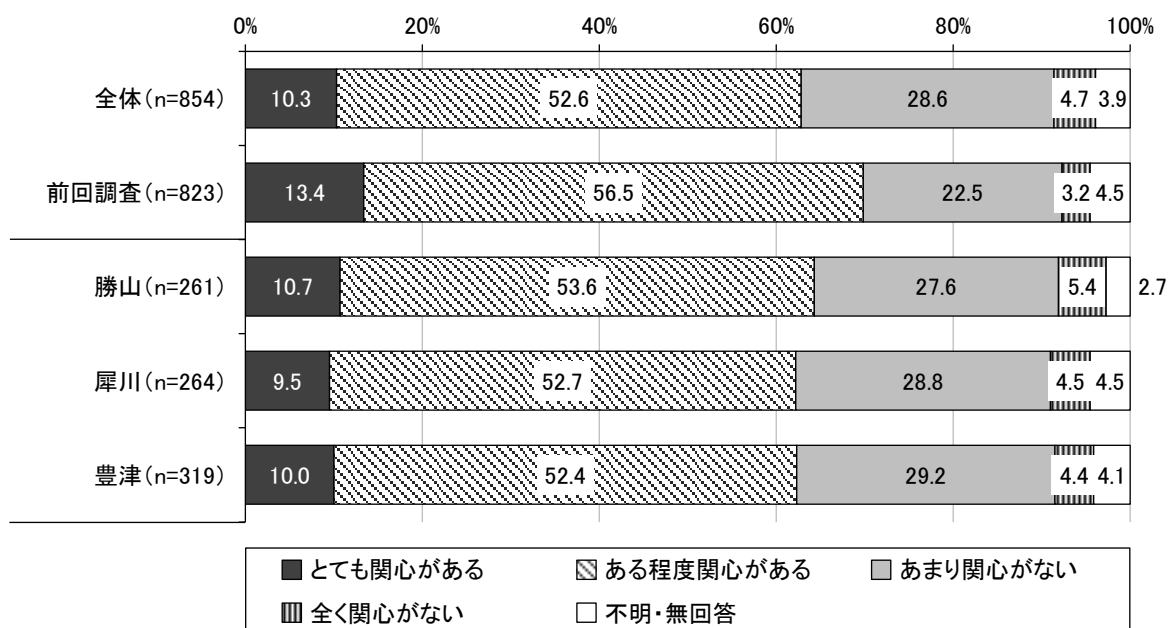
問 24 あなたは福祉について関心がありますか。【〇は1つだけ】

福祉への関心があるかについてみると、「ある程度関心がある」が 52.6%と最も高く、次いで「あまり関心がない」が 28.6%、「とても関心がある」が 10.3%となっています。

前回と比較すると、「あまり関心がない」が 6.1 ポイント増加しています。

地区別にみると、すべての区分で「ある程度関心がある」が最も高くなっています。

年齢別にみると、すべての区分で「ある程度関心がある」が最も高くなっています。



<年齢別>

単位: %	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	不明・無回答
18・19歳 (n=14)	0.0	50.0	28.6	21.4	0.0
20～29歳 (n=93)	8.6	40.9	36.6	12.9	1.1
30～39歳 (n=104)	7.7	47.1	29.8	10.6	4.8
40～49歳 (n=125)	9.6	49.6	36.0	3.2	1.6
50～59歳 (n=127)	12.6	59.8	24.4	2.4	0.8
60～64歳 (n=68)	7.4	60.3	26.5	2.9	2.9
65～69歳 (n=93)	12.9	54.8	24.7	1.1	6.5
70～74歳 (n=121)	6.6	49.6	35.5	1.7	6.6
75歳以上 (n=99)	17.2	61.6	12.1	2.0	7.1

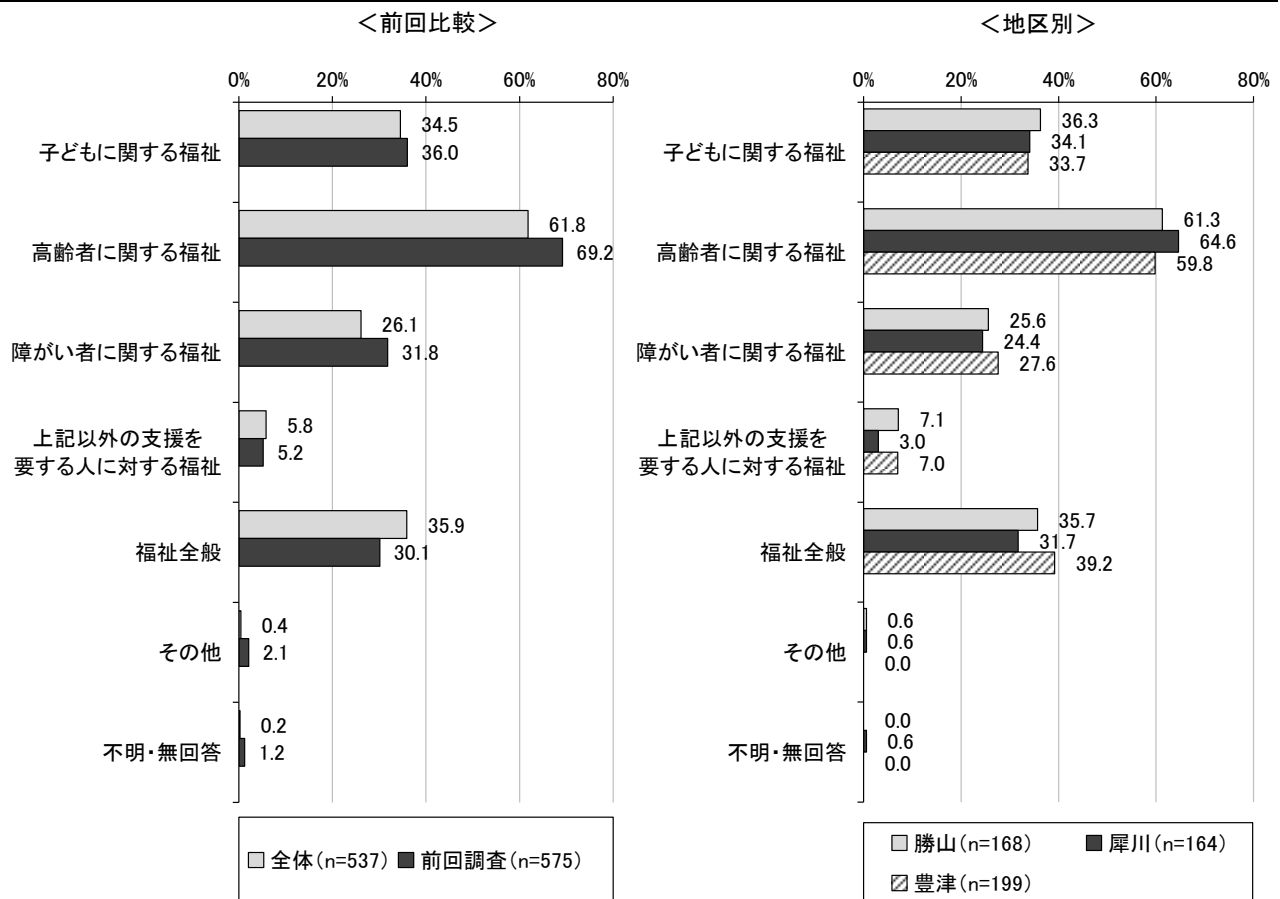
問 24 で「とても関心がある」「ある程度関心がある」を選んだ方

問 24-1 福祉のどのような分野に関心がありますか。【〇はいくつでも】

関心のある福祉分野についてみると、「高齢者に関する福祉」が 61.8%と最も高く、次いで「福祉全般」が 35.9%、「子どもに関する福祉」が 34.5%となっています。

前回と比較すると、「高齢者に関する福祉」が 7.4 ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「高齢者に関する福祉」が最も高くなっています。

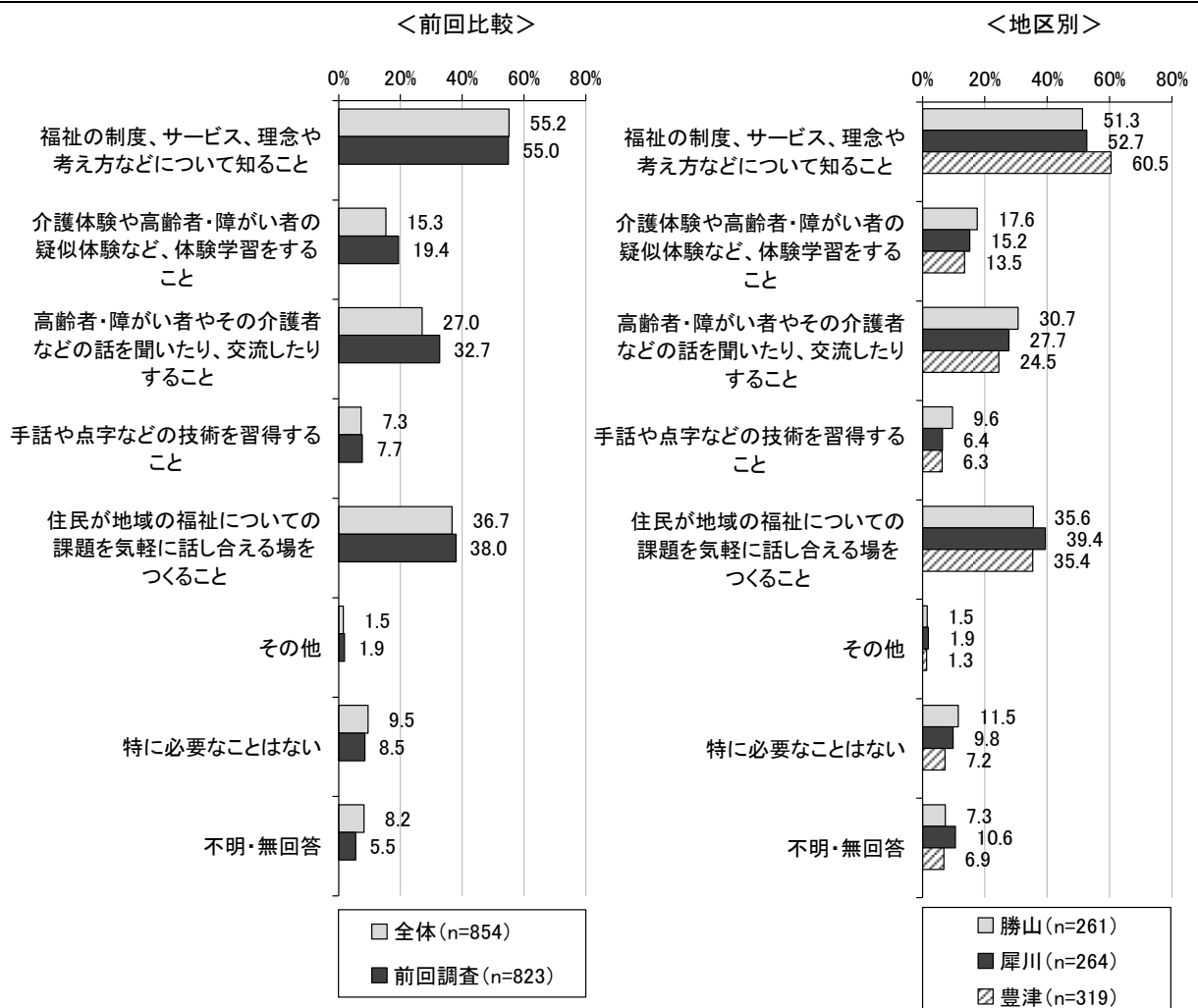


問 25 あなたは、住民が福祉について理解を深めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。【〇はいくつでも】

住民が福祉について理解を深めるために必要だと思うことについてみると、「福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて知ること」が 55.2%と最も高く、次いで「住民が地域の福祉についての課題を気軽に話し合える場をつくること」が 36.7%、「高齢者・障がい者やその介護者などの話を聞いたり、交流したりすること」が 27.0%となっています。

前回と比較すると、「高齢者・障がい者やその介護者などの話を聞いたり、交流したりすること」が 5.7 ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて知ること」が最も高くなっています。



※前回調査：「高齢者・障がい者やその介護者などの話を聞いたり、交流すること」

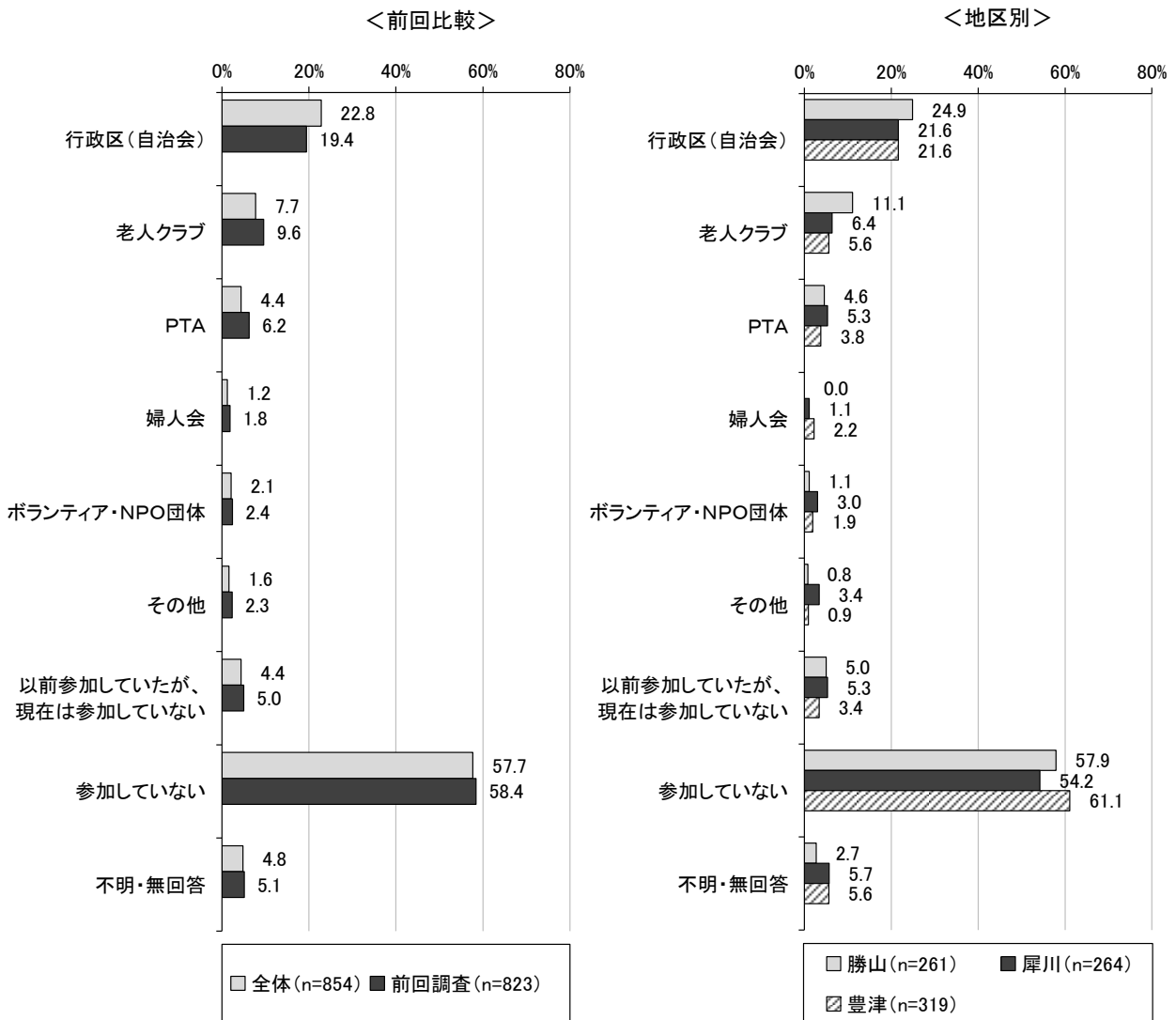
5 ボランティア活動等について

問 26 みやこ町では、現在、次のような団体が各地域で活動しています。あなたは、これらの活動に参加していますか。【〇はいくつでも】

地域での活動への参加状況についてみると、「参加していない」が 57.7%と最も高く、次いで「行政区(自治会)」が 22.8%、「老人クラブ」が 7.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「参加していない」が最も高くなっています。



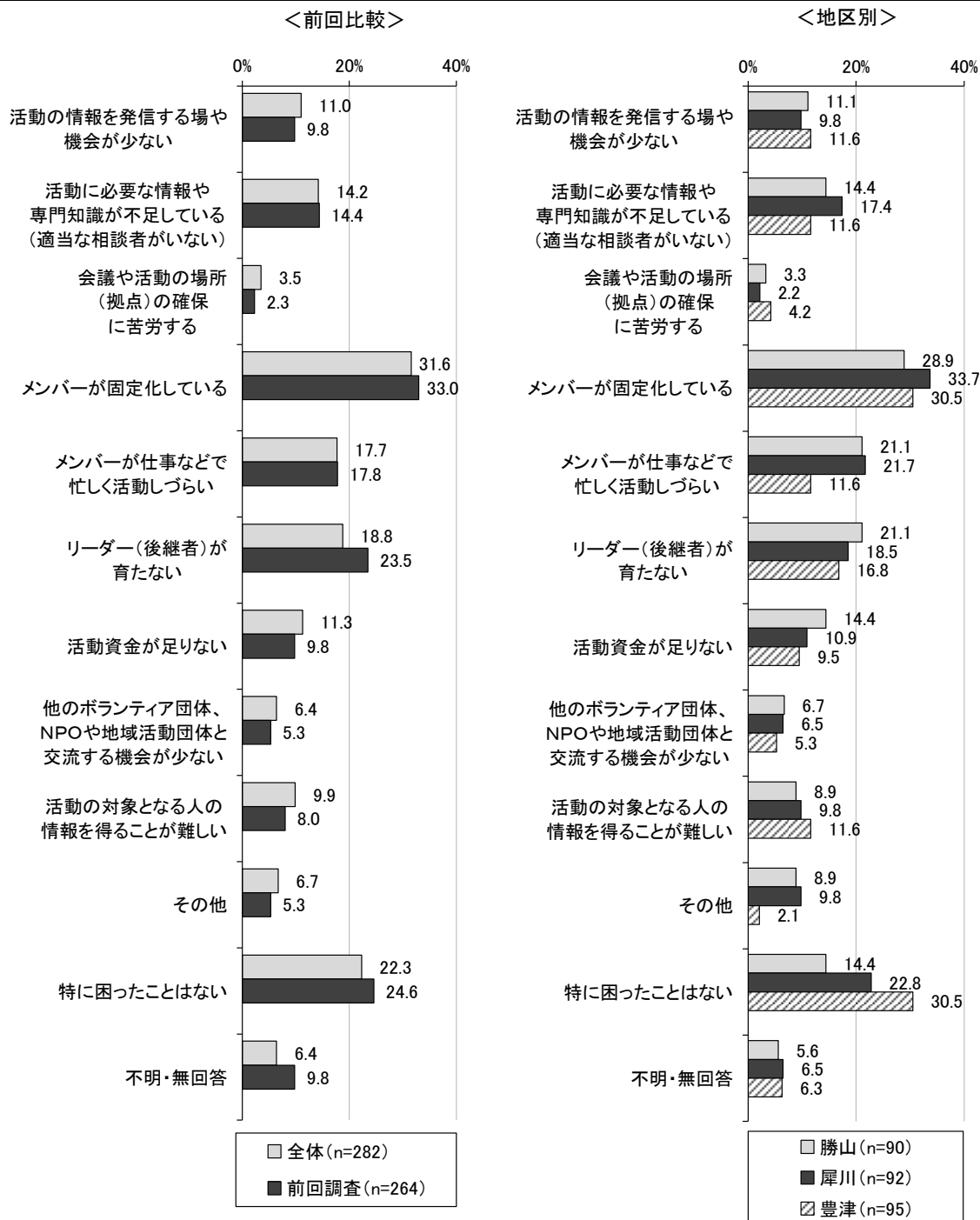
問 26 で「行政区（自治会）」～「その他」を選んだ方

問 26-1 活動を行う上で困っていることはありますか。【〇はいくつでも】

活動を行う上で困っていることについてみると、「メンバーが固定化している」が 31.6%と最も高く、次いで「特に困ったことはない」が 22.3%、「リーダー（後継者）が育たない」が 18.8%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、〔豊津〕では「メンバーが固定化している」「特に困ったことはない」、その他の区分では「メンバーが固定化している」が最も高くなっています。



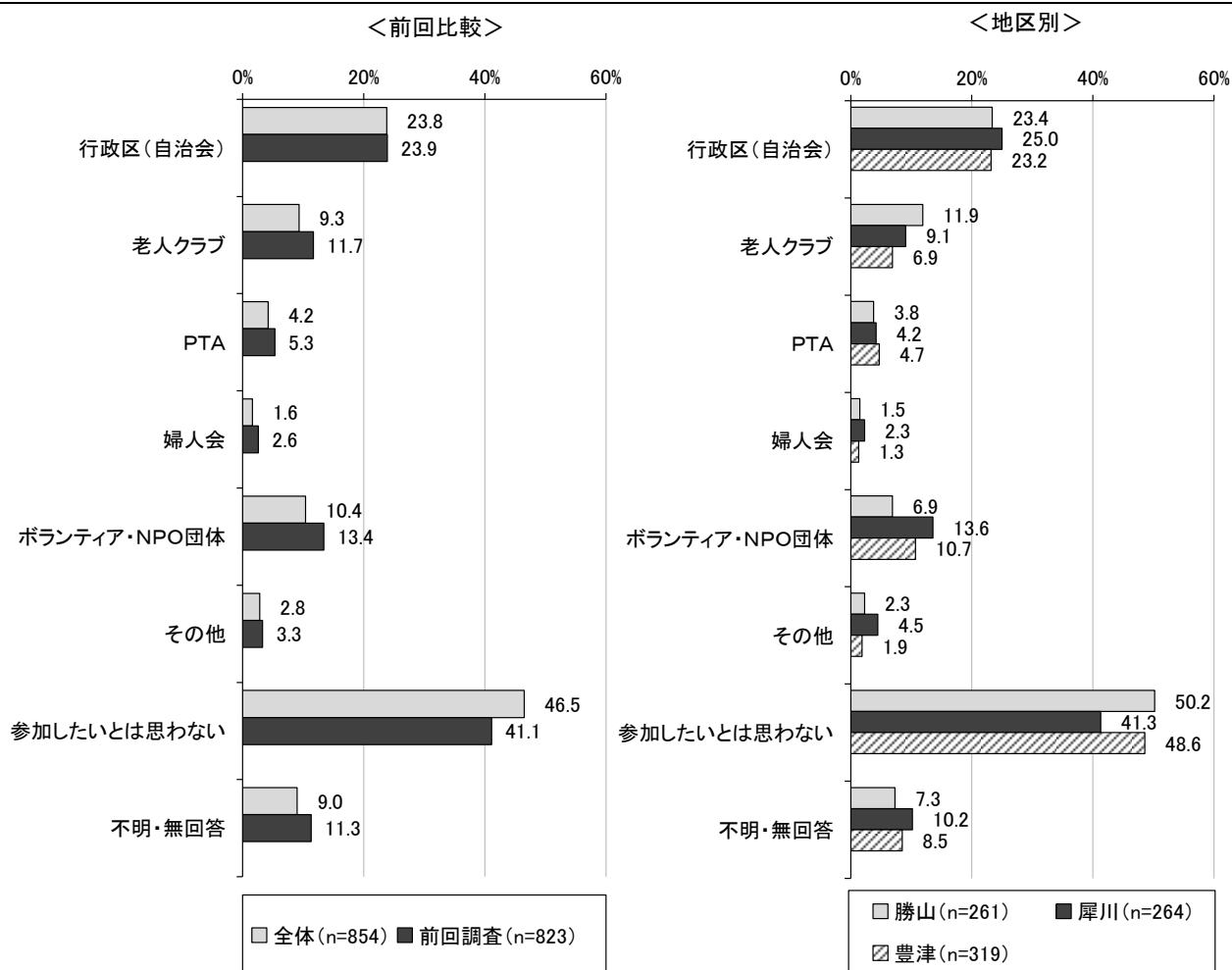
※前回調査：「活動に必要な情報や専門知識が不足している」「メンバーが仕事などで忙しく活動できにくい」「他ボランティア団体、NPOや地域活動団体との交流機会が少ない」「活動の対象となる人の情報が得にくい」

問 27 あなたは、今後、次のような地域での活動に参加したいと思いますか。(現在、活動に参加している方は、今後も続けていく項目にも○を付けてください。)【○はいくつでも】

今後、地域での活動に参加したいと思うかについてみると、「参加したいとは思わない」が46.5%と最も高く、次いで「行政区(自治会)」が23.8%、「ボランティア・NPO団体」が10.4%となっています。

前回と比較すると、「参加したいとは思わない」が5.4ポイント増加しています。

地区別にみると、すべての区分で「参加したいとは思わない」が最も高くなっています。



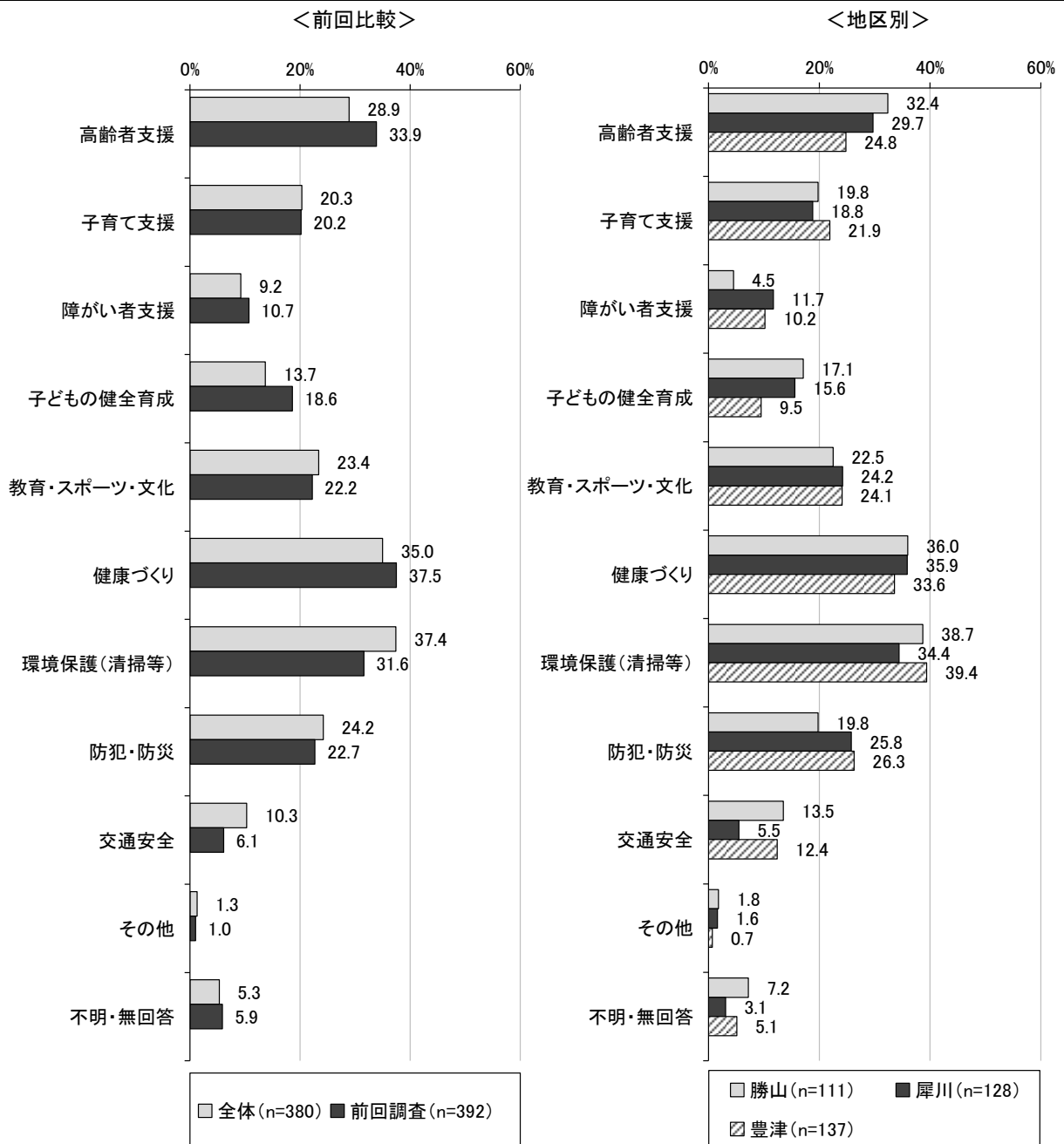
問 27 で「行政区（自治会）」～「その他」を選んだ方

問 27-1 参加したい活動の内容は何ですか。【〇は主なものを3つまで】

参加したい活動の内容についてみると、「環境保護(清掃等)」が 37.4%と最も高く、次いで「健康づくり」が 35.0%、「高齢者支援」が 28.9%となっています。

前回と比較すると、「環境保護(清掃等)」が 5.8 ポイント増加しています。

地区別にみると、〔犀川〕では「健康づくり」、その他の区分では「環境保護(清掃等)」が最も高くなっています。



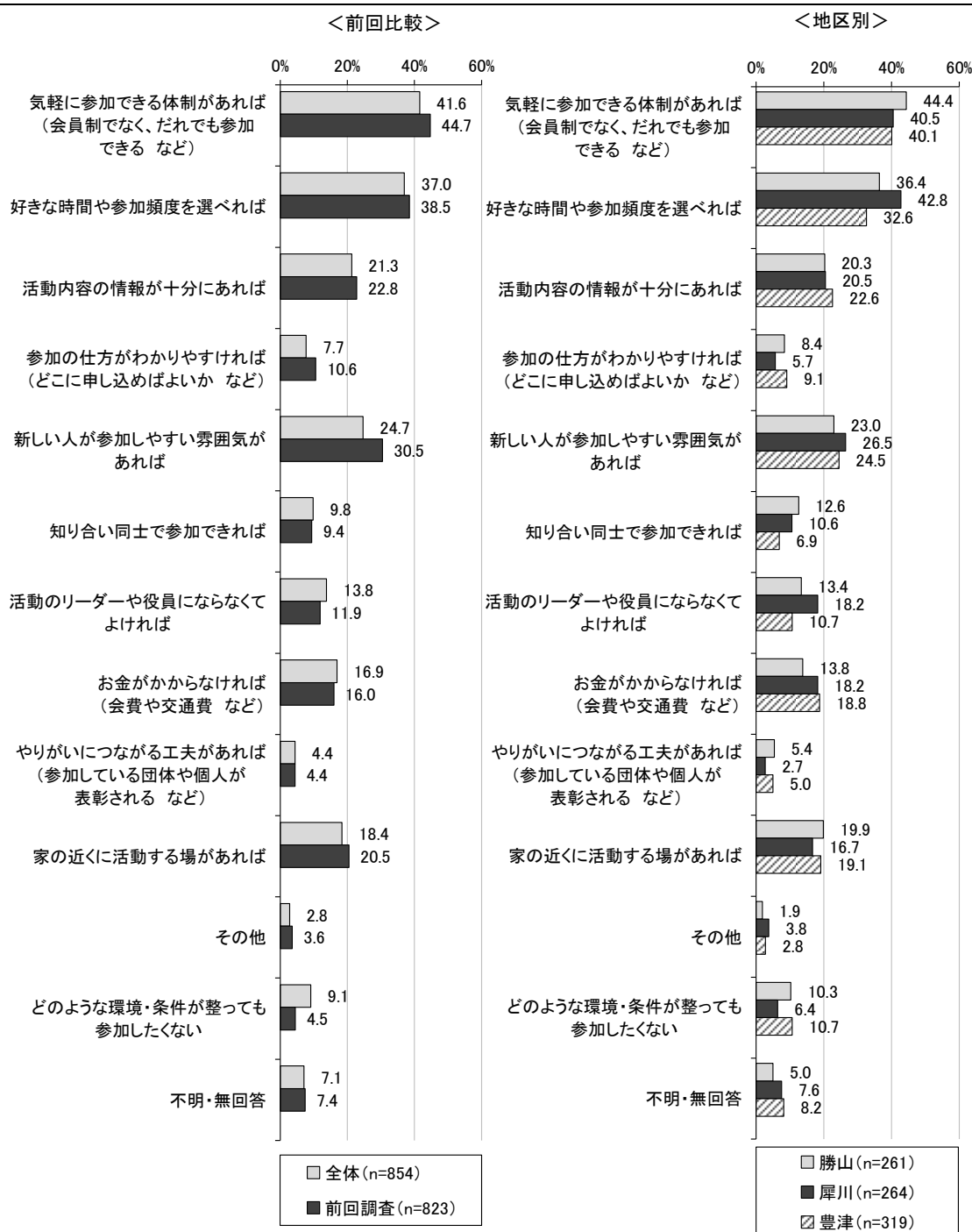
問 28 どのような環境や条件があれば、地域の活動に参加しやすいと思いますか。

【○は主なものを3つまで】

地域の活動に参加しやすくなる環境や条件についてみると、「気軽に参加できる体制があれば(会員制でなく、だれでも参加できる など)」が 41.6%と最も高く、次いで「好きな時間や参加頻度を選べれば」が 37.0%、「新しい人が参加しやすい雰囲気があれば」が 24.7%となっています。

前回と比較すると、「新しい人が参加しやすい雰囲気があれば」が 5.8 ポイント減少しています。

地区別にみると、[犀川]では「好きな時間や参加頻度を選べれば」、その他の区分では「気軽に参加できる体制があれば(会員制でなく、だれでも参加できる など)」が最も高くなっています。



※前回調査：「気軽に参加できる体制があれば」「参加の仕方がわかりやすければ」「お金がかからなければ」「やりがいにつながる工夫があれば」

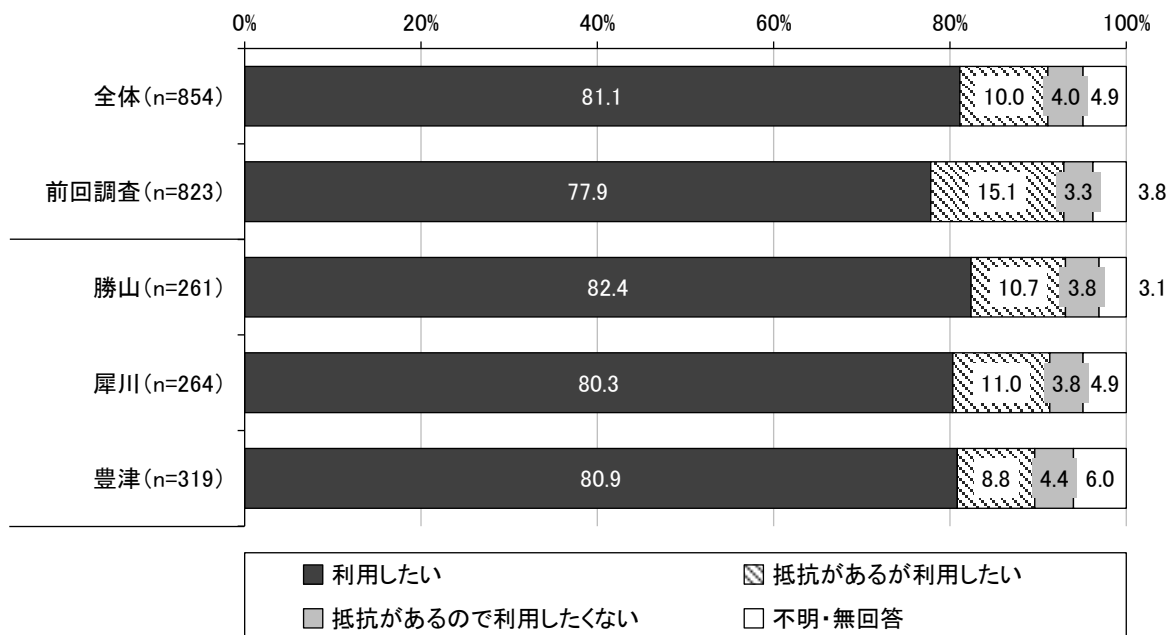
6 福祉サービスについて

問 29 あなた自身やあなたのご家族に福祉サービスが必要になったとき、サービスを利用したいですか。【〇は1つだけ】

福祉サービスが必要になったとき、サービスを利用したいかについてみると、「利用したい」が 81.1%と最も高く、次いで「抵抗があるが利用したい」が10.0%、「抵抗があるので利用したくない」が4.0%となっています。

前回と比較すると、「抵抗があるが利用したい」が 5.1 ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「利用したい」が最も高くなっています。



※前回調査：「利用する」「抵抗はあるが利用する」「抵抗があるので利用しない」

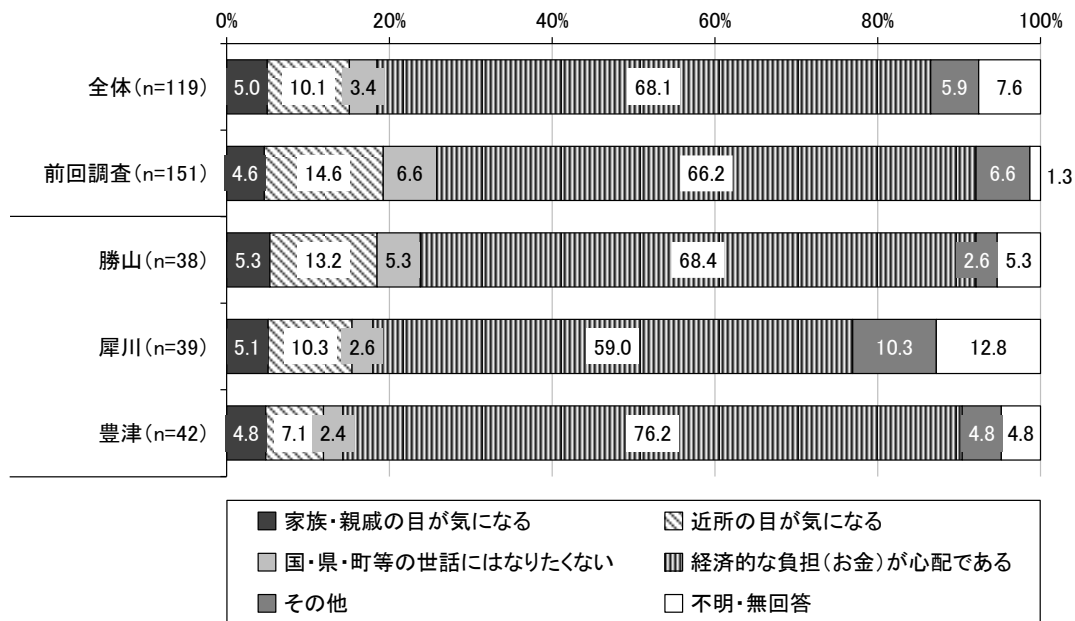
問 29 で「抵抗があるが利用したい」「抵抗があるので利用したくない」を選んだ方

問 29-1 どのような抵抗がありますか。【○は1つだけ】

福祉サービス利用への抵抗についてみると、「経済的な負担(お金)が心配である」が 68.1%と最も高く、次いで「近所の目が気になる」が 10.1%、「家族・親戚の目が気になる」が 5.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「経済的な負担(お金)が心配である」が最も高くなっています。

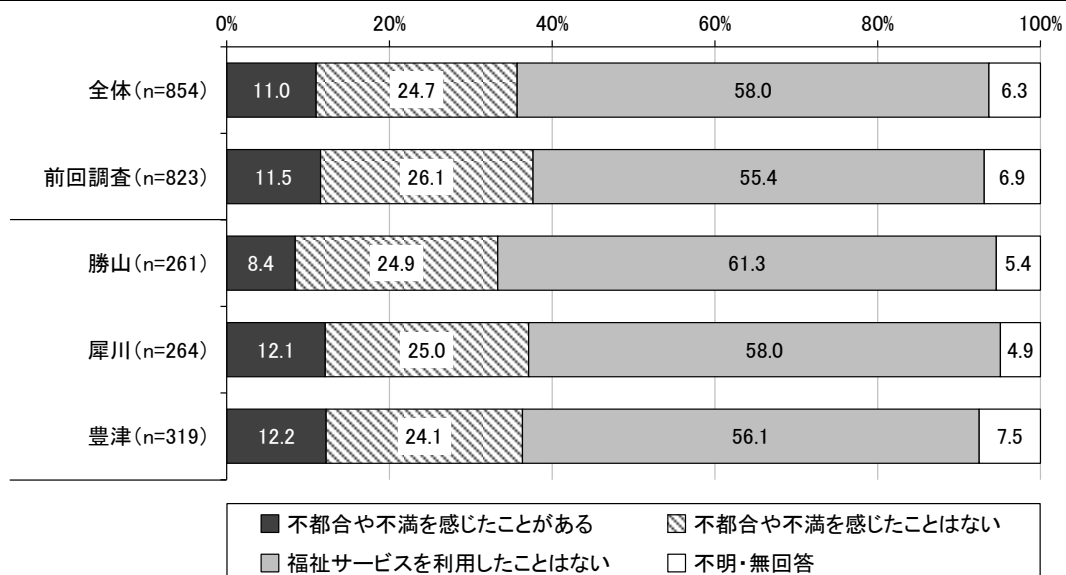


問 30 あなた自身やあなたのご家族は、これまでに、福祉サービスの利用に際して不都合を感じたり、不満に思ったことがありますか。【○は1つだけ】

これまでに、福祉サービスの利用に際して不都合を感じたり、不満に思ったことがあるかについてみると、「福祉サービスを利用したことはない」が 58.0%と最も高く、次いで「不都合や不満を感じたことはない」が 24.7%、「不都合や不満を感じたことがある」が 11.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「福祉サービスを利用したことはない」が最も高くなっています。



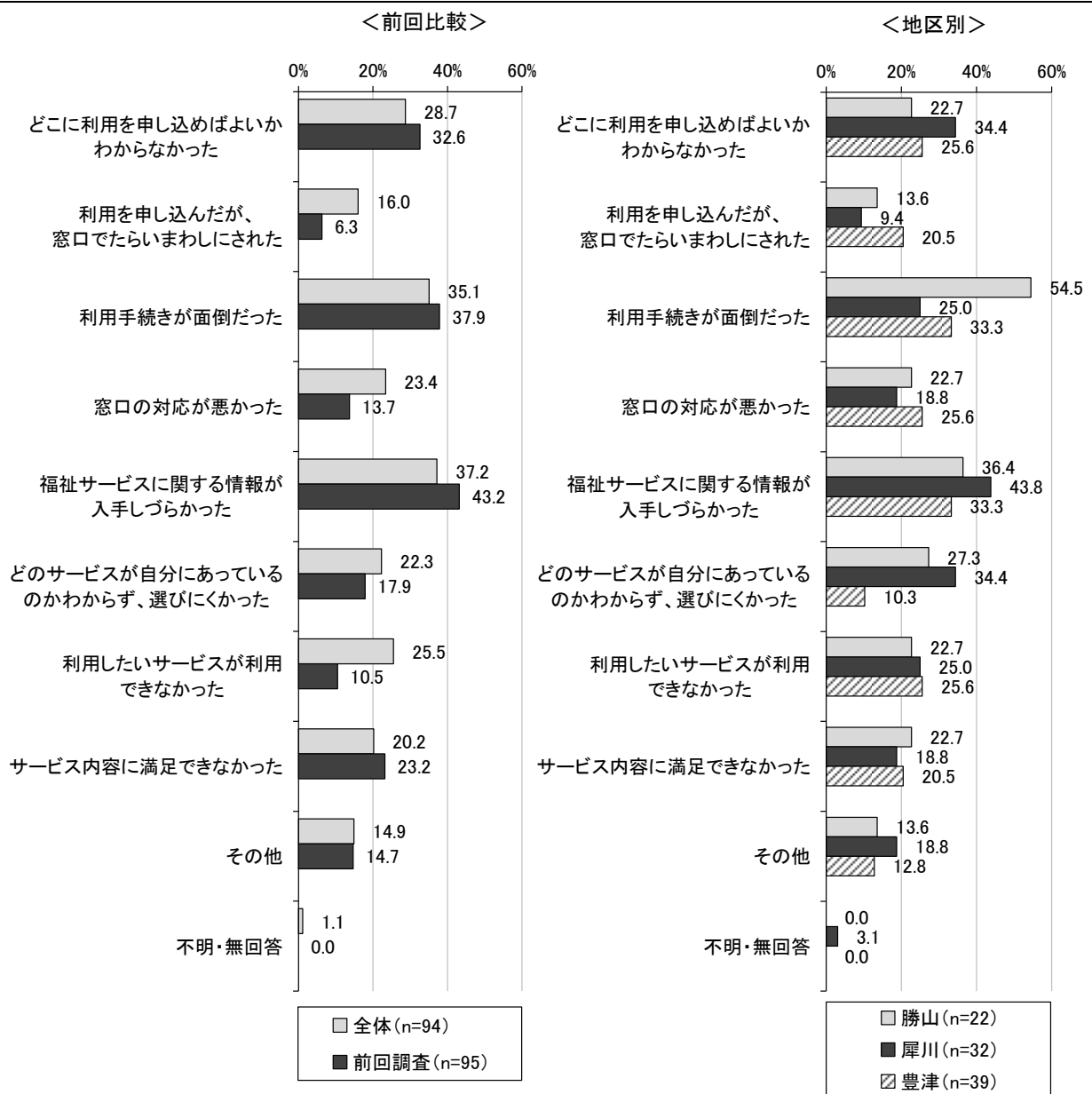
問 30 で「不都合や不満を感じたことがある」を選んだ方

問 30-1 不都合を感じたり、不満に思ったことはどのようなことですか。【〇はいくつでも】

不都合を感じたり、不満に思ったことについてみると、「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」が 37.2%と最も高く、次いで「利用手続きが面倒だった」が 35.1%、「どこに利用を申し込めばよいかわからなかった」が 28.7%となっています。

前回と比較すると、「利用したいサービスが利用できなかった」が 15.0 ポイント増加しています。

地区別にみると、〔勝山〕では「利用手続きが面倒だった」、〔犀川〕では「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」、〔豊津〕では「利用手続きが面倒だった」「福祉サービスに関する情報が入手しづらかった」が最も高くなっています。



問 31 あなたは、福祉に関する情報をどこ（誰）から入手しますか。【〇はいくつでも】

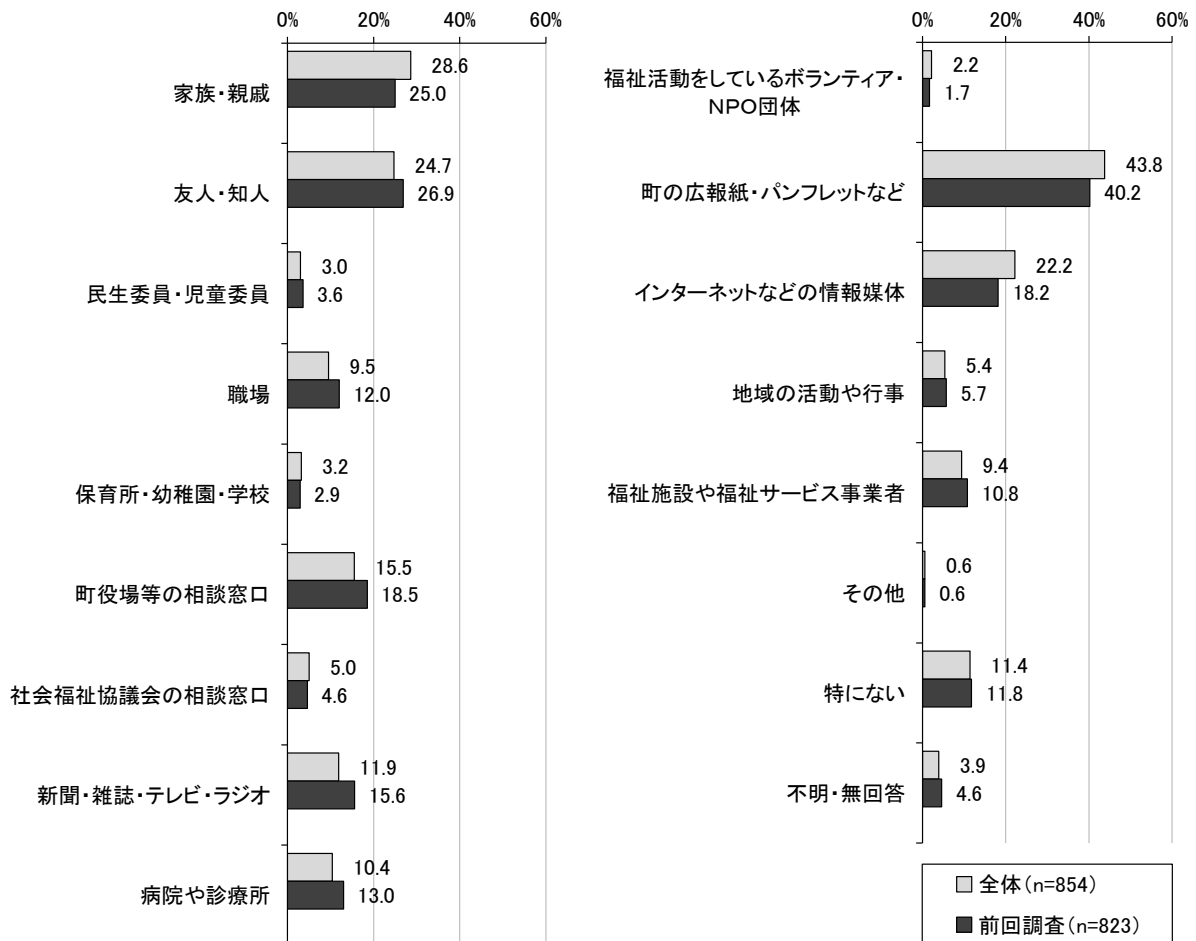
福祉に関する情報の入手先についてみると、「町の広報紙・パンフレットなど」が 43.8%と最も高く、次いで「家族・親戚」が 28.6%、「友人・知人」が 24.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

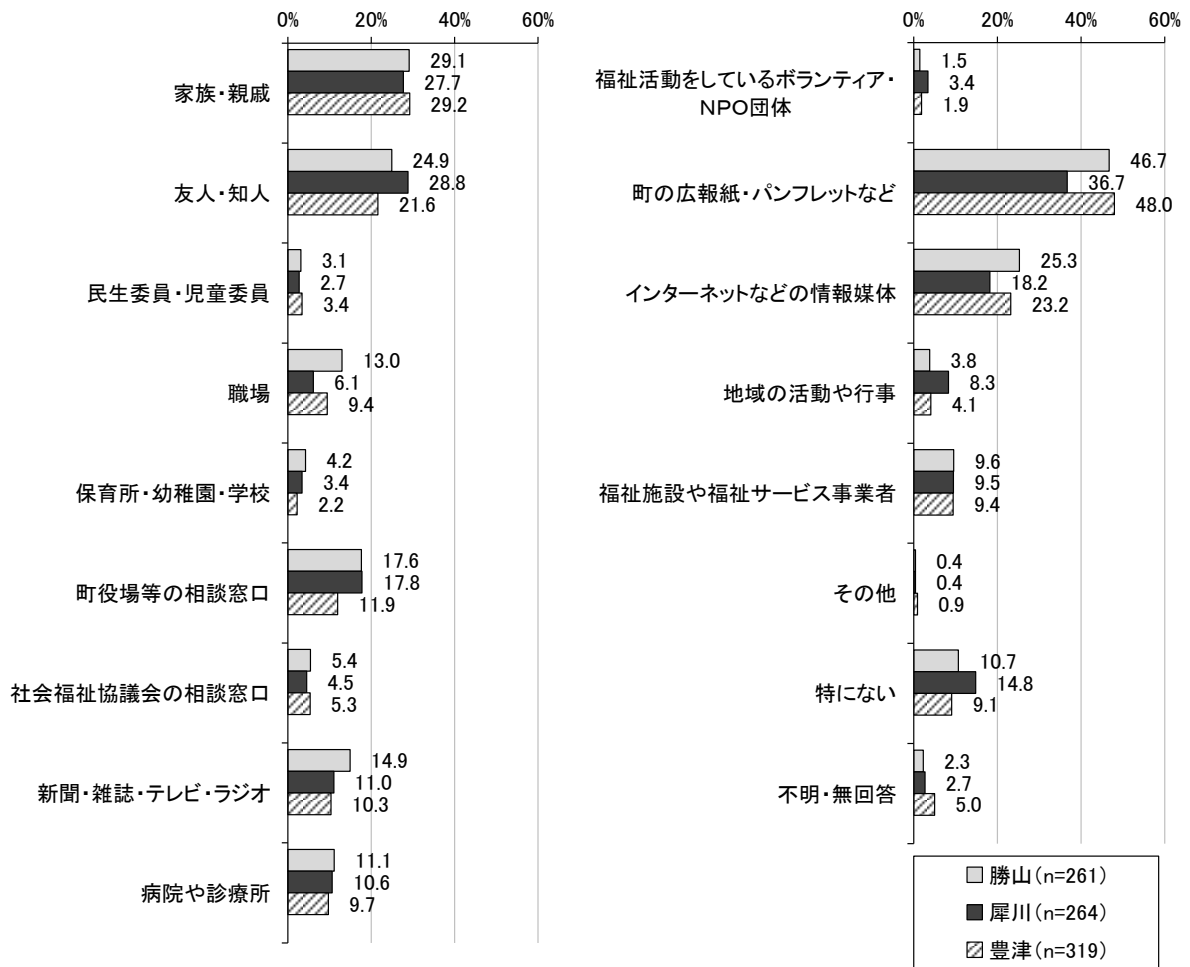
地区別にみると、すべての区分で「町の広報紙・パンフレットなど」が最も高くなっています。

年齢別にみると、〔18・19 歳〕では「インターネットなどの情報媒体」、〔20～39 歳〕では「家族・親戚」、〔40 歳以上〕では「町の広報紙・パンフレットなど」が最も高くなっています。

<前回比較>



<地区別>



<年齢別>

単位：%	家族・親戚	友人・知人	民生委員・児童委員	職場	保育所・幼稚園・学校	町役場等の相談窓口	社会福祉協議会の相談窓口	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	病院や診療所
18・19歳 (n=14)	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
20～29歳 (n=93)	44.1	16.1	3.2	20.4	7.5	8.6	2.2	14.0	14.0
30～39歳 (n=104)	43.3	16.3	1.0	16.3	7.7	9.6	1.0	5.8	4.8
40～49歳 (n=125)	28.0	18.4	0.8	16.0	6.4	13.6	2.4	10.4	8.8
50～59歳 (n=127)	24.4	21.3	2.4	7.9	2.4	17.3	6.3	11.0	12.6
60～64歳 (n=68)	23.5	26.5	1.5	7.4	0.0	19.1	8.8	11.8	19.1
65～69歳 (n=93)	26.9	33.3	2.2	5.4	0.0	28.0	8.6	17.2	15.1
70～74歳 (n=121)	19.0	34.7	4.1	2.5	0.0	14.0	6.6	14.9	4.1
75歳以上 (n=99)	22.2	35.4	10.1	1.0	1.0	18.2	7.1	11.1	11.1

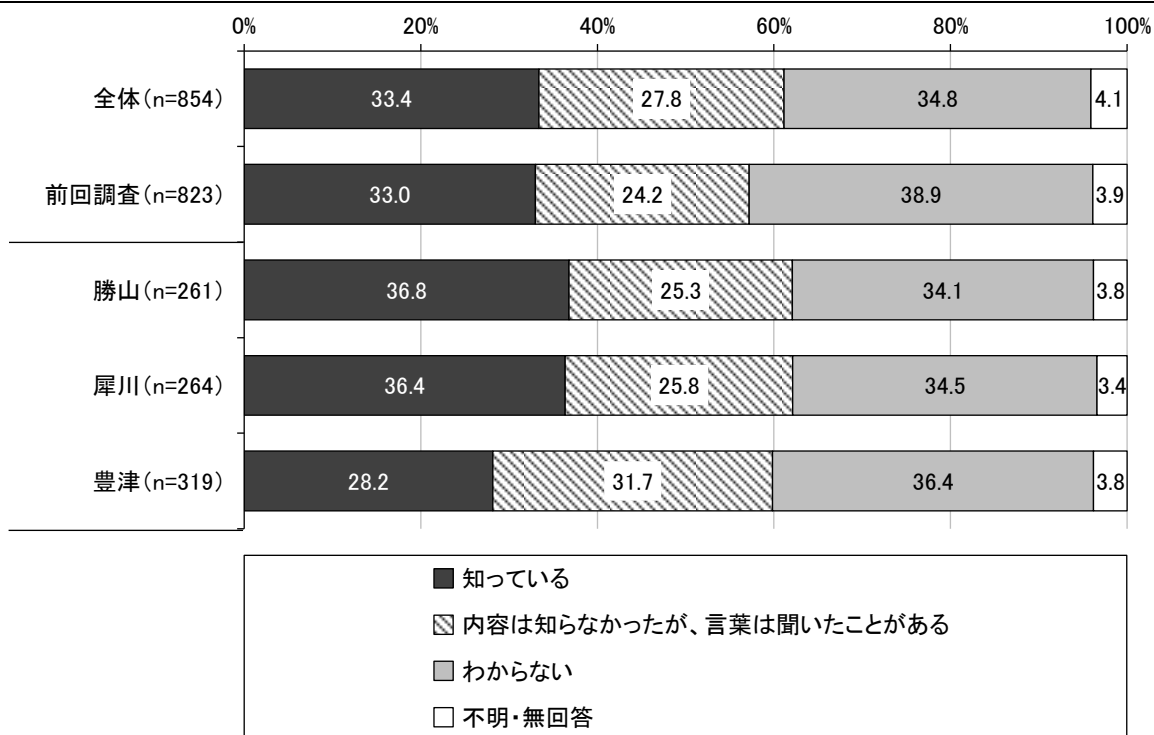
単位：%	福祉活動をしているボランティア・NPO団体	町の広報紙・パンフレットなど	インターネットなどの情報媒体	地域の活動や行事	福祉施設や福祉サービス事業者	その他	特にない	不明・無回答
18・19歳 (n=14)	0.0	21.4	35.7	7.1	0.0	0.0	21.4	7.1
20～29歳 (n=93)	0.0	26.9	28.0	4.3	4.3	1.1	18.3	1.1
30～39歳 (n=104)	0.0	32.7	26.9	1.0	5.8	0.0	15.4	1.9
40～49歳 (n=125)	0.8	46.4	33.6	2.4	11.2	0.0	12.8	3.2
50～59歳 (n=127)	3.9	51.2	29.9	7.9	11.8	0.8	7.1	1.6
60～64歳 (n=68)	0.0	55.9	20.6	2.9	7.4	1.5	5.9	2.9
65～69歳 (n=93)	2.2	55.9	19.4	10.8	10.8	1.1	7.5	4.3
70～74歳 (n=121)	3.3	45.5	9.9	6.6	12.4	0.8	11.6	5.8
75歳以上 (n=99)	7.1	42.4	4.0	6.1	11.1	0.0	10.1	7.1

問 32 あなたは、成年後見制度についてご存知ですか。【〇は1つだけ】

成年後見制度の認知度についてみると、「わからない」が 34.8%と最も高く、次いで「知っている」が 33.4%、「内容は知らなかったが、言葉は聞いたことがある」が 27.8%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

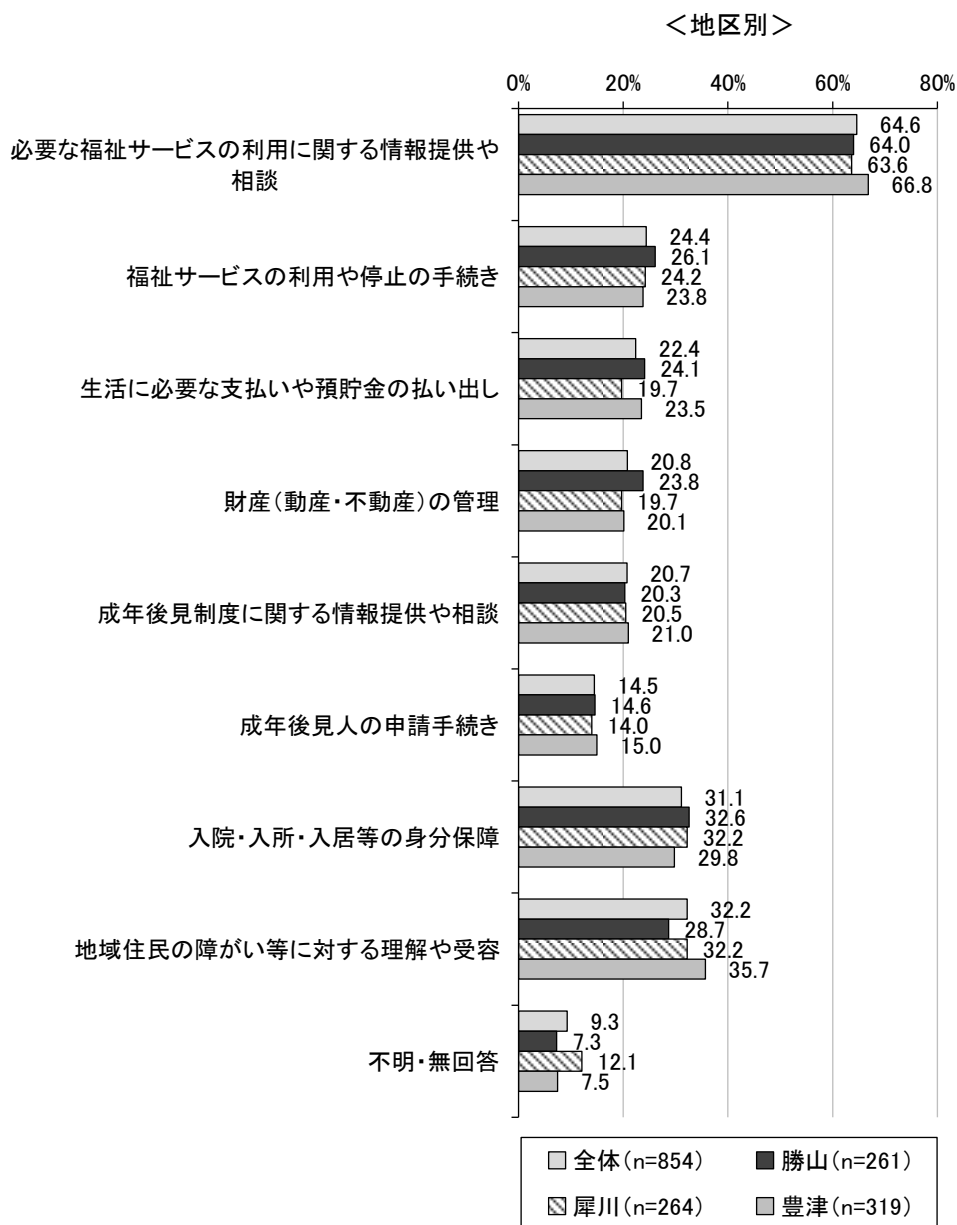
地区別にみると、〔豊津〕では「わからない」、その他の区分では「知っている」が最も高くなっています。



問 33 認知症や知的障がい、精神障がいのある方など、判断能力が不十分な方が、地域で安心して暮らしていくために、どのような支援が必要だと思いますか。【〇はいくつでも】

判断能力が不十分な方が、地域で安心して暮らしていくために、必要だと思う支援についてみると、「必要な福祉サービスの利用に関する情報提供や相談」が 64.6%と最も高く、次いで「地域住民の障がい等に対する理解や受容」が 32.2%、「入院・入所・入居等の身分保障」が 31.1%となっています。

地区別にみると、すべての区分で「必要な福祉サービスの利用に関する情報提供や相談」が最も高くなっています。

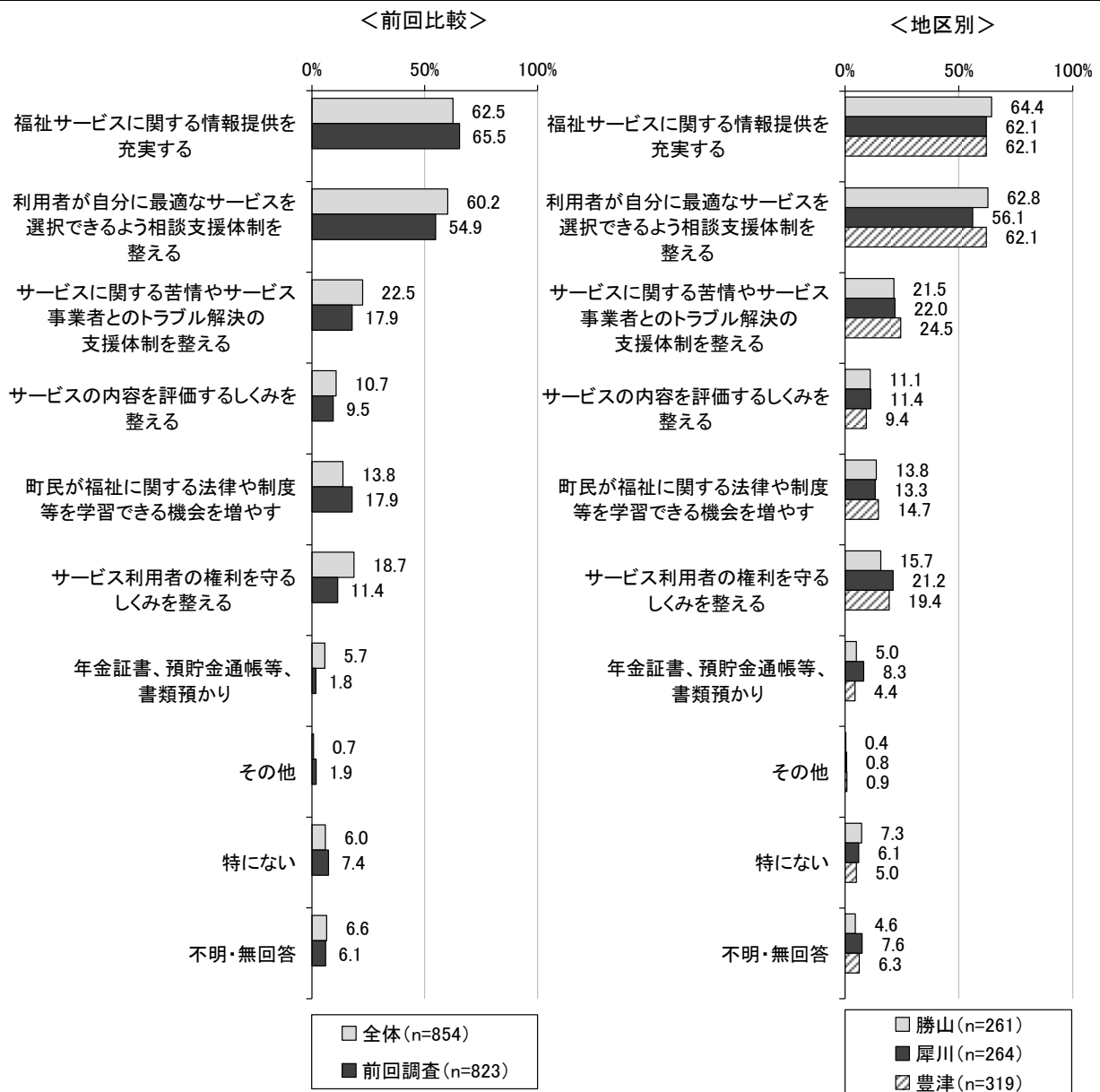


問 34 福祉サービス利用者が自分に最適なサービスを選び、安心してサービスを利用するために、町はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。【〇は主なものを3つまで】

福祉サービス利用者が自分に最適なサービスを選び、安心してサービスを利用するために、町が取り組む必要があると思うことについてみると、「福祉サービスに関する情報提供を充実する」が62.5%と最も高く、次いで「利用者が自分に最適なサービスを選択できるよう相談支援体制を整える」が60.2%、「サービスに関する苦情やサービス事業者とのトラブル解決の支援体制を整える」が22.5%となっています。

前回と比較すると、「サービス利用者の権利を守るしきみを整える」が7.3ポイント増加しています。

地区別にみると、〔豊津〕では「福祉サービスに関する情報提供を充実する」「利用者が自分に最適なサービスを選択できるよう相談支援体制を整える」、その他の区分では「福祉サービスに関する情報提供を充実する」が最も高くなっています。



※前回調査：「サービスの苦情や事業者とのトラブル解決の支援体制を整える」

7 防災（災害）について

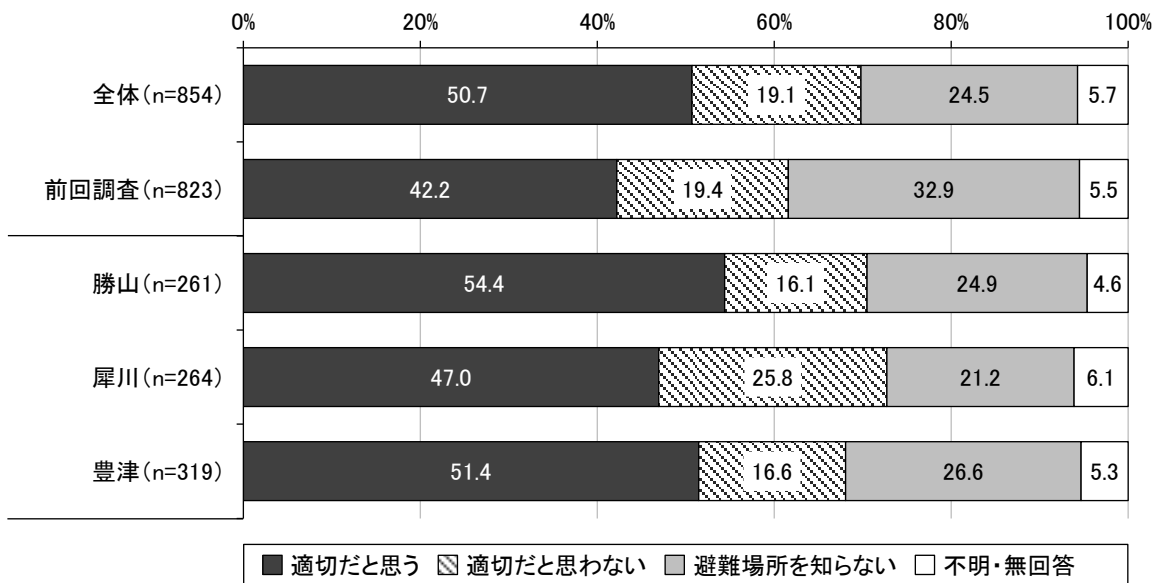
問 35 あなたは、現在指定されている町内の災害避難場所は適切だと思いますか。【〇は1つだけ】

現在指定されている町内の災害避難場所は適切だと思うかについてみると、「適切だと思う」が 50.7%と最も高く、次いで「避難場所を知らない」が 24.5%、「適切だと思わない」が 19.1%となっています。

前回と比較すると、「適切だと思う」が 8.5 ポイント増加しています。

地区別にみると、すべての区分で「適切だと思う」が最も高くなっています。

年齢別にみると、すべての区分で「適切だと思う」が最も高くなっています。



<年齢別>

単位: %	適切だと思う	適切だと思わない	避難場所を知らない	不明・無回答
18・19歳 (n=14)	50.0	7.1	35.7	7.1
20～29歳 (n=93)	55.9	5.4	37.6	1.1
30～39歳 (n=104)	54.8	9.6	33.7	1.9
40～49歳 (n=125)	54.4	23.2	20.0	2.4
50～59歳 (n=127)	51.2	23.6	22.0	3.1
60～64歳 (n=68)	47.1	25.0	25.0	2.9
65～69歳 (n=93)	44.1	28.0	20.4	7.5
70～74歳 (n=121)	54.5	18.2	14.9	12.4
75歳以上 (n=99)	42.4	23.2	23.2	11.1

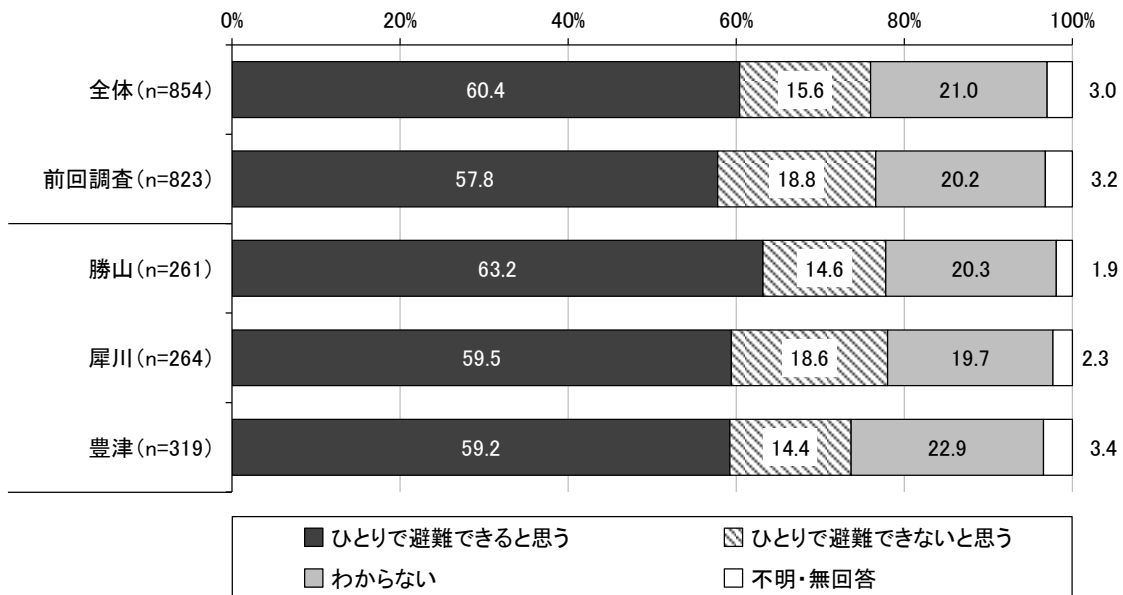
問 36 あなたは、災害発生時等の緊急時の場合に、自分ひとりで避難できると思いますか。

【〇は1つだけ】

災害発生時等の緊急時の場合に、自分ひとりで避難できると思うかについてみると、「ひとりで避難できると思う」が 60.4%と最も高く、次いで「わからない」が 21.0%、「ひとりで避難できないと思う」が 15.6%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「ひとりで避難できると思う」が最も高くなっています。

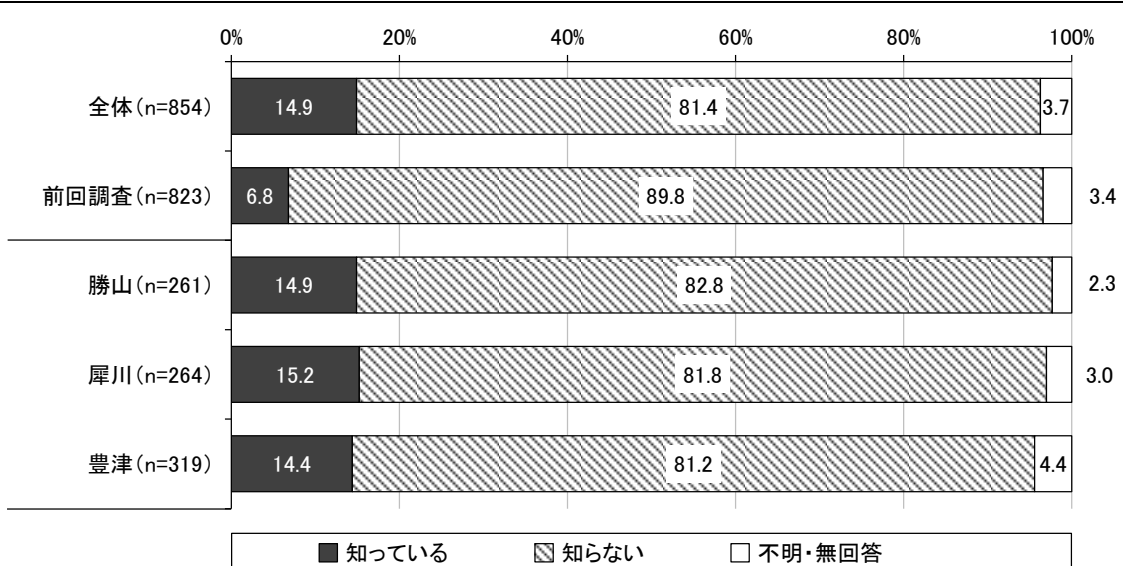


問 37 みやこ町では、災害時に自力では避難が困難な方を支援するための情報として、本人の希望に基づき、要援護者（高齢者・障がい者・難病患者等）の情報登録を行っています。そのことをご存知ですか。【〇は1つだけ】

要援護者の情報登録を行っていることへの認知度についてみると、「知っている」が 14.9%、「知らない」が 81.4%となっています。

前回と比較すると、「知らない」が 8.4 ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「知らない」が上回っています。



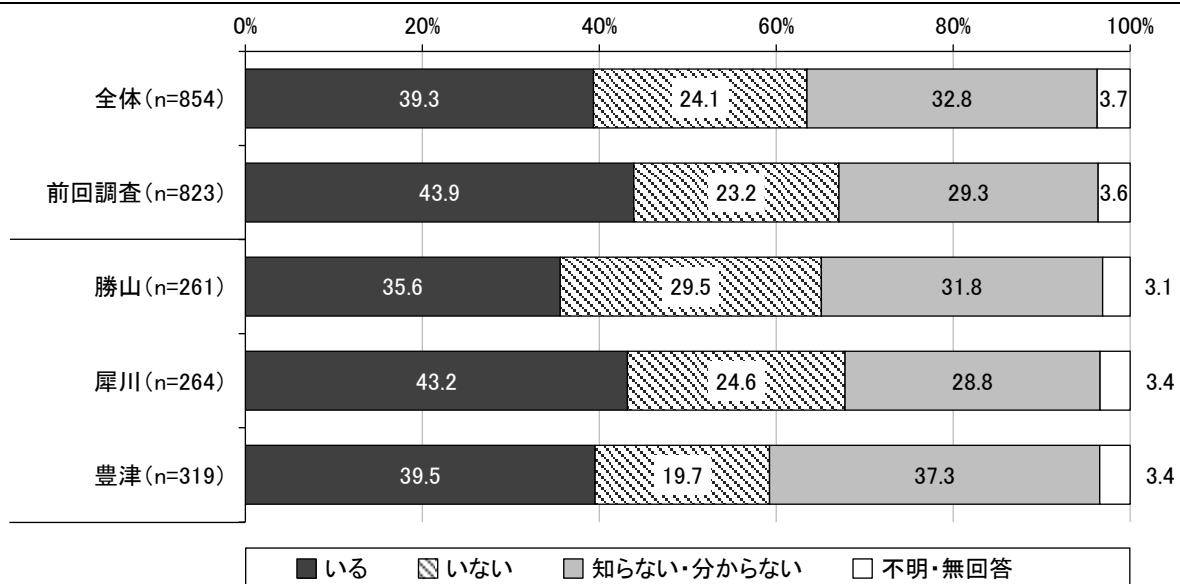
問 38 ひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯など、災害発生時に気になる人が、近所にいますか。

【○は1つだけ】

ひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯など、災害発生時に気になる人が、近所にいるかについてみると、「いる」が39.3%と最も高く、次いで「知らない・分からない」が32.8%、「いない」が24.1%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「いる」が最も高くなっています。



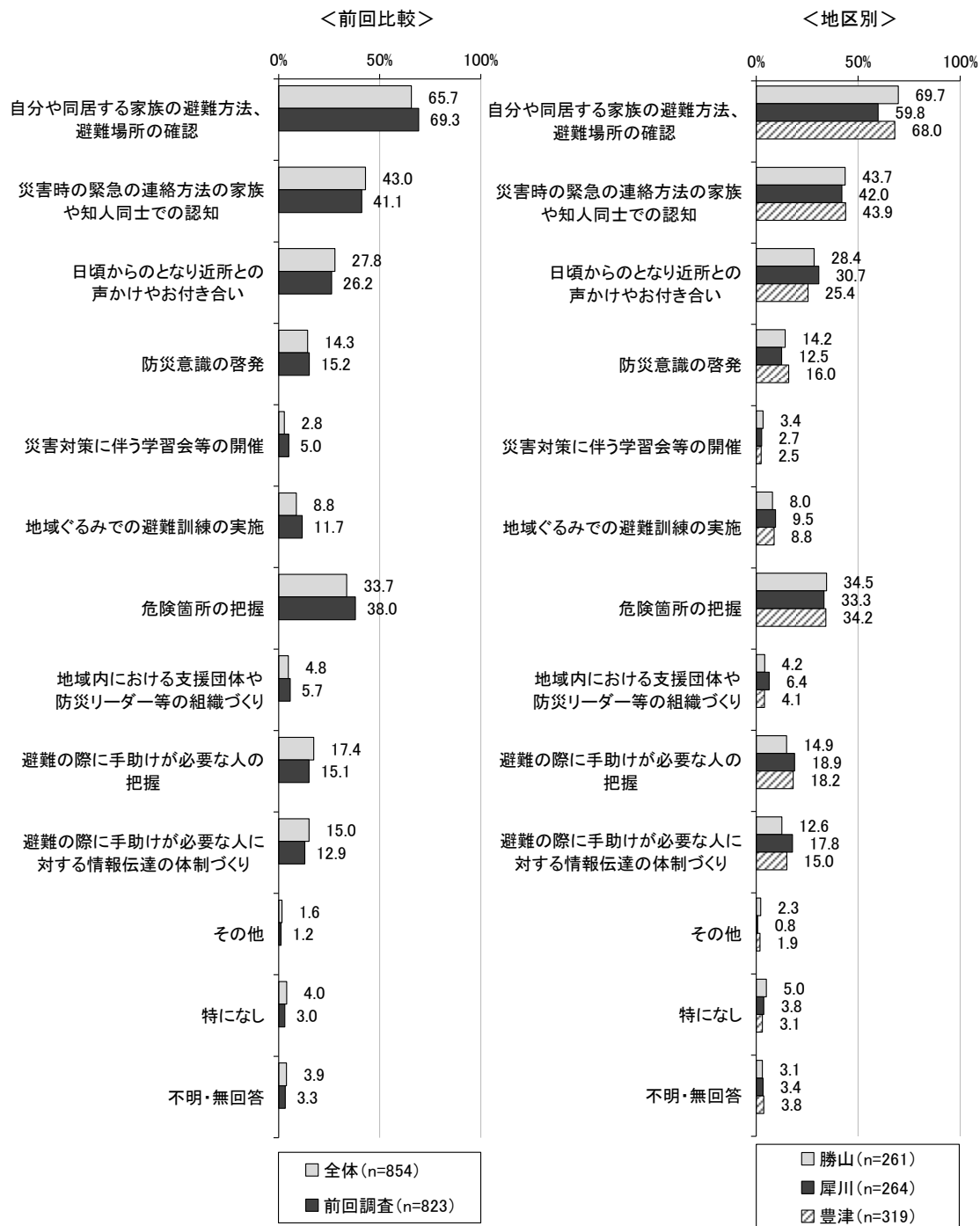
問 39 地震や台風などの災害発生時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。

【〇は主なものを3つまで】

地震や台風などの災害発生時の備えとして、重要だと思うことについてみると、「自分や同居する家族の避難方法、避難場所の確認」が 65.7%と最も高く、次いで「災害時の緊急の連絡方法の家族や知人同士での認知」が 43.0%、「危険箇所の把握」が 33.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「自分や同居する家族の避難方法、避難場所の確認」が最も高くなっています。



※前回調査：「防災意識に対する高揚」

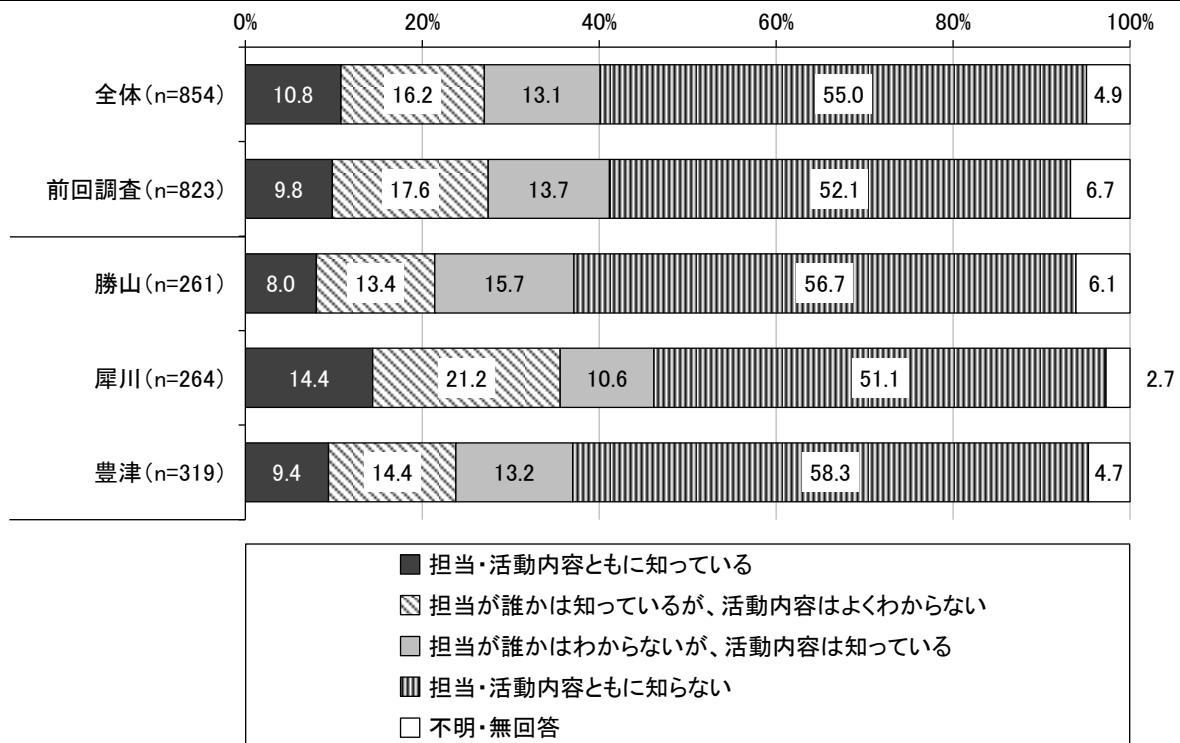
8 福祉全般について

問 40 あなたがお住まいの地域を担当している民生委員・児童委員（主任児童委員を含む）をご存知ですか。また、民生委員・児童委員の活動内容をご存知ですか。【〇は1つだけ】

居住地域を担当している民生委員・児童委員や活動内容の認知度についてみると、「担当・活動内容ともに知らない」が55.0%と最も高く、次いで「担当が誰かは知っているが、活動内容はよくわからない」が16.2%、「担当が誰かはわからないが、活動内容は知っている」が13.1%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「担当・活動内容ともに知らない」が最も高くなっています。

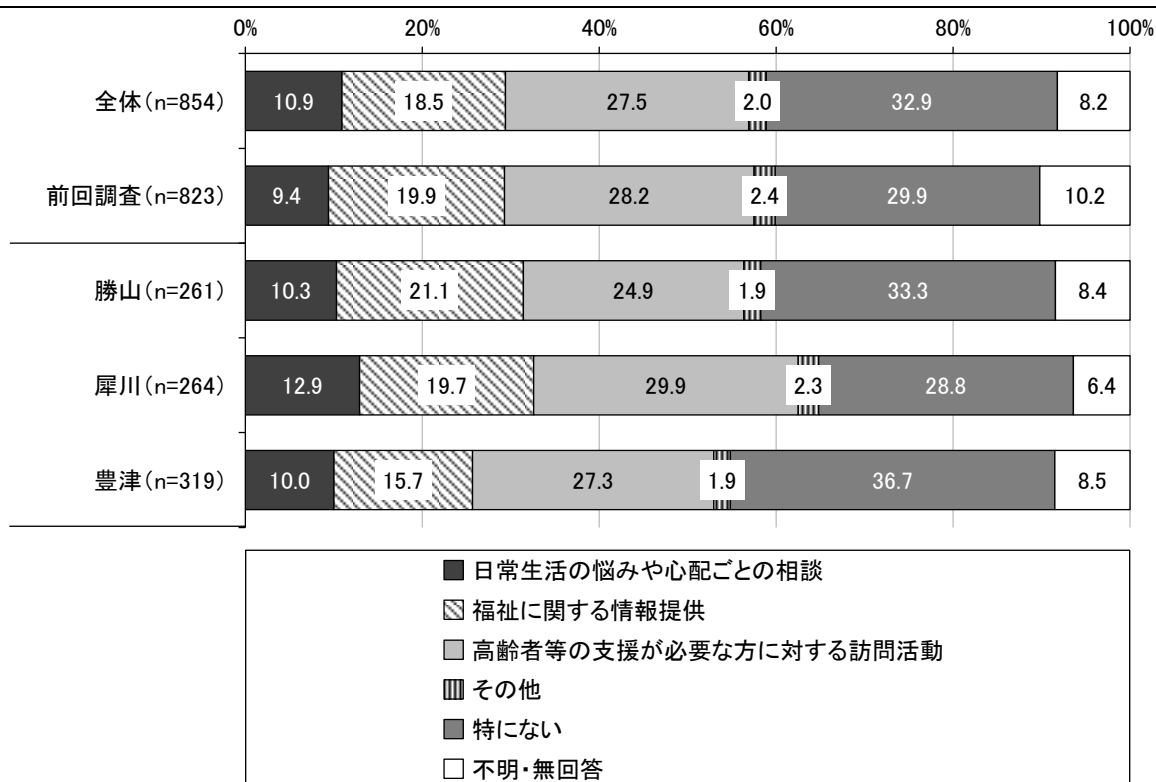


問 41 民生委員・児童委員は、様々な地域福祉活動を行っています。民生委員・児童委員が行う活動として、今後、充実してほしいことがありますか。【〇は1つだけ】

民生委員・児童委員が行う活動として、今後、充実してほしいことについてみると、「特にない」が 32.9%と最も高く、次いで「高齢者等の支援が必要な方に対する訪問活動」が 27.5%、「福祉に関する情報提供」が 18.5%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

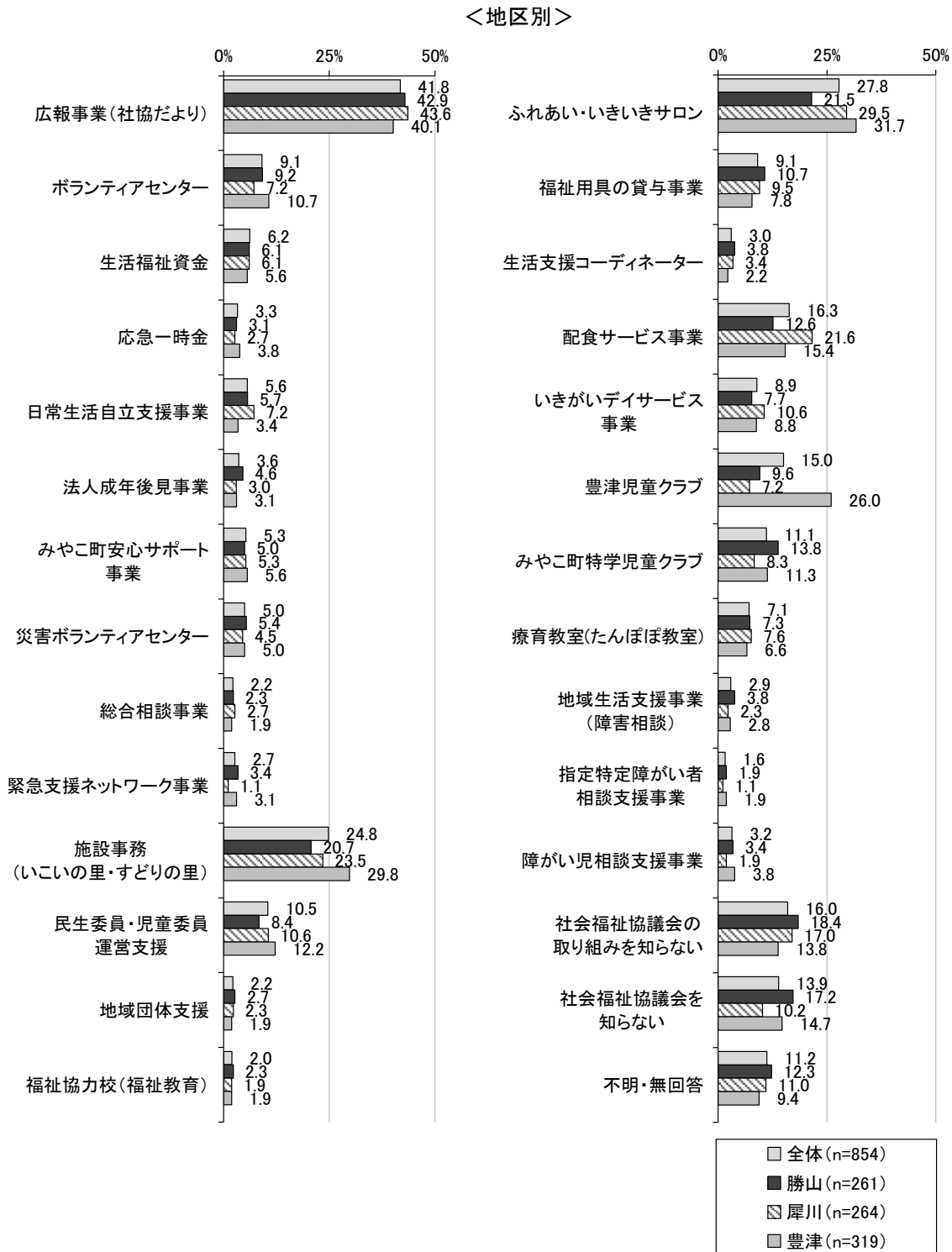
地区別にみると、〔犀川〕では「高齢者等の支援が必要な方に対する訪問活動」、その他の区分では「特にない」が最も高くなっています。



問 42 みやこ町社会福祉協議会が取り組む制度や取り組みなどをご存知ですか。【〇はいくつでも】

みやこ町社会福祉協議会が取り組む制度や取り組みなどの認知度についてみると、「広報事業(社協だより)」が41.8%と最も高く、次いで「ふれあい・いきいきサロン」が27.8%、「施設事務(いこいの里・すどりの里)」が24.8%となっています。

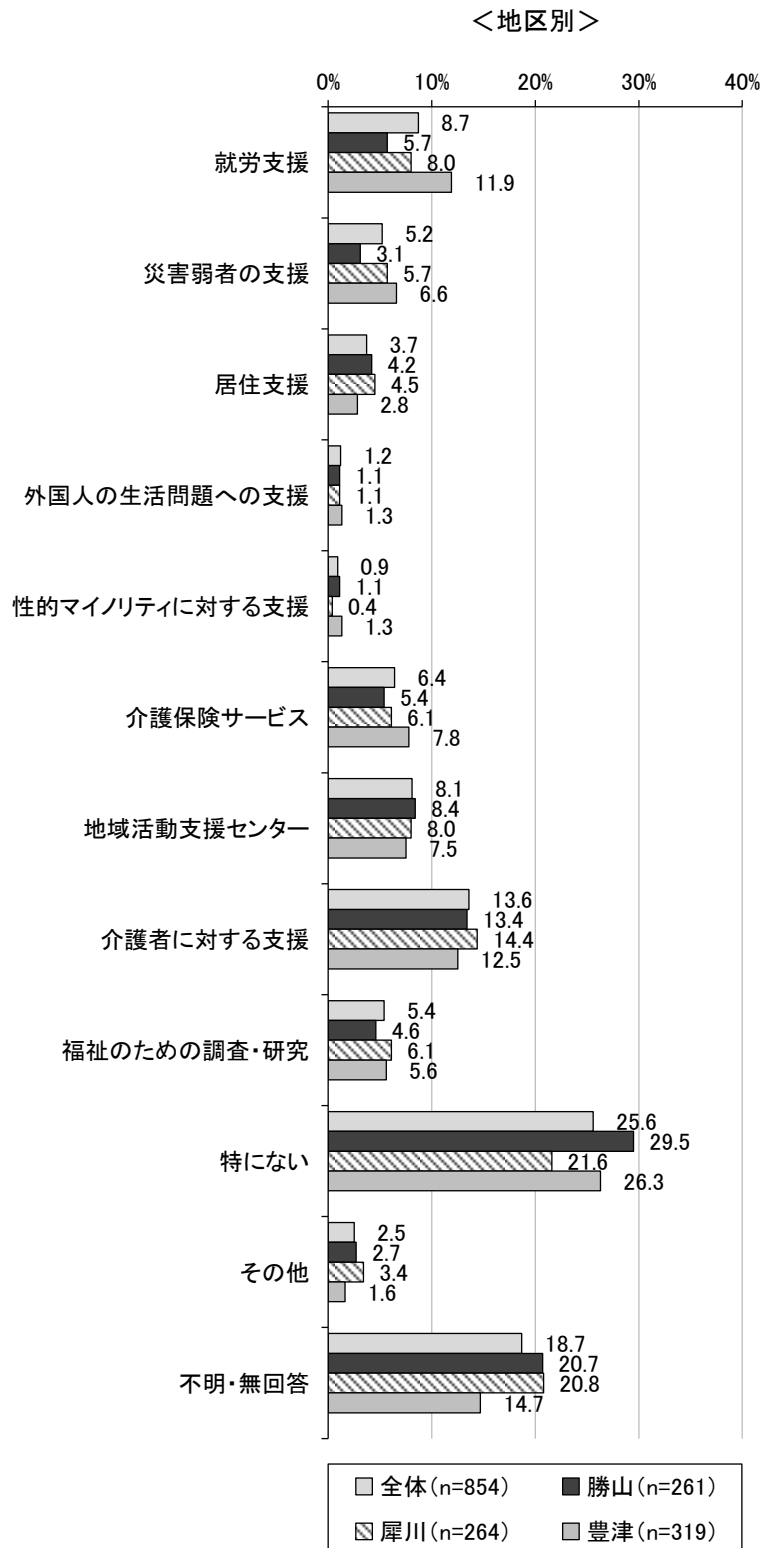
地区別にみると、すべての区分で「広報事業(社協だより)」が最も高くなっています。



問 43 みやこ町社会福祉協議会に、今後取り組んでほしい事業はありますか。【〇は1つだけ】

みやこ町社会福祉協議会に、今後取り組んでほしい事業についてみると、「特にない」が 25.6%と最も高く、次いで「介護者に対する支援」が 13.6%、「就労支援」が 8.7%となっています。

地区別にみると、すべての区分で「特にない」が最も高くなっています。



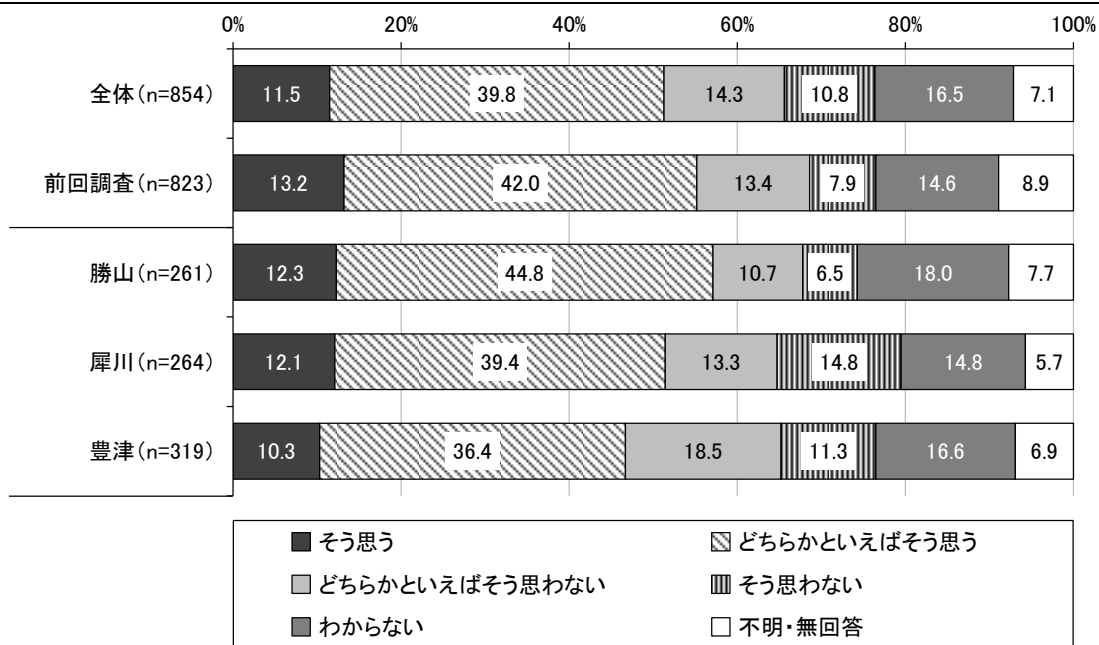
問 44 みやこ町はどのようなまちだと思いますか。【〇はそれぞれ1つずつ】

①子どもがいきいきと育つまち

子どもがいきいきと育つまちだと思うかについてみると、「どちらかといえばそう思う」が 39.8%と最も高く、次いで「わからない」が 16.5%、「どちらかといえばそう思わない」が 14.3%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

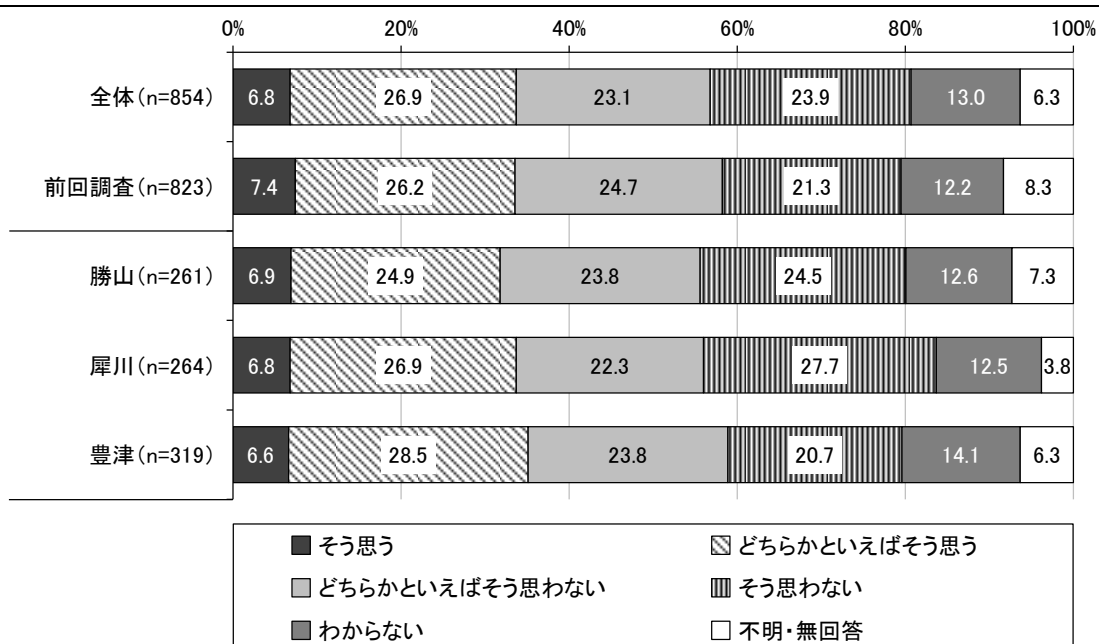


②高齢者が暮らしやすいまち

高齢者が暮らしやすいまちだと思うかについてみると、「どちらかといえばそう思う」が 26.9%と最も高く、次いで「そう思わない」が 23.9%、「どちらかといえばそう思わない」が 23.1%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、〔犀川〕では「そう思わない」、その他の区分では「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

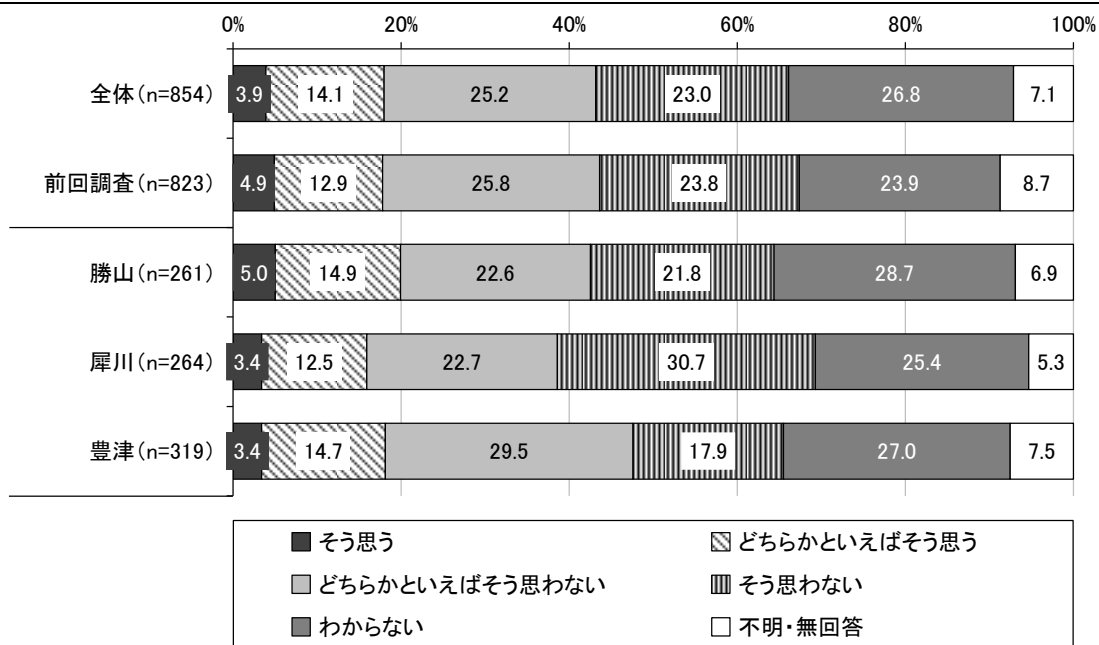


③障がいのある人が暮らしやすいまち

障がいのある人が暮らしやすいまちだと思うかについてみると、「わからない」が26.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が25.2%、「そう思わない」が23.0%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、〔勝山〕では「わからない」、〔犀川〕では「そう思わない」、〔豊津〕では「どちらかといえばそう思わない」が最も高くなっています。

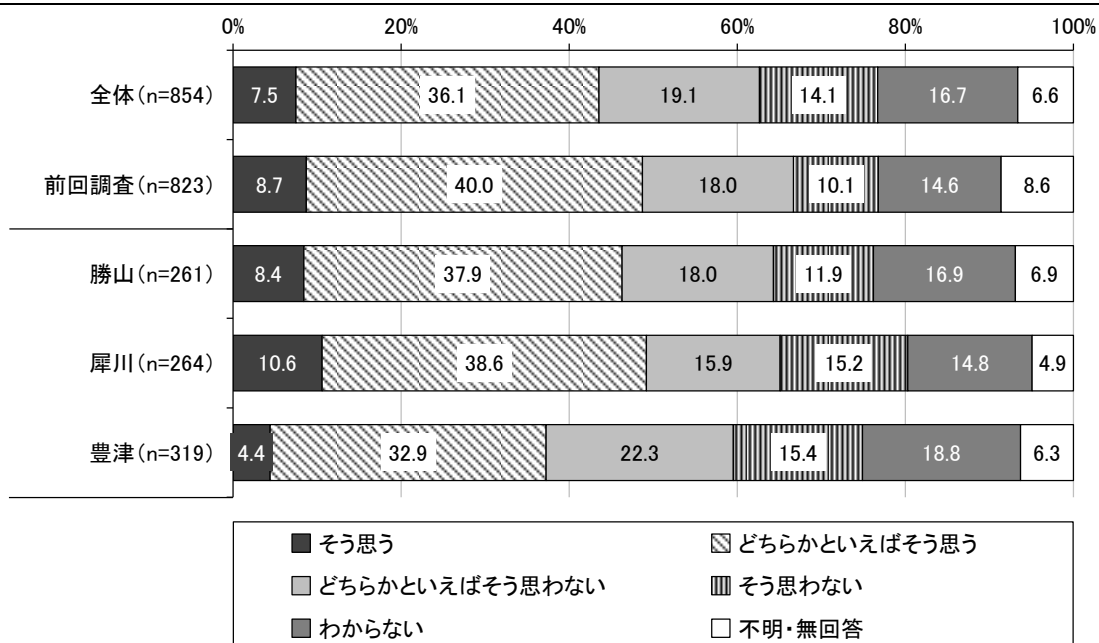


④困った時となり近所で助け合えるまち

困った時となり近所で助け合えるまちだと思うかについてみると、「どちらかといえばそう思う」が36.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.1%、「わからない」が16.7%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。

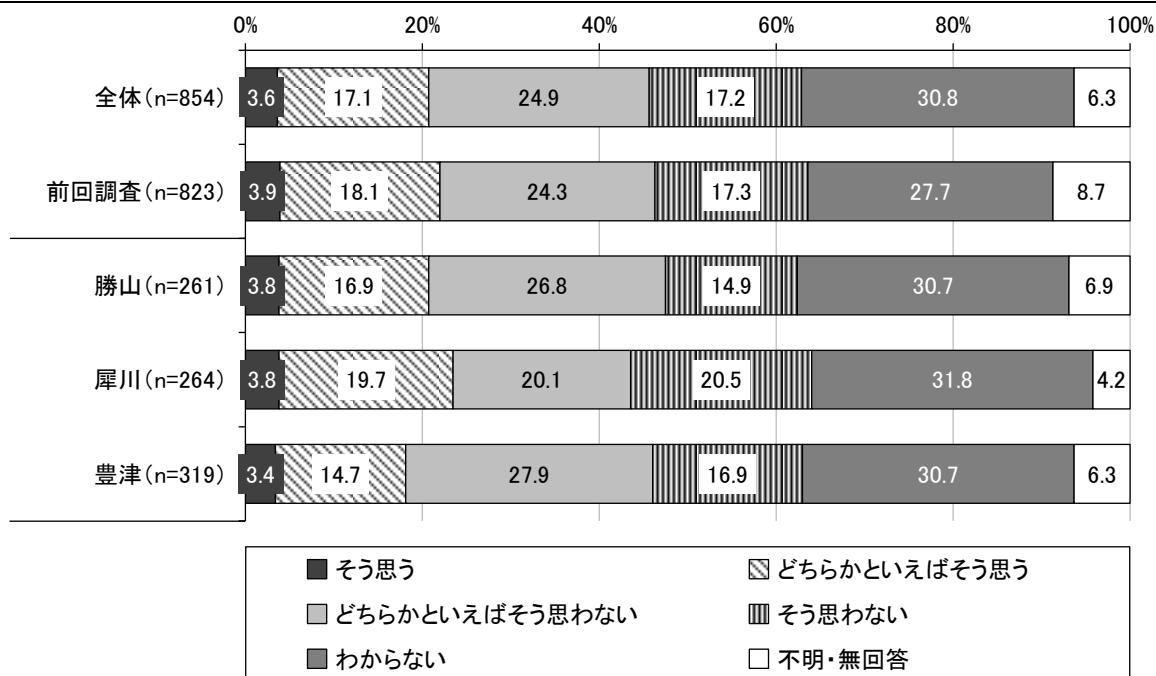


⑤町民の福祉活動が活発に行われているまち

町民の福祉活動が活発に行われているまちだと思うかについてみると、「わからない」が 30.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 24.9%、「そう思わない」が 17.2%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「わからない」が最も高くなっています。

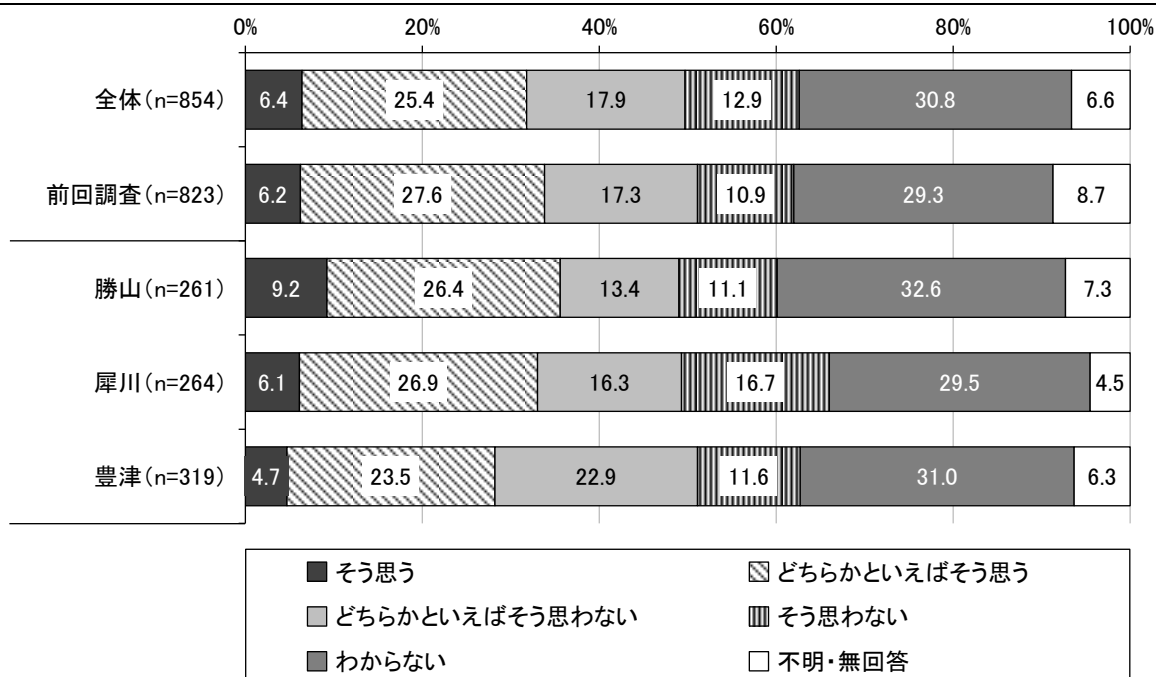


⑥人権が尊重されるまち

人権が尊重されるまちだと思うかについてみると、「わからない」が 30.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 25.4%、「どちらかといえばそう思わない」が 17.9%となっています。

前回と比較すると、大きな差はみられません。

地区別にみると、すべての区分で「わからない」が最も高くなっています。



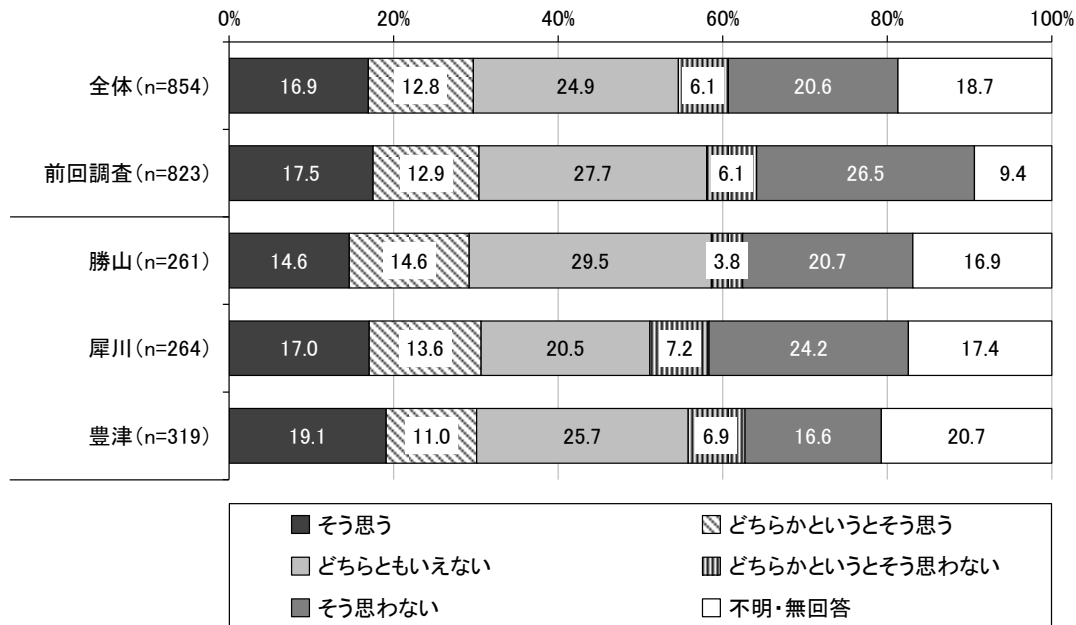
問 45 あなたは「自殺」についてどのように思いますか。【〇はそれぞれ1つずつ】

①生死は最終的に本人の判断に任せるべき

生死は最終的に本人の判断に任せるべきだと思うかについてみると、「どちらともいえない」が 24.9%と最も高く、次いで「そう思わない」が 20.6%、「そう思う」が 16.9%となっています。

前回と比較すると、「そう思わない」が 5.9 ポイント減少しています。

地区別にみると、〔犀川〕では「そう思わない」、その他の区分では「どちらともいえない」が最も高くなっています。

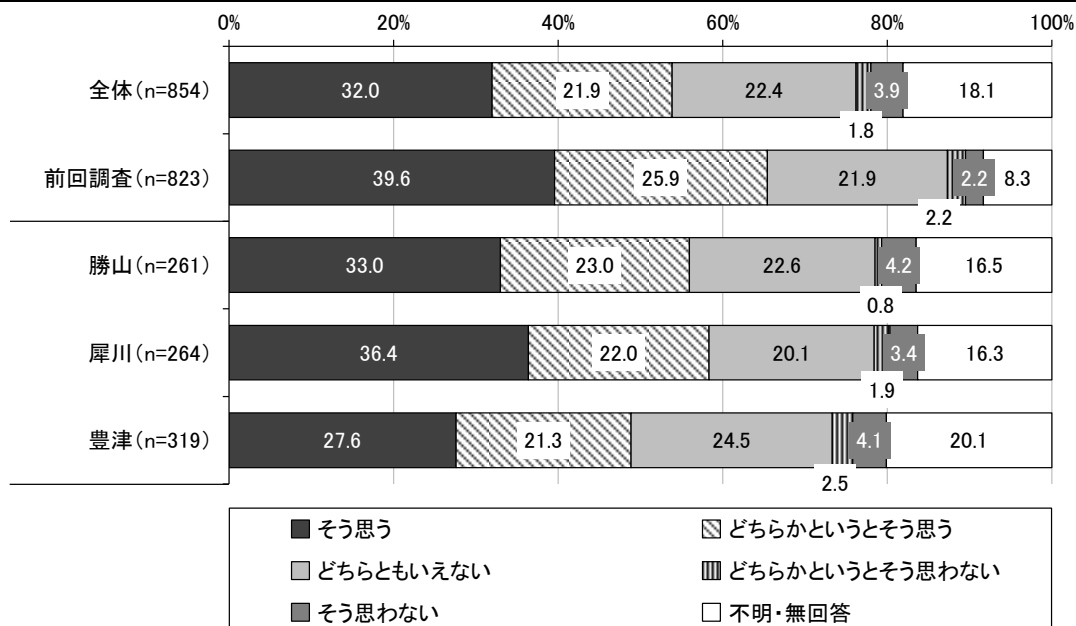


②自殺せずに生きていけば良いことがある

自殺せずに生きていけば良いことがあると思うかについてみると、「そう思う」が 32.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 22.4%、「どちらかというと思う」が 21.9%となっています。

前回と比較すると、「そう思う」が 7.6 ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「そう思う」が最も高くなっています。

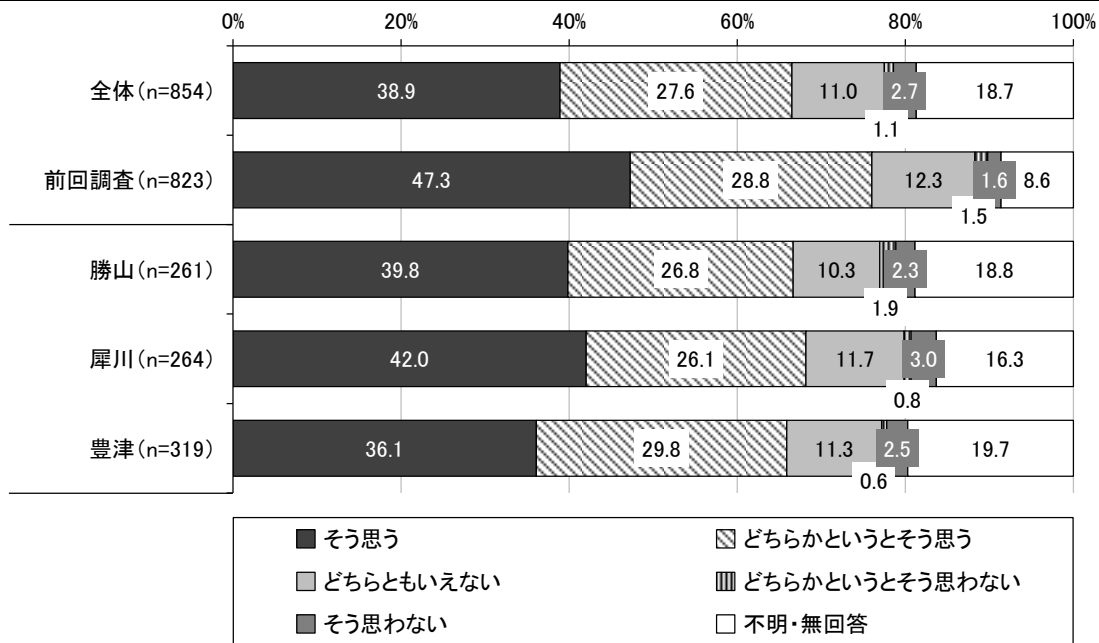


③防ぐことができる自殺も多い

防ぐことができる自殺も多いと思うかについてみると、「そう思う」が 38.9%と最も高く、次いで「どちらかという
とそう思う」が 27.6%、「どちらともいえない」が 11.0%となっています。

前回と比較すると、「そう思う」が 8.4 ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「そう思う」が最も高くなっています。

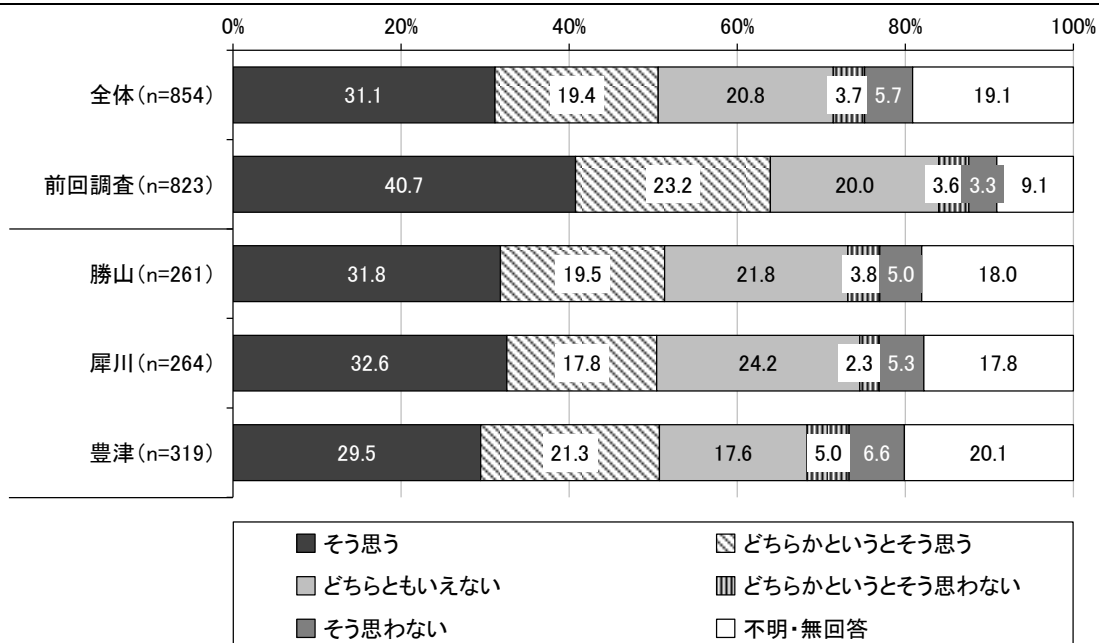


④自殺をする人は、直前まで実行するかやめるか気持ちが揺れ動いている

自殺をする人は、直前まで実行するかやめるか気持ちが揺れ動いていると思うかについてみると、「そう思う」
が 31.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 20.8%、「どちらかという
とそう思う」が 19.4%となっています。

前回と比較すると、「そう思う」が 9.6 ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「そう思う」が最も高くなっています。

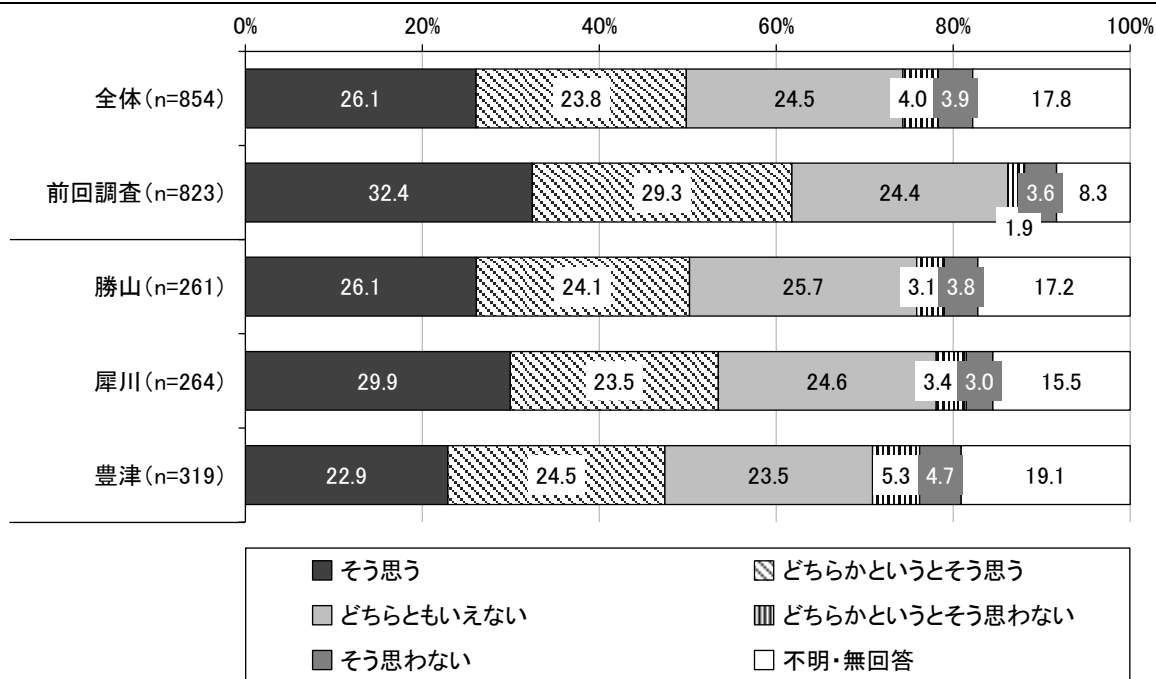


⑤自殺は、その多くが防ぐことのできる社会的な問題である

自殺は、その多くが防ぐことのできる社会的な問題であると思うかについてみると、「そう思う」が 26.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.5%、「どちらかというと思う」が 23.8%となっています。

前回と比較すると、「そう思う」が 6.3 ポイント減少しています。

地区別にみると、〔豊津〕では「どちらかというと思う」、その他の区分では「そう思う」が最も高くなっています。

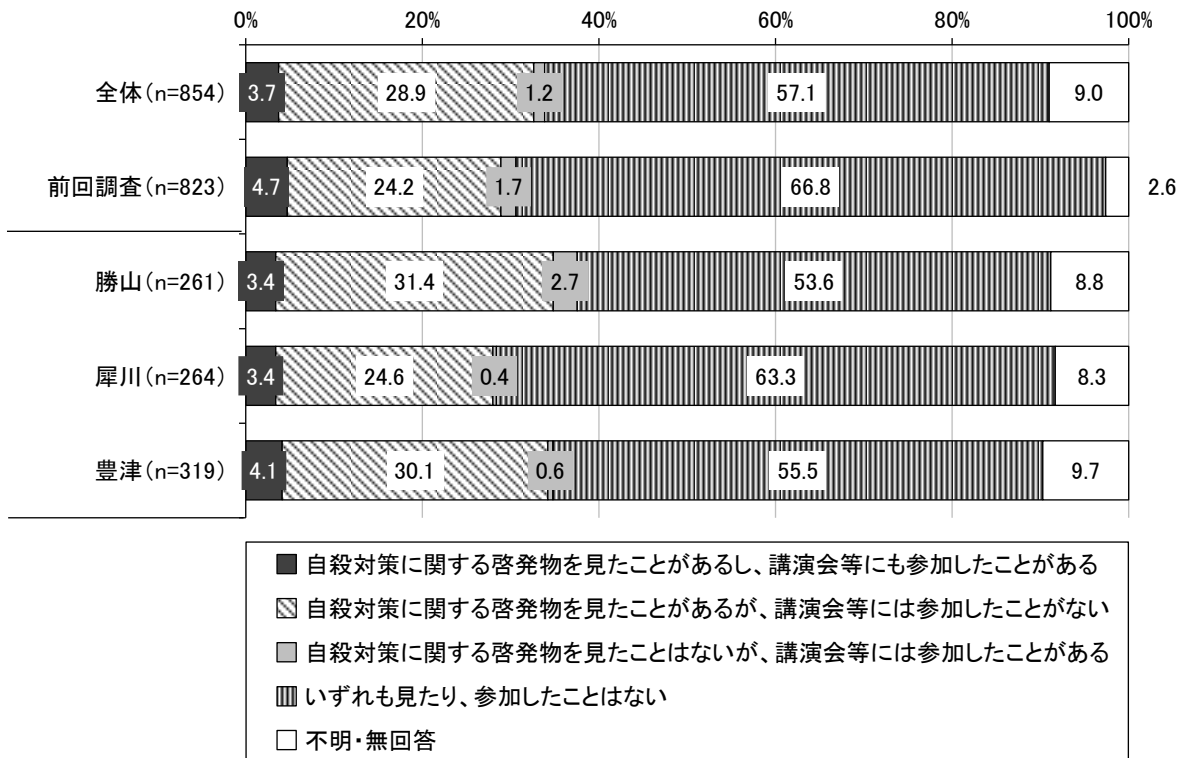


問 46 あなたは、自殺対策に関する啓発物を見たり、又は自殺対策に関する講演会等に参加したことはありますか？【〇は1つだけ】

自殺対策に関する啓発物を見たり、又は自殺対策に関する講演会等に参加したことはあるかについてみると、「いずれも見たり、参加したことはない」が 57.1%と最も高く、次いで「自殺対策に関する啓発物を見たことがあるが、講演会等には参加したことがない」が 28.9%、「自殺対策に関する啓発物を見たことがあるし、講演会等にも参加したことがある」が 3.7%となっています。

前回と比較すると、「いずれも見たり、参加したことはない」が 9.7 ポイント減少しています。

地区別にみると、すべての区分で「いずれも見たり、参加したことはない」が最も高くなっています。

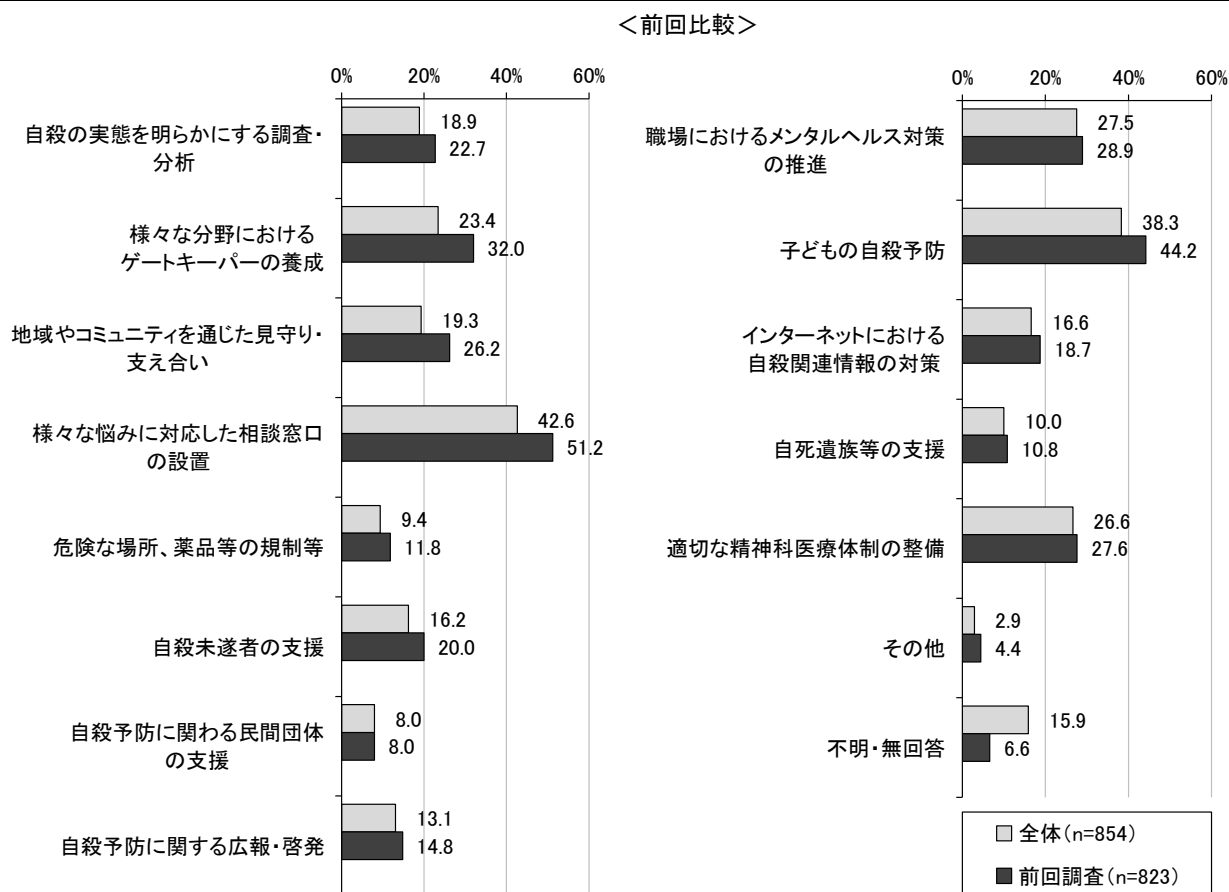


問 47 今後求められるものとして、どのような自殺対策が必要になると思いますか。以下の中であてはまるものすべてに○をつけてください。【○はいくつでも】

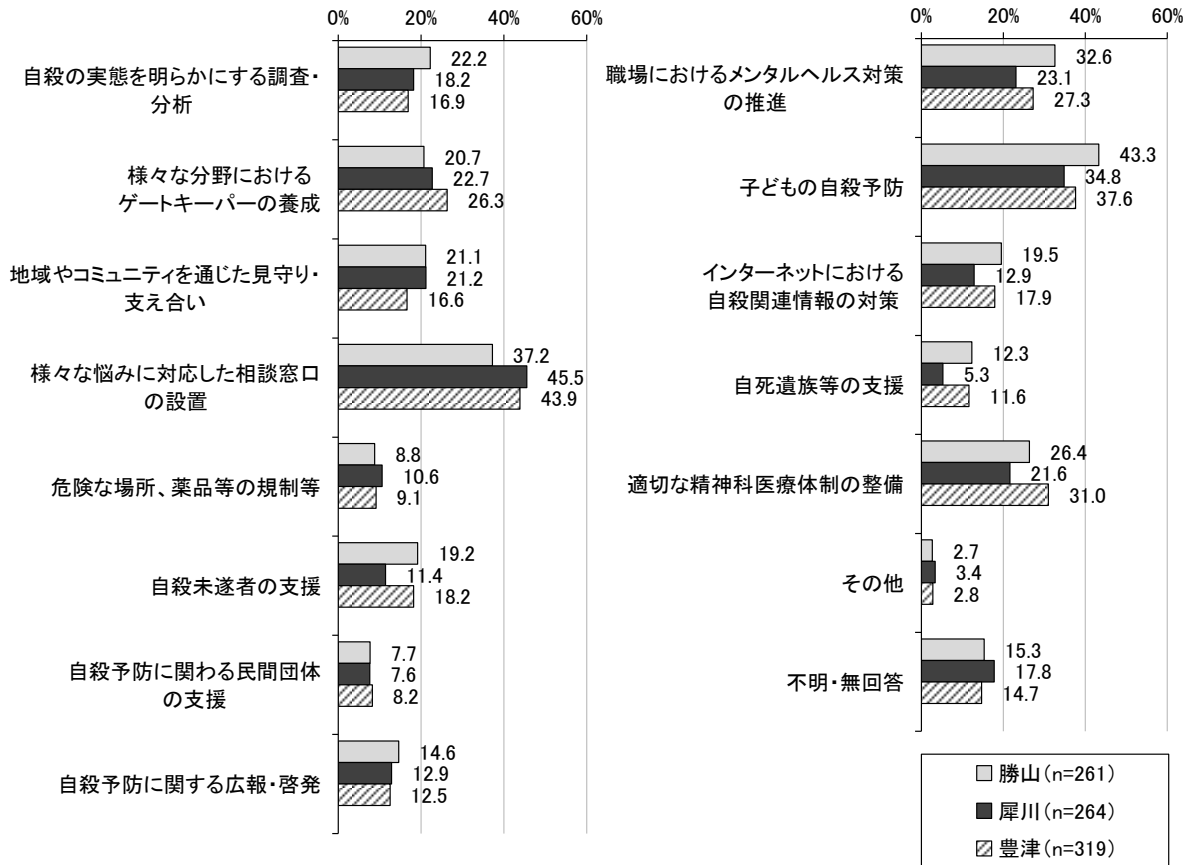
今後、必要な自殺対策についてみると、「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」が42.6%と最も高く、次いで「子どもの自殺予防」が38.3%、「職場におけるメンタルヘルス対策の推進」が27.5%となっています。

前回と比較すると、「様々な分野におけるゲートキーパーの養成」「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」が8.6ポイント減少しています。

地区別にみると、〔勝山〕では「子どもの自殺予防」、その他の区分では「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」が最も高くなっています。



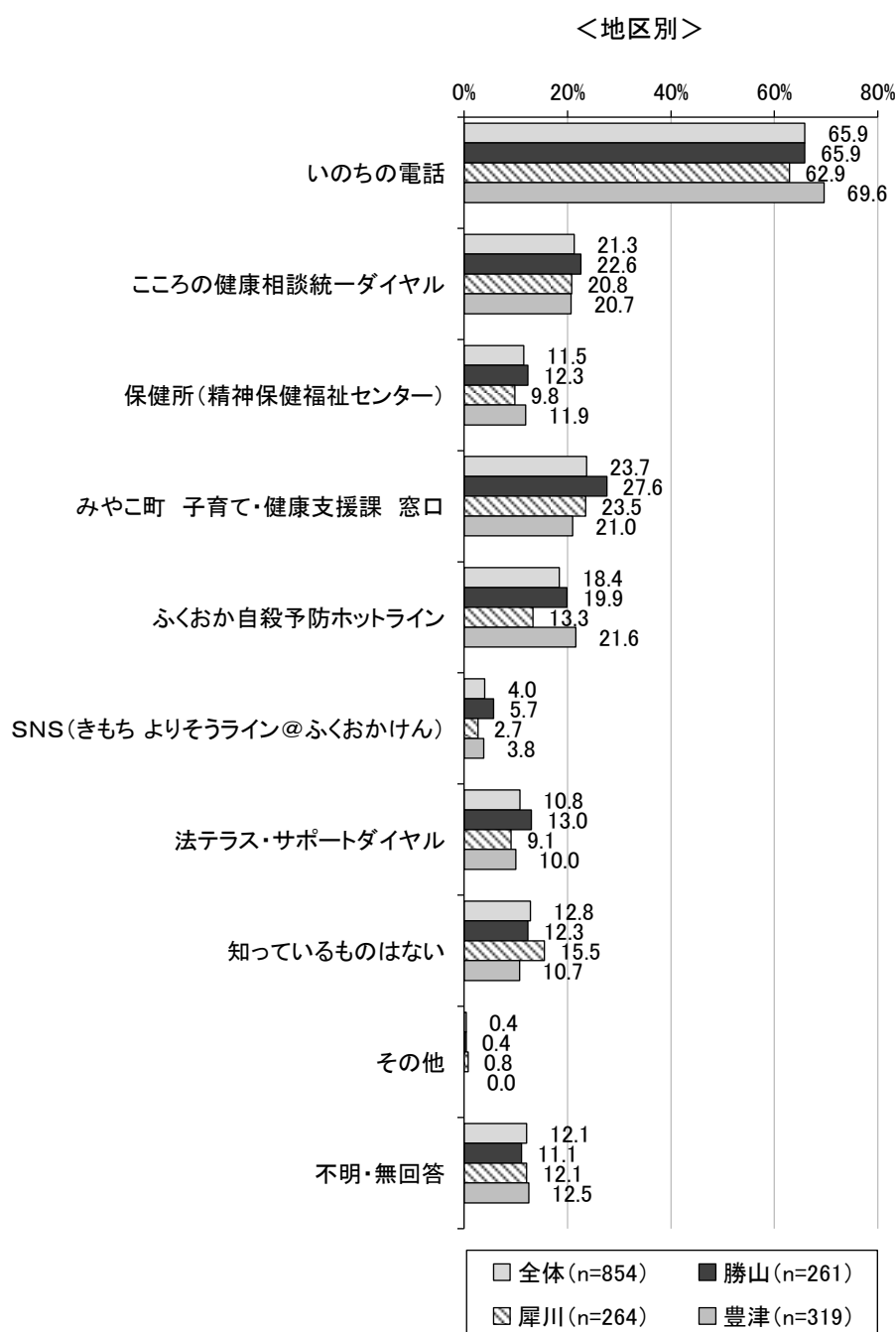
<地区別>



問 48 悩んだ時の相談窓口としてあなたが知っているものすべてに○をつけてください。

【○はいくつでも】

悩んだ時の相談窓口として知っているものについてみると、「いのちの電話」が 65.9%と最も高く、次いで「みやこ町 子育て・健康支援課 窓口」が 23.7%、「こころの健康相談統一ダイヤル」が 21.3%となっています。地区別にみると、すべての区分で「いのちの電話」が最も高くなっています。



みやこ町
地域福祉に関する
アンケート調査
結果報告書

発行:みやこ町 保険福祉課 福祉係
TEL:32-2516(内線:138)
FAX:32-8034

発行年月:令和5年 11 月